



改訂版

アグリ・ケア・プログラム

～ドキドキふれあい体験 in 新潟～

かいていばん
改訂版

にいがたはつ 新潟発 きょういく 教育ファーム わくわく

アグリ・ケア・プログラム

～ドキドキふれあい体験 in 新潟～



平成31年(2019年)

新潟市



ひらいてみよう

「アグリ・ケア・プログラム」とはなんですか？

4ページ
5ページ
^

「アグリ・ケア・プログラム」を実施すると、
どんな効果がありますか？

6ページ
8ページ
^

「アグリ・ケア・プログラム」を実施すると、
施設職員(支援員)の負担になりませんか？

7ページ
^

「アグリ・ケア・プログラム」には、
どんなプログラムがありますか？

11ページ
^

申し込みはどうしたら良いですか？

91ページ
^

実施にあたり、補助などがありますか？

90ページ
^

もくじ

あいさつ 星野 恵美子(アグリ・ケア・プログラムコーディネーター)	4
アグリ・ケア・プログラムの成り立ちと進化	5
アグリ・ケア・プログラムの活用方法	6
実際にプログラムを体験した感想	7
アグリ・ケア・プログラムの活用事例集	8
「葉野花実」プロジェクト	10

プログラム

プログラム一覧	11
プログラム年間スケジュール	12
① 農 業 編	16
② 食 編	22
③ 園 芸 編	32
④ 動 物 編	80

資 料 編

プログラムにかかる支援について	90
アグリ・ケア・プログラム申し込みの流れ	91
打ち合わせ・振り返り簿	92
アンケート用紙	94
アグリ・ケア・プログラムQ&A	96
プログラムを活用した個別支援計画について	100
ポートフォリオの活用について	107
プログラム参加度をチェックする	108
食のプログラムレシピ	114
植物図鑑	118
アグリ・ケア・プログラムが紹介されました(新聞記事)	120
代表的な障がい特性と対応時に配慮すべき事項	122

発刊に寄せて	130
--------------	-----

あいさつ

新潟市「アグリ・ケア・プログラム」とは？ 改訂に当たって



新潟市アグリ・ケア・プログラム コーディネーター
(元 新潟医療福祉大学教授)

星野 恵美子

何かな？

新潟市アグリ・ケア・プログラムは、新潟市がその豊かな自然の恵みや地域の資源を活用し、障がいのある人の心豊かな日々ための、楽しいプログラムです。言葉の意味は、農業 (Agriculture, アグリカルチャー) と癒す (Care, ケア) を併せたもので、新潟発の新たな取り組みです。

障がい特性や程度に応じて、土や野菜を作り、植物を工作し、動物とふれあい、食を作り、わくわくと体験の拡大を図ります。

目的は？

「農」をテーマに①農業、②食、③園芸、④動物等の体験をとおして、障がいのある人の楽しみや興味を広げて前向きに生活の充実を図ります。

生き生きと触れ合いながら、意欲や世界が広がり、健康や社会参加の推進に役立ちます。

特徴は

- (1) 新潟市の自然や社会資源を活かし、一年の季節感を大切に、人間の五感 (見る、触る、聴く、味わう、香り) を刺激します。
- (2) 障がいのある人にわかりやすく、支援者にはマニュアルとして、新潟市のHPからもダウンロードできます。 [新潟市 アグリ・ケア・プログラム](#)
- (3) 多領域 (障がい、農業、動物、園芸、食、行政、教育等) の専門家が協力し作成。
- (4) 障がい者支援の現場で役立つ (個別支援計画の作成に活用できる)

実際に体験したら

- ・障がいのある人、支援員とも、活用したら、意欲の向上や楽しさを実感した
- ・体験の拡大に効果的で自信、達成感が増してくる。
- ・専門家の支援や外部の方との交流ができ、今後もやっていきたい

QOLの向上に効果的という報告が、寄せられています。

どうぞ、障がいのある人や支援者の表情が生き生きと輝く、アグリ・ケア・プログラムを、ぜひご活用ください。

アグリ・ケア・プログラムの成り立ちと進化

■農業と福祉のつながり

新潟市をはじめ、全国的に「農福連携」の取り組みが盛んです。農福連携とは、農業を通じた高齢者の健康づくり・仲間づくりや、農業者やJA等の農業サイドと社会福祉法人やNPO法人等の福祉サイドが連携をすることで、農業分野で障がい者等の働く場所づくり、あるいは居場所づくりを実現しようとする取り組みです。

新潟市においては、「あぐりサポートセンター」が中心となり、障がいのある人がアグリパークで作業や訓練を行い、就農に向けた取り組みを進めています。

■重度の障がいのある人にも

一方で、障がいには様々な特性があり、特に重い障がいのある人の就農は難しい状況です。さらに、ある大学院の研究では、新潟県内の知的障がい者支援施設の55%が、重い障がいのある人の活動内容が少ないことを挙げています。そのため、閉鎖的な環境に偏りやすいことに苦慮しているようです。

そこで、新潟市では、豊かで多様な田園資源を活用し、体験を通じて重い障がいのある人に生きがいづくりや社会とつながって欲しいという想いから「アグリ・ケア・プログラム」に取り組み始めました。田園型政令市として、新潟市ならではの、全国に発信できる障がいのある人向けの体験プログラムです。

冊子のほか、新潟市のHPへのアクセスで、インターネットからダウンロードできます。

➔ http://www.city.niigata.lg.jp/bussiness/shoku_hana/nougyo/taiken/acp.html

■対象

障がいのある人が利用している障がい福祉サービス事業所で、個人での利用はできません。



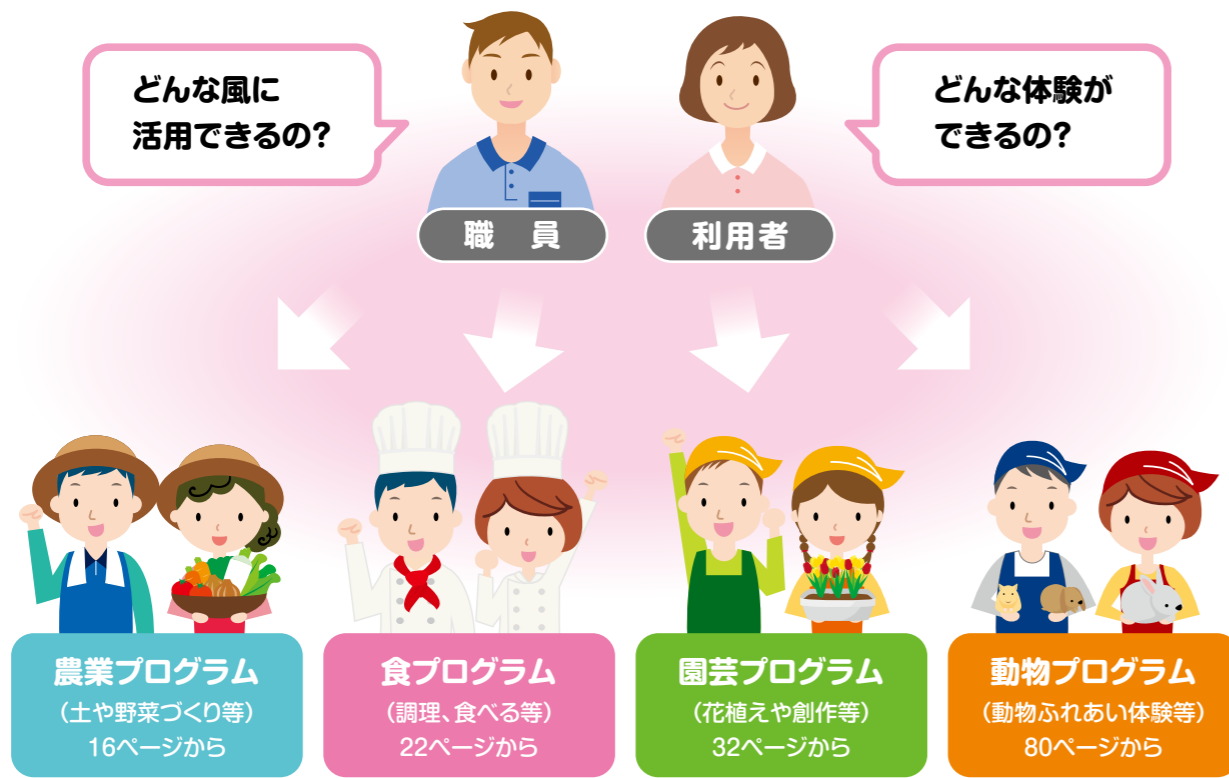
アグリ・ケア・プログラムを改訂しました

平成29年 (2017年) 3月に初版を作成し、プログラムを実施する中で見つけた課題に対応し、より使いやすく、充実した内容にすることを目的に改訂を行いました。

改訂のポイント

- ① 利用者用と支援者用を1冊にまとめて、プログラムごとに見開きでわかるようにしました。
- ② 施設の支援員の目線に立ち、施設の活動にどのように位置付けられるか、アグリ・ケア・プログラムが利用者にとってどんな支援として役立つかを意識しています。
- ③ 新潟市の田園資源の特徴である「食」のプログラムを追加しました。
- ④ 実践を踏まえ、新たな発見やニーズに応じて、内容や参加費を見直しました。
- ⑤ アグリ・ケア・プログラムを活用して、有機的な循環を生み出す仕組みを作りました。これは、新潟市の田園資源と人材を活用して、本来は廃棄すべきものから新たな価値を生み出し、それをアグリ・ケア・プログラムで利用することでお金に換える事業サイクルです。(10ページ参照)。

アグリ・ケア・プログラムの活用方法

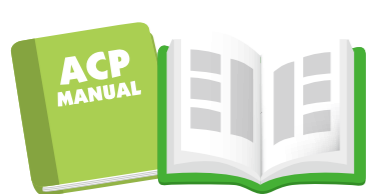


アグリ・ケア・プログラム (以下: ACP) では農業、食、園芸、動物体験等と障がいのあるご本人 (以下: 利用者) との触れ合いを通じて、QOLの向上を図ることが目的です。

障がい重い方であっても、「本物と触れ合う体験」を重ね、QOL向上を図ることが可能になります。

「本物と触れ合う体験」を重ねる中で「おもしろい体験ができた」「ACP講師と交流することができた」「こんな反応、笑顔がみられた」等の良いことがあります。

ACPでは、得られた貴重な体験を施設の運営や利用者へのサービス向上に役立てることが可能です。



個別支援計画への活用 (ACPを活用しQOLの向上を図る) 102ページから



ポートフォリオの活用 (ACP体験の思い出を記録に残す) 107ページから



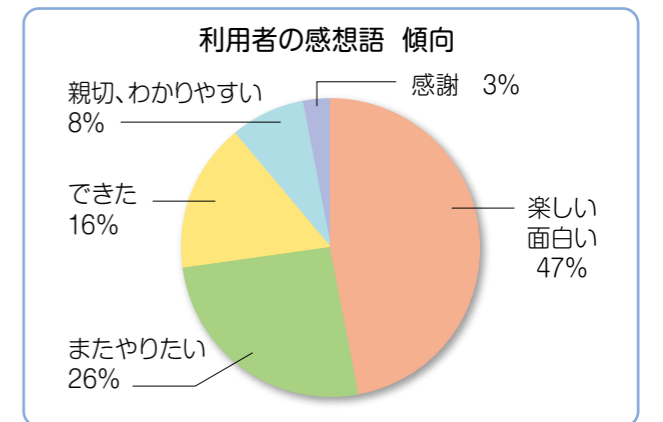
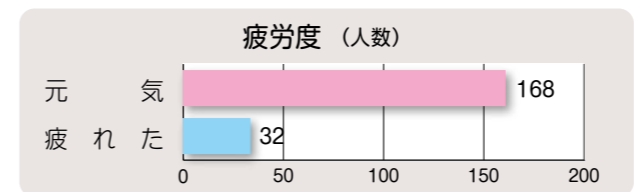
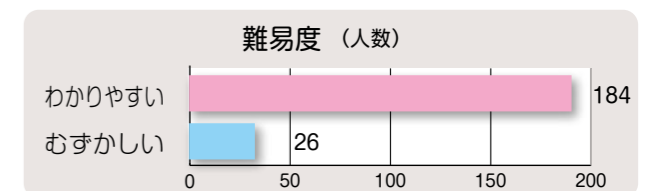
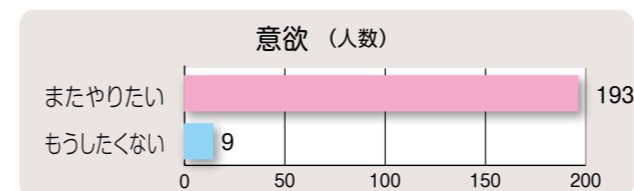
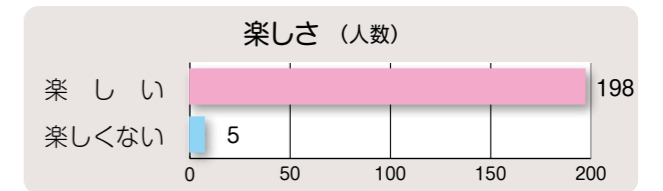
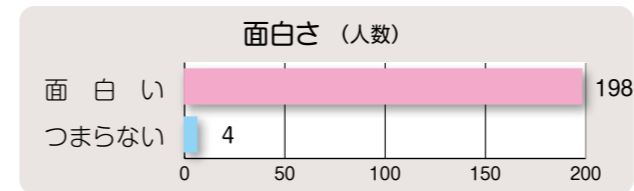
評価表の活用 チャレンジチェック 109ページ
とりくみ度チェック 110ページから

実際にプログラムを体験した感想 (実施後アンケート結果)

H29年4月~H30年8月

ACP体験実施後、利用者 (障がいのある人) と施設支援員に質問紙で評価。

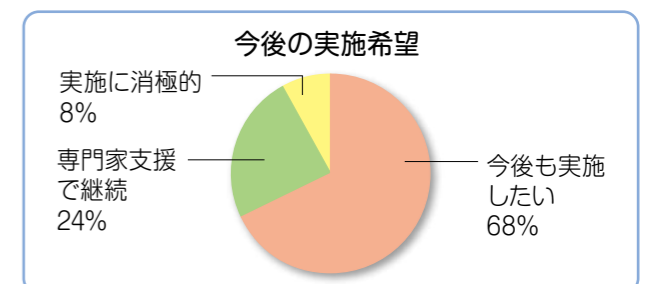
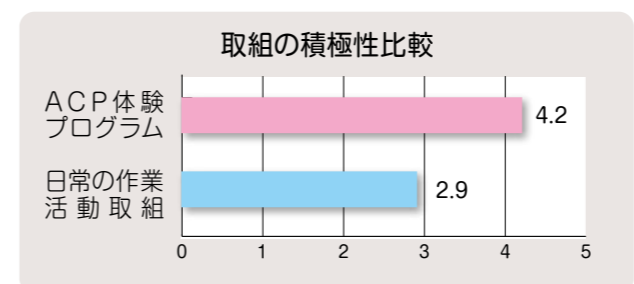
1 利用者アンケート 28プログラム、利用者数 231人 (H29:132人、H30:99人) 延べ28施設 (同16, 12) 内容①満足度(面白さ、楽しさ)、②意欲、③難易度、④疲労度、⑤感想とも積極的に前向きな評価を得た。



利用者の感想語の要素分析

2 施設支援者アンケート 延べ24施設 (H29:14、H30:10)

日常活動に比べて意欲的でわかりやすく、今後の実施の希望が92%と多かった。



支援者の感想としては

- ・普段、なかなか経験できない良い体験、嬉しい企画でした。
- ・プログラムが魅力的で楽しく、利用者の表情が良い。
- ・プロセスが利用者に合っていて、無理なくスムーズに取り組める。
- ・専門家のサポートが安心で、触れ合いが良い経験になった。

アグリ・ケア・プログラム(ACP) 活用事例集



農業プログラムをとおして

Aさんの場合：30代 男性 知的障がい(ダウン症)

Aさんの家は農家です。自宅には広い畑やハウスがあります。しかし、Aさんはまったく興味を示さず、自宅ではTVを観て過ごすことが主でした。

Aさんはある日、通っている事業所で農業プログラム「菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう ①土作りをしよう!」(※P16~17参照)を体験しました。普段は活動に取り掛かるまで時間のかかることのあるAさんでしたが、外部からACP講師が来てくれたことで笑顔になり、すぐに体験に向かうことができました。

ACP講師が「Aさん、これをやってみませんか」と誘ったことをきっかけに、Aさんは野菜くずを木槌で叩いたり、土に混ぜたりする作業に前向きに取り組むことができました。

ACP講師も事前の打ち合わせで、「Aさんは行動に時間がかかることがあるので急かさないでほしい」と言われていたので、急かすことはしませんでした。結果、Aさんは最後まで気分良く体験をすることができました。

Aさんは3年の間に土作りだけでなく、苗植えや収穫をする

ことができました。収穫した野菜で味噌汁を作り、浅漬けにして皆と一緒に食べることができました。

「Aさんが活動に取り組む様子やできたことをもっと記録に残したい!」と思った事業所の支援員はACPのポートフォリオ書式(※P107参照)を利用して、Aさんの活動を記録に残していくことにしました。

Aさんは会話をすることが難しい方でしたが、ポートフォリオ書式には写真だけでなく、Aさんがペンで直接書き込んだり、ニコニコシールを貼ることで、ご本人が楽しかったのかどうかを表現する機会を持ってました。

Aさんが事業所で農業体験を行っていることを知ったお母さんはとても喜び、Aさんを心からほめました。

そして、「いつか家業の農業も一緒にできたらいいな」という夢をもつようになりました。



食の体験プログラムを通して

B支援員の場合：事業所新人職員 20代 女性

事業所の新人支援員のBさんは悩んでいました。「食べることが好きな利用者が多いので調理実習等をしたいが、どうしても自分が考えつくものでは限界があるな」と。そこでB支援員は、ACPを活用して食のプログラム「枝豆のムース」(※P26~27参照)を行ってみました。

事前の打ち合わせで、外部からACP講師が来たことに緊張して、うまく利用者の特徴を伝えられたか心配でした。それでもACPの講師が優しく接してくれたことにうれしくなりましたが当日、B支援員はとても不安でした。

それでも当日は、地元の季節素材の枝豆を利用者が丁寧につぶしたり、泡立て器で混ぜたり、クリームを絞り袋からカップに絞ったりと、普段したことがない体験がたくさんできました。

その素晴らしい発見や利用者の新たな一面に感動し、あっという間に体験は終わっていました。事業所の利用者が笑顔で完成したムースを食べるのを見て、「喜んでもらえてよかった」と安心をしました。

B支援員は毎日の日課や活動の内容に悩んだ時は、ACPの冊子を手にとってみるようになりました。そして、「ACPの冊子は支援員にとっても良い助けになるな」と確信しています。



園芸プログラムをとおして

Cさんの場合：30代 女性 知的障害(自閉スペクトラム症)

Cさんは手先が器用で、会話も少しできる方です。新しいことに取り組む際は慣れるまで時間がかかることもありますが、慣れたことはとても上手に行えます。

お父さんとお母さんは「いろいろな体験をさせてあげたい」と思っています。「障がいがあるから」という理由ではなく、「一人の人間として」可能性に挑戦してほしいと思っています。

Cさんは行動障がいがあり、他の人をつかんでしまったり、大きな声を出すことがありました。知らない人が大勢来て賑やかになることもあまり得意ではありません。そして、手順よく物事が進まないで苛立ってしまうこともありました。

園芸プログラムで、ACP講師(園芸福祉士)が来て、園芸の体験を行うことになりました。事前の打ち合わせで、テンポよく体験を進めてほしいと事業所の職員から聞いていたため、ACP講師もCさんが不快な思いをしないようテンポよく進めることができました。

Cさんが植えた花のバスケットは玄関に飾られ、それを見たお父さんとお母さんは「とてもうれしい」と話をされました。

Cさんはその後、外出の園芸体験でラベンダー摘み(※

P48~49参照)にも取り組むことができました。事業所の支援員は事後の振り返りの中で、Cさんがラベンダーの香りを笑顔で何度も嗅いでいたことがとても印象的であったと振り返りました。

事業所の支援員はACPやACP講師を活用し、支援の幅や場所が広がってきているように感じています。

「次はCさんにどんな体験をしてもらえるかな!」と支援員は楽しみにしています。



動物プログラムをとおして

Dさんの場合：40代 男性 知的障がい(自閉スペクトラム症)

Dさんは自宅で犬を飼っていますが、可愛がる方法がわからないためか、なかなか犬と上手に関わることはできません。犬と関わろうとすると、つい強引になってしまうこともあり、犬を抱いて落としてしまう、引っ張ってしまうこともありました。

Dさんは、動物ふれあいセンターで動物プログラム「動物のえさやり」(※P82~83参照)を行いました。最初はやや興奮してしまい、唾を吐いてしまったり、緊張した様子で動物に急に近づいたりしてしまいました。

そんなDさんの様子を見て、事業所の支援員は「スタッフにもう来ないでください、と言われたらどうしようか」「動物を傷つけてしまったらどうしようか」と心配をしていました。

しかし、ACPをとおして事前にセンターの人たちと打ち合わせをしたおかげで、センターのスタッフが「動物が怖かったら離れて見てもいいですよ」「またぜひ来てくださいね」と笑顔で言葉をかけてくれました。

事業所の職員はこれなら安心して「えさやり体験」ができると思い、うれしくなりました。

Dさんも同センターの動物には関心をもつことができました。「一度ではなく、何度でも行ってみよう!」と事業所の支援員が誘うことで、体験を重ねることができました。

回数を重ねる中である日支援員は「Dさんは柔らかいキャベツの葉は動物にあげにくいみたいだ」と気づきました。「スティックになっている堅いにんじんならあげやすい」ことを動物センターのスタッフに伝えると、同センターのスタッフも「なるほど!」と思いました。

2年間、同センターで動物体験を重ねたDさんは、ついに手のひらから動物に直接牧草をあげられるようになりました。

Dさんのお母さんはそれを知って、大変驚き、「この子にもこんなことができるんだ!」ととてもうれしくなりました。

有機的な循環を生み出す仕組み「葉野花実プロジェクト」がスタートしました!

新潟市では、豊かで多様な田園資源を活用し、体験を通じて重い障がいのある人に生きがいづくりや社会とつながって欲しいという思いから「アグリ・ケア・プログラム」に取り組み始めました。

そんな中、西区にある「あすなろ福祉園」では、捨てるはずの野菜の葉っぱ・花と古紙を活用して、趣きのある手漉きの紙「葉野花実(はのかみ)」を利用者が製作しています。(NHKやBSNニュースでも取り上げられました)。

これは、「アグリ・ケア・プログラム」で野菜づくりを行い、食べられない部分の葉や園庭の花などが出たこと、そして、利用者の活動の幅をさらに広げたいという支援員の思いから始まった取り組みです。

トマト、お茶、枝豆の皮、トウモロコシの皮やひげなどを使った「葉野花実(はのかみ)」は一つ一つ個性があり、様々な形での利用の可能性を秘めています。



まずは、アグリ・ケア・プログラムの「葉野花実の花灯ろう」(78ページ)や「さくら・サクラ・Sakura」(36ページ)の資材として活用し、重い障がいのある人の工賃向上に役立てていきたいと考えています。

さらに、田園資源と障がいのある人が手を組んだ取り組みが具体化しています。当プログラムのメンバーでもある C's kitchen(シーズキッチン)では、農と福祉と食とがつながり、今すでにあるものを活かしながら新しい価値を生み出す「rucoto」(ルコト)プロジェクトを進めています。

形の悪さや一部が傷ついてしまい、市場に出回ることなく廃棄される野菜や果物を福祉施設でドライフルーツ、乾燥野菜作り、ジャム加工などの1次加工をしてもらっています。福祉施設には衛生的で立派な厨房があり、高性能オーブンなどの厨房機器を導入しているにもかかわらず、十分に活用できていない現状があるからです。「もったいない」を活かし、みんなが支え合い、つながる未来に向かって、「おいしい循環」を進めています。

葉野花実はこの取り組みにも協力しており、授産品に活用されています。



にいがたの「もったいない」を生かした授産品たち



葉野花実で作った灯ろう

自慢の一枚 真心込めて
野菜使い紙作り挑戦

西区・福祉施設

重度の知的障害者が余った野菜を活用した手漉きの紙を製作し、社会参加や生きがいづくりに結びつける取り組みが新潟市西区の福祉施設で始まっている。障害者向けの農作業体験を推進する市の「アグリ・ケア・プログラム」(ACP)。

から生まれた事業で、障害者の収入にもつなげる狙いだ。ACPは市が2017年度に始め、「農業」「園芸」「動物」の3分野で構成し、社会とのつながりを育むことを目的としている。同市西区のあすなろ福祉園ではACPを活用し、自然農法で野菜を栽培したが、余剰分の活用がなかった。このため、施設職員が余った野菜や、施設で咲いている花を古紙に混ぜて紙をすくアイデアを考え、昨年8月から取り組み。紙作りは、独特の風合いが出るのが特長だ。1月は利用者1人がミニトマト入りの紙を作っ



余った野菜を使って楽しみながら紙を作る障害者ら＝新潟市西区

あがった。職員から「上手だね」「すごいじゃん」と声を掛けられると利用者は手をたたく喜びだ。紙はのし紙や花や社会とのつながりをよく「灯籠へ活用するなどして販

売する。あすなろ福祉園の大森真一さん(左)は「利用者の真心を紙に乗せて、地域の人や社会とのつながりをよく

平成31年(2019年)2月22日 新潟日報

プログラム一覧

- 農-1 菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう ①土作りをしよう!
- 農-2 菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう ②野菜作りをしよう!
- 農-3 菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう ③野菜を収穫をしよう!

Agriculture

- 食-1 季節の野菜のおみそ汁とおむすびづくり
- 食-2 季節の果物のヨーグルトアイスづくり
- 食-3 枝豆のムースづくり
- 食-4 トウモロコシの蒸しパン(パンケーキ)づくり
- 食-5 さつまいものモンブラン(スイートポテト)づくり

Food

- 園-1 プランターに花苗を植えて育ててみよう①
- 園-2 プランターに花苗を植えて育ててみよう②
- 園-3 さくら・サクラ・sakura①
- 園-4 さくら・サクラ・sakura②
- 園-5 季節のアレンジメント(母の日、ハロウィン、クリスマス等)
- 園-6 ハーブのコンテナガーデンづくり①
- 園-7 ハーブのコンテナガーデンづくり②
- 園-8 Garden野花的便り
- 園-9 ラベンダーとあそぼ(お出かけ)
- 園-10 ポタニカルなキャンドルづくり
- 園-11 かわいい鉢カバーを作ろう!
- 園-12 クリスマス飾り森のサンタさんを作ろう
- 園-13 クリスマスリースづくり①
- 園-14 クリスマスリースづくり②
- 園-15 ヒヤシンス窓辺の植物
- 園-16 香りのガーランド
- 園-17 多肉植物で作るインテリア
- 園-18 ハーブ・香りのお雛様
- 園-19 森の宝さがし(お出かけ)
- 園-20 もしもしかめさん♪
- 園-21 カードスタンドを作ろう
- 園-22 木の実のショートケーキ
- 園-23 季節の花摘みに出かけてみよう
- 園-24 葉野花実を使って花灯ろうを作ってみよう

- 動-1 動物たちに会いに行こう!
- 動-2 アルパカ・ヒツジ・ヤギの野菜えさやり体験
- 動-3 動物たちにふれてみよう!
- 動-4 ポニーふれあい体験

Animal

農業プログラム年間スケジュール

プログラム名	ページ	参加費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
農1-1 菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう ①土作りをしよう!	16.17	2,000円 ※	■													
農1-2 菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう ②野菜作りをしよう!	18.19		■			■										
農1-3 菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう ③収穫しよう!	20.21		■			■										

※1施設あたり農-1～農-3を通した金額です。

食プログラム年間スケジュール

プログラム名	ページ	参加費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
食1-1 季節の野菜のおみそ汁とおむすびづくり	22.23	600円	■												
食1-2 季節の果物のヨーグルトアイスづくり	24.25	600円	■												
食1-3 枝豆のムースづくり	26.27	600円				■									
食1-4 トウモロコシの蒸しパン(パンケーキ)づくり	28.29	600円	■												
食1-5 さつまいものモンブラン(スイートポテト)づくり	30.31	600円						■							

※食-4は、トウモロコシの旬の時期以外は、缶詰を使用します。

動物プログラム年間スケジュール

プログラム名	ページ	参加費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
動1-1 動物たちに会いに行こう!	80.81	無料	■												
動1-2 アルパカ・ヒツジ・ヤギの野菜えさやり体験	82.83	100円	■												
動1-3 動物たちにふれてみよう!	84.85	無料	■												
動1-4 ポニーふれあい体験	86.87	無料	■												

注) すべてのプログラムの参加費は目安で、季節や人数によって変わる場合がありますのでご相談ください。

園芸プログラム年間スケジュール



プログラム名	ページ	参加費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園1 プランターに花苗を植えて育ててみよう①	32.33	①施設用 2,000円												
園2 プランターに花苗を植えて育ててみよう②	34.35	②個人用 600円												
園3 さくら・サクラ・sakura①	36.37	①施設用 2,000円												
園4 さくら・サクラ・sakura②	38.39	②個人用 600円												
園5 季節のアレンジメント (母の日、ハロウィン、クリスマス 等)	40.41	1,200円												
			新入学	母の日	父の日	七夕	夏色	お月見	ハロウィン		クリスマス		バレンタイン	雛祭り
園6 ハーブのコンテナ ガーデンづくり①	42.43	①施設用 2,000円												
園7 ハーブのコンテナ ガーデンづくり②	44.45	②個人用 600円												
園8 Garden 野花の便り	46.47	600円												
園9 ラベンダーとあそぼ (お出かけ)	48.49	600円												
園10 ボタニカルなキャンドルづくり	50.51	600円												
園11 NEW かわいい鉢カバーを作ろう!	52.53	600円												
園12 クリスマス飾り森のサンタさんを作ろう	54.55	600円												

プログラム名	ページ	参加費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園13 クリスマスリースづくり①	56.57	①施設用 2,500円												
園14 クリスマスリースづくり②	58.59	②個人用 1,000円												
園15 ヒヤシンス 窓辺の植物	60.61	600円												
園16 香りのガーランド	62.63	600円												
園17 NEW 多肉植物で作るインテリア	64.65	600円												
園18 ハーブ・香りのお雛様	66.67	600円												
園19 森の宝さがし (お出かけ)	68.69	600円												
園20 NEW もしもしかめさん♪	70.71	600円												
園21 NEW カードスタンドを作ろう	72.73	600円												
園22 NEW 木の実のショートケーキ	74.75	600円												
園23 NEW 季節の花摘みにお出かけしてみよう (お出かけ)	76.77	600円												
園24 NEW 花野果実で花灯ろうを作ろう	78.79	600円												

注) すべてのプログラムの参加費は目安で、季節や人数によって変わる場合がありますのでご相談ください。

農-1 菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう

①土作りをしよう!

体験活動

1 体験の前に



家から野菜くずを持ってこよう

2 土の中の菌ちゃんが食べやすいように野菜くずを小さくしよう!

野菜くずを小さくするよ。手でちぎったり、木づちを使ってトントン叩いたり、とってもおもしろいね。

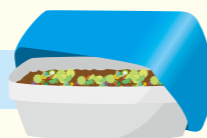


3 野菜くずにボカシを混ぜよう!

小さくした野菜くずにボカシを混ぜるよ。このボカシという魔法の粉を入れると、土の中の菌ちゃんが増えて野菜が元気になる土になるんだって。



4 枯草や新聞紙を土にかぶせ、ブルーシートで覆います。



土づくりの注意ポイント

- 野菜くずを木槌などでたたくときに、振り回さないように気をつけましょう。人や物にあたると危ないよ。
- 間違えて、野菜くずを食べないように気をつけましょう。
- ボカシを野菜くずに入れるときに、ボカシを吸い込まないように気をつけましょう。

ひろいばしょがいるかな
せまい ←……………→ ひろい
★★★★☆

みんなできるかな
ひとりで ←……………→ みんなで
★★★★☆

むずかしいかな
むずかしい ←……………→ かんたん
★★★★☆

参加利用者人数 20人程度

4月上旬~9月上旬 屋外 2,000円程度(1施設で収穫まで)

目的 野菜くずと微生物(ボカシ)を活用した、誰もが簡単にできる作業を通して、土づくりを楽しむ。

効果 野菜くずを木槌で叩いたり、みんなで叩いた野菜くずを混ぜたりするなど、協力して力を合わせて土作りを行うことで一体感が芽生える。

活動のポイント!

- ・利用者の各家庭から野菜くずを持ってきてもらい、わくわく感をもたせる。
- ・土を触ったり、野菜くずをたたいたり、どんな方でも作業ができる。

施設事前準備

- 畑編**
 - ・畑ができる場所(土が固い場所でも可)
 - ・ブルーシート(畝全体を覆うもの)×畝数
 - ・厚くて大きいビニール袋(90ℓ程度)×活動班
 - ・野菜くず(1m²あたり10kg)
 - ・枯草または新聞紙×畝の数に見合う量
- プランター編**
 - ・プランター(できるだけ大きいもの)
 - ・ブルーシート(プランター全体を覆うもの)×プランター数
 - ・ブルーシート(できるだけ大きめのもの)
 - ・野菜くずと土(野菜くず:土=体積比で1:3)
 - ・枯草または新聞紙×プランターの数に見合う量

講師準備

- 共通**
 - ・木槌×活動人数分
 - ・カキ殻石灰
- 畑編**
 - ・ボカシ×1m²あたり2~3kg(梅雨や寒い時期はもっと多めがいい)
 - ・米ぬか×1m²あたり2~3kg(7~8月は高温になりすぎるので不要)
- プランター編**
 - ・ボカシ×大きいプランター1個に対して500g以上(時に梅雨や寒い時期はもっと多めがいい)
 - ・米ぬか×大きいプランター1個に対して1kg以上(7~8月は高温になりすぎるので不要)
 - ・タマネギ貯蔵用網袋×プランター個数
 - ・上記の中に入れるモミ殻または小石適量
 - ・プランターの上に置く浪板×プランターの個数

作業の注意事項

- ・木槌などを使って野菜くずを細かくする際、振り回さないように気をつける。
- ・野菜くずを食べないように気をつける。
- ・その後の管理について、講師からアドバイスをもらう。



所要時間と当日の作業の流れ

スタッフ集合 材料セッティング(20分)

講師紹介 講師による説明(5分)

①ブルーシートに持ち寄った野菜くずを広げて観察する(5分)

②野菜くずを木槌で叩いて小さくする(10分)

③ボカシを入れて混ぜる(5分)

④野菜くず畑やプランターに入れて混ぜる(5分)

⑤枯草または新聞紙をかけ、ブルーシートをかける(10分)

完成

片付け

反省会(次回作業内容の確認)

- ・できるだけ地域住民にも声をかけて、土作り・野菜作りを通じた交流を図る。
- ・3日目、7日目、14日目に空気を入れるための攪拌作業を行う。
- ・2週間後、生ゴミ臭くなければカキ殻石灰を入れて、更に2週間ねかせて完成。
- ・野菜くずの中にある生長点(ニンジンのヘタ等)を水につけておいて、野菜の生き様を感じてもらうことができる。

農-2 ^{きん} ^{ちから} ^{げんき} ^{やさい} ^{そだ} **菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう**
^{やさい} ^{づく} **②野菜作りをしよう!**

ひろいばしょがいるかな
 せまい ←……………→ ひろい
 ★★★★★

みんなできるかな
 ひとりで ←……………→ みんなで
 ★★★★★☆

むずかしいかな
 むずかしい ←……………→ かんたん
 ★★★★★☆

体験活動

① 種や苗を植えよう!

^{げつ} ^す ^{つち}
 1か月過ぎたら、土がふかふかになったよ。
^{たね} ^{なえ} ^う ^{やさい}
 種や苗を植えて、おいしい野菜をつくろう。



おすすめの夏野菜

- トマト ● キュウリ
- ナス ● クウシンサイ
- エダマメ ● モロヘイヤ



② 芽が出てきたら土の上に草を敷こう!

^{つち} ^{うえ} ^{くさ} ^し ^{つち} ^{なか} ^{きん} ^{えいよう}
 土の上に草を敷くと、土の中の菌ちゃんの栄養
 にもなるし、雑草が生えにくくなるんだって。
^{しゅうかく} ^{たの}
 収穫が楽しみだな。



おすすめの秋冬野菜

- ダイコン
- カブ



参加利用者人数 **20人程度**

5月下旬~12月 屋外 2,000円程度(1施設で収穫まで)

目的

菌ちゃんいっぱい土に野菜の種や苗を植える。そして、できるだけ手間をかけずに、利用者と職員がともに楽しめる野菜づくりを目指す。

効果

日々の成長を楽しみ、みんなで一緒にお世話をすることで野菜への愛着、土や植物に触れる楽しさが育まれる。

活動のポイント!

- ・ 雑草取りなどの手間のかかる作業は極力控える。(土の表面を5~10cmの草で覆うと雑草を抑え、乾燥を防ぎ土中にミネラルを補給できる。)
- ・ 苗の場合、植え穴にたっぷり水やり、植え付けの後の数日間は水をやらないで強くする。

施設事前準備

- ・ 野菜の種または苗
- ・ ジョウロ
- ・ 雑草



〈おすすめ夏野菜〉

- ・ トマト ・ キュウリ ・ ナス ・ エダマメ
- ・ クウシンサイ ・ モロヘイヤ

〈おすすめ秋・冬野菜〉

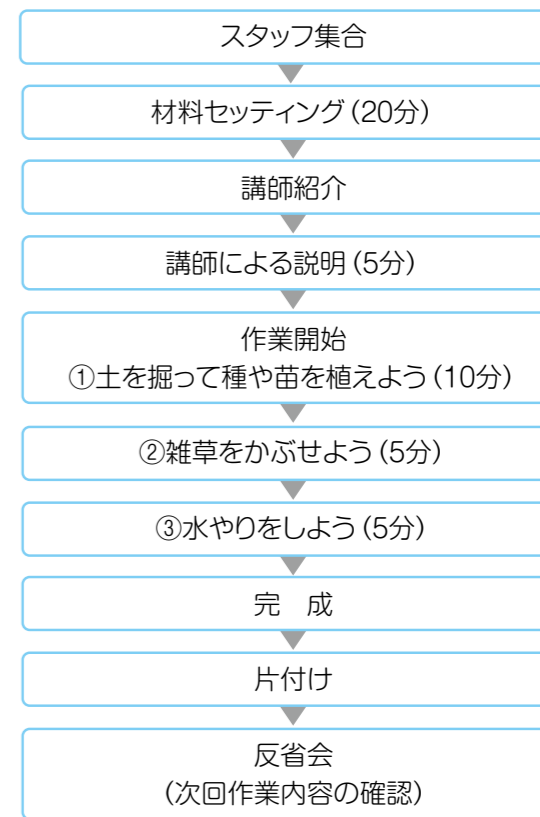
- ・ ダイコン ・ カブ

作業の注意事項

生長を良くする摘芯(枝やつるの先端などを摘むこと)など、栽培の中で必要な作業が出てくる場合は、農家や指導者の助言を得る。



所要時間と当日の作業の流れ



収穫した野菜を最終的にどうするかを見据え成長する品種を決定する。
 例①: 施設利用者・職員で食べる。
 例②: 食のプログラムに活用する。
 例③: 販売や加工品の材料に使う。
 例④: 動物ふれあいセンターの動物にあげる。※動物ふれあいセンターに要相談

農-3 ^{きん} ^{ちから} ^{げんき} ^{やさい} ^{そだ} **菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう**
^{やさい} ^{しゅうかく} **③ 野菜を収穫をしよう!**

ひろいばしょがいるかな
 せまい ←……………→ ひろい
 ★★☆☆☆

みんなできるかな
 ひとりで ←……………→ みんなで
 ★★☆☆☆

むずかしいかな
 むずかしい ←……………→ かんたん
 ★★☆☆☆

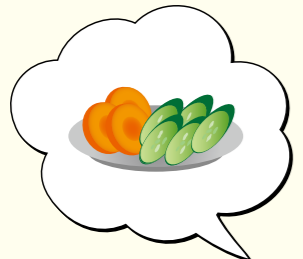
体験活動

1 野菜を収穫しよう!

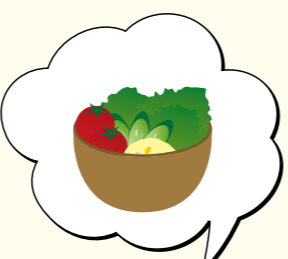
たくさん野菜が収穫できたよ。
 みんなで食べてもいいし、お客様に買って
 もらってもいいし、動物ふれあいセンター
 の動物にあげるのもいいね!



収穫した野菜を食べてみよう!



収穫まえから、どうやって食べるか
 相談しておこうね。



参加利用者人数 **20人程度**

7月下旬~1月 屋外 2,000円程度(1施設で収穫まで)

目的 菌ちゃんいっぱいので作った野菜を収穫する。収穫した野菜を施設の活動に活用する。

効果 収穫した野菜をみんなで食べたり、販売や加工をしたり、動物にあげることで、充実感と達成感を得る。

活動のポイント!

- 〈食べる場合〉
 みんなで土作り・野菜作りを振り返りながら、調理したり、食べる。
 →食の22-23ページ参照
- 〈動物にあげる場合〉
 エサやりの時間帯に合わせて訪問する。
 動物が喜びを感じているだろうと思われることを適切に職員が利用者に伝える。

施設事前準備

みんなで育てた野菜、調理を行う場合は、調理道具や調味料など



地域住民などと協力した場合は、食べることも一緒に、さらなる交流につながる。



所要時間と当日の作業の流れ

- 食べる場合**
 収穫前から、どんな料理で食べるかを相談する。
- 素材の持つ力を感じてもらうための食べ方を
 する。生野菜であればそのまま。調理する
 場合も必要最低限の調理と味付けとする。
- できるだけ皮や生長点を食べて欲しいが、食
 べられない場合は、次の菌ちゃんにつなげる。
- 販売・加工品を作る場合**
 無農薬の素材であることや、施設の利用者が
 力を合わせ育てた野菜であることを売りにし
 て販売につなげる。
- 動物にあげる場合**
 動物ふれあいセンター着
 ①動物たちに声をかける
 ②動物に野菜をあげる
 ③センターの職員から動物の反応を聴く
 終了・あいさつ・出発

プログラム①(農業編)

プログラム②(食編)

プログラム③(園芸編)

プログラム④(動物編)

食-1 季節の野菜のおみそ汁とおむすびづくり

🍴 レシピは P114 をご参照ください。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



体験活動

1 事前に用意しておこう！

野菜は土を落とし
きれいに洗っておこう。

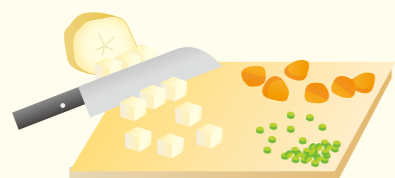


手をすすぎ
まできれいに
洗いましょう



エプロン・三角巾・マスクをつけましょう。

2 野菜は皮をむいて、包丁で切ったりちぎったりして食べやすい大きさにしよう。



浅漬けの野菜は
塩こうじと一緒に
袋にいれて、
軽くもんで味を
なじませるよ。



おみそ汁の野菜はだして煮ると、
やわらかく食べやすくなるよ。

3 炊きあがったごはんでおむすびを作ろう。

ラップでごはんを包んで、ふんわり
やさしくにぎると美味しいね。



4 おみそ汁、おむすび、浅漬けを お皿に盛り付けて、できあがり！



みんなて
いただきます！

注意 ポイント

- ・おみそ汁のお鍋は熱いので触らないように注意しましょう。
- ・包丁を使うのがむずかしくても、キャベツや菜っ葉はちぎって細かくすれば大丈夫。お豆腐はスプーンですくって入れてもいいね。

参加利用者人数 5人以上～

オールシーズン 室内 600円程度 / 1人

目的

普段食べているお味噌汁とおむすびを、
自分たちで作ってみてよく味わって
食べましょう

効果

自分たちで調理することで自信に
つながる。食べ物への興味がわく。

活動のポイント！

菌ちゃんの土づくりや農のプログラムで
収穫した野菜を使うこともできます。

施設事前準備

あれば試食時の食器や箸など
エプロン、三角巾、マスク、
使い捨て手袋



講師が持参するもの

- ・使い捨て皿、お椀、箸 (人数分)
- ・炊飯器・IH・みそ汁用鍋・お玉
- ・しゃもじ・ラップ・ビニール袋・ラップ
- ・チャック付保存袋・まな板・包丁
- ・延長コード・アルコールスプレー・ふきん

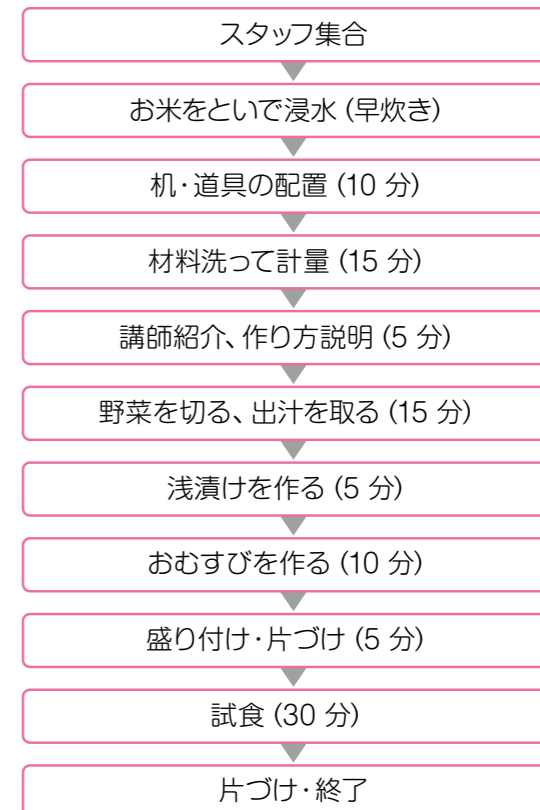


材 料

- おむすび：米、塩、おむすび具材など
- みそ汁：出汁、みそ、野菜
- 浅漬け：野菜、塩、塩こうじなど



所要時間と当日の作業の流れ



注意点

- ・アレルギー食材の確認(大豆使用)
- ・火や熱湯を使うのでやけどをしないよう十分気を付ける。

食-2 季節の果物のヨーグルトアイスづくり

🍴 レシピは P114 をご参照ください。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



体験活動

1 事前に用意しておこう！

エプロン・三角巾・マスク
をつけましょう。

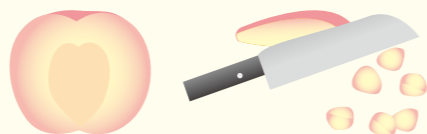


手をすすずみ
まできれいに
あら
洗いましょう

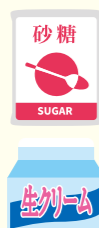


2 桃または苺をこまかく切りましょう。

スケッパーという道具で切るか、
フォークでつぶしても OK だよ。



3 生クリームに砂糖を入れて泡立てましょう。



ハンドミキサーで泡立てるよ。
フーンという音がするので
驚かないでね。



こおりみず
氷水で冷やし
ながらふんわり
泡立てよう。

4 ヨーグルト、生クリーム、切った桃を混ぜ合わせ、
スプーンですくって器に盛り付けましょう。

- ・ふんわりやさしく混ぜあわせましょう。
- ・冷凍庫に入れて、ひんやりと冷たく固まってからいただきます。



注意
ポイント

ハンドミキサーはみんなで順番に使いましょう。
回っているホイッパー部分には触らないように気を付けましょう。

参加利用者人数 5人以上～

4月～10月 室内 600円程度 / 1人

目的

旬の果物を使って、ひんやり冷たいおやつを作りましょう。

効果

自分たちで作った冷たいおやつをみんなで味わうことでより一層の喜びにつながる。旬の果物への興味がわく。



活動のポイント!

生クリームを泡立てて加えることで、凍らせてもガチガチに固まらず、食べやすいアイスになります

施設事前準備

施設の冷凍庫のスペースを確保する
エプロン、三角巾、マスク、
使い捨て手袋
あれば試食時のスプーン (人数分)



講師が持参するもの

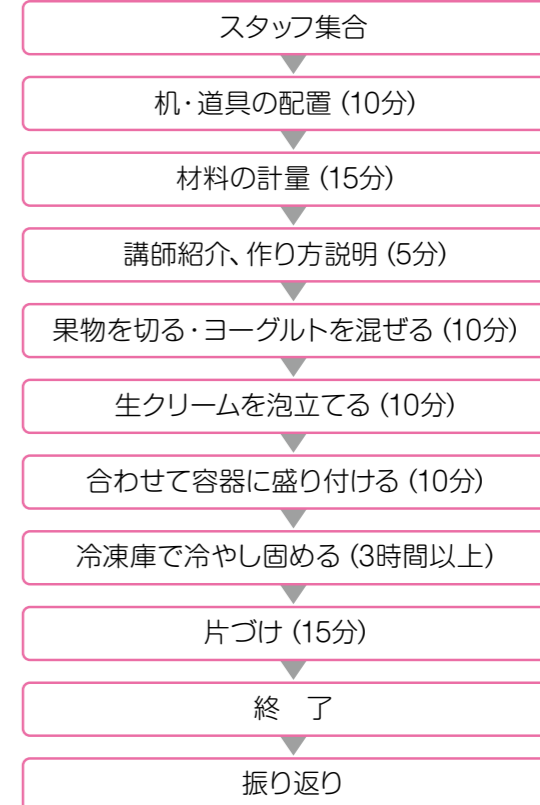
- ・デザートカップとスプーン (人数分)
- ・ボウル大中小 ・ハンドミキサー ・ホイッパー
- ・スケッパー ・ゴムベラ ・バット ・お玉
- ・フォーク ・盛りつけ用スプーン ・ビニール袋
- ・チャック付保存袋 ・ラップ ・まな板 ・包丁
- ・延長コード ・アルコールスプレー ・ふきん

材料

氷(生クリーム泡立て用)、
ヨーグルト、生クリーム、
砂糖、果物 (苺や桃の缶詰など)



所要時間と当日の作業の流れ



注意点

アレルギー食材の確認 (乳使用)
* 試食は凍ってから、召し上がって
いただく形になります

食-3 えだまめ 枝豆のムースづくり

🍴 レシピは P115 をご参照ください。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



体験活動

1 事前に用意しておこう！

エプロン・三角巾・マスクをつけましょう。



手をすすずみ
まできれいに
あら
洗いましょう



2 茹でておいた枝豆をさやから出して、牛乳と一緒にミキサーにかけてなめらかにしよう。



とろりとクリーミーに
なるまで回しましょう。

ミキサーは
大きな音が
するよ。



3 生クリームに砂糖を入れて泡立てましょう。

ハンドミキサーで泡立てるよ。フィンという音がするので驚かないでね。



氷水で冷やしながらふわわり泡立てよう。

スプーンで盛りつけよう。



4 枝豆と生クリームを混ぜ合わせ、スプーンでカップに盛りつけましょう。

仕上げに
ミントを飾って
できあがり！



注意ポイント

- ・ミキサーやハンドミキサーのスイッチを入れると大きな音が出るよ。
- ・なめらかになるまでよく回すと口当たりがよいムースになるよ。
- ・すぐに食べないときは冷蔵庫で冷やしましょう。

参加利用者人数 5人以上～

7月～9月 室内 600円程度 / 1人

目的

夏が旬の新潟特産の枝豆でなめらかなスイーツを作りましょう。

効果

枝豆をさやから押し出して剥き、食材の色や香りを楽しみながら調理する。

活動のポイント！

普段食べている枝豆を、なめらかなスイーツとして味わうことで、より一層香りを感じられます。

施設事前準備

あれば試食用のスプーン (人数分)
エプロン、三角巾、マスク、
使い捨て手袋



講師が持参するもの

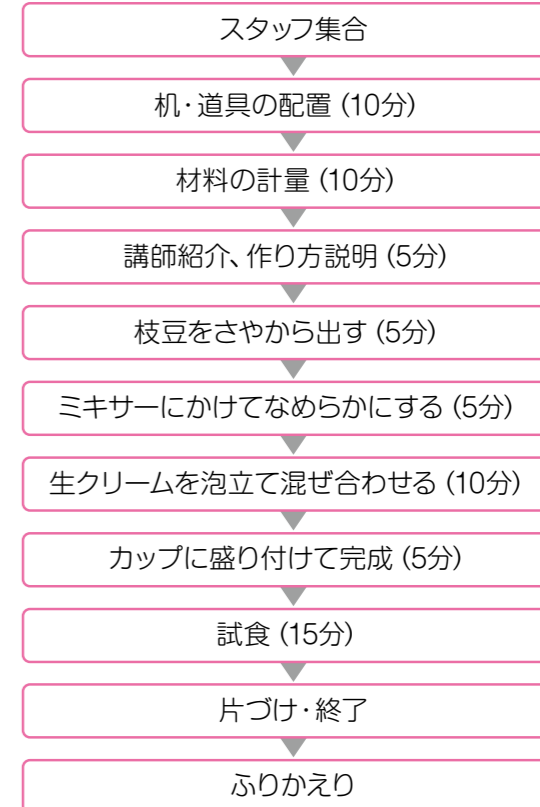
- ・デザートカップとスプーン (人数分)
- ・ボウル (大中小) ・バット ・ラップ
- ・ハンドミキサー ・ミキサー ・ゴムベラ
- ・ビニール袋 ・チャック付保存袋
- ・延長コード ・盛りつけ用スプーン
- ・(枝豆を当日ゆでる場合はIHと鍋)
- ・アルコールスプレー ・ふきん

材料

枝豆、牛乳、生クリーム、
砂糖、ミントなど
(枝豆は茹でておく)



所要時間と当日の作業の流れ



注意点

- ・アレルギー食材の確認(大豆使用)
- ・大きな音が出るミキサーやハンドミキサーを使うのでケガのないよう十分気を付ける。

食-4 トウモロコシの蒸しパン(パンケーキ)作り

🍴 レシピは P115 をご参照ください。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



体験活動

1 事前に用意しておこう!

エプロン・三角巾・マスクをつけましょう。

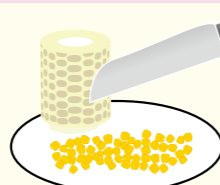


手をすすり
まできれいに
洗いましょう



2 トウモロコシの皮をむいて実を芯から外そう

緑色の皮をむいてみたら、黄色いトウモロコシが出てきたね!



包丁を使って
ゆっくり実をそぎ
落としましょう

3 ボウルに粉類をふるって入れ、砂糖と塩を加えてホイッパーでよく混ぜよう。



4 卵を溶きほぐし、牛乳、サラダ油を入れてよく混ぜたら、粉と合わせよう。

トウモロコシの実も入れるよ。



ダメができない
ようにしっかりと
混ぜてね

5 蒸しパン生地をカップに入れて、15分蒸し器で蒸し上げたらできあがり。

上にトッピング用のトウモロコシを散らすとかわいいね



おおきく
ふんわり
膨らむのかな

注意ポイント

包丁を使うときは、講師と一緒に作業しましょう。
蒸し器は熱いお湯を使うので、やけどしないように気を付けよう。

参加利用者人数 5人以上~

オールシーズン 室内 600円程度 / 1人

目的

あつあつふわふわの生地とトウモロコシのプチプチとした食感を味わえるおやつを作しましょう。

効果

トウモロコシの皮を剥きひげを取って、おやつ作りをすることで、食べ物への興味がわく。普段あまりしたことがない作業に取り組む。

活動のポイント!

トウモロコシの収穫時期には、獲れたての生のトウモロコシを使うとプチプチの食感と甘さが味わえます。蒸しパンかパンケーキか、会場の設備や季節などによって選びましょう。

施設事前準備

- ・あれば試食時の皿とフォーク人数分
- ・エプロン ・三角巾 ・マスク ・使い捨て手袋

講師が持参するもの

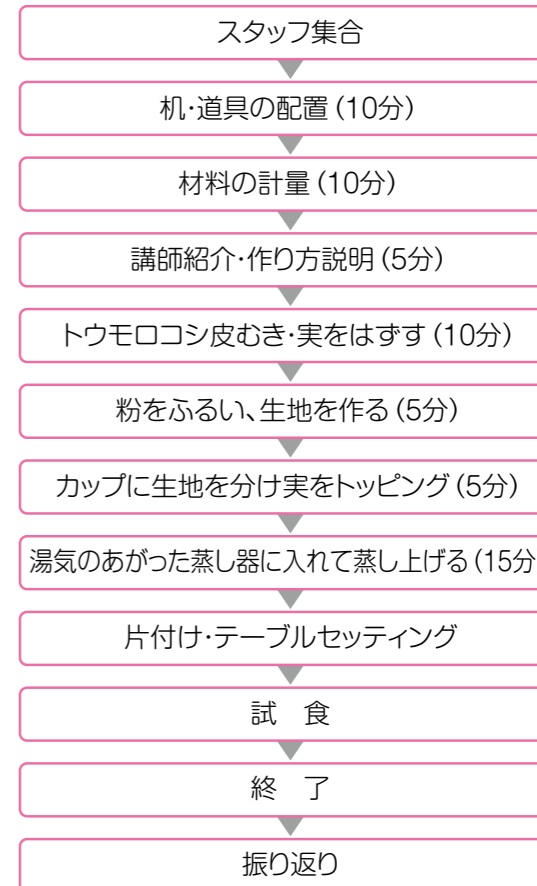
- ・蒸しパンカップ ・皿 ・フォーク人数分
- ・IH ・蒸し器またはホットプレート
- ・ボウル(大中小) ・バット ・フライ返し
- ・粉ふるい ・ホイッパー ・包丁 ・まな板
- ・計量カップ ・はかり ・ゴムベラ ・ラップ
- ・ビニール袋 ・もりつけスプーン ・延長コード
- ・アルコールスプレー ・ふきん

材料

- ・トウモロコシ(生または缶詰)
- ・薄力粉 ・ベーキングパウダー
- ・砂糖 ・塩 ・卵 ・サラダ油 ・牛乳



所要時間と当日の作業の流れ



注意点

アレルギー食品の確認(卵・乳・小麦使用)
蒸し器やホットプレートなど熱くなる調理器具を使うのでやけどに注意する。
トウモロコシの実をそぎ落とす際は、加減が難しいので講師が手を添える。

食-5 さつまいものモンブラン(スイートポテト)づくり

食-5 レシピは P116 をご参照ください。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



体験活動

1 事前に用意しておこう！

さつまいもは土を落としきれいに洗っておこう。



手をすすぎまできれいに洗いましょう



エプロン・三角巾・マスクをつけましょう。

2 皮を剥いてやわらかく蒸したさつまいもをつぶそう。



皮を剥いてやわらかく蒸したさつまいもをつぶそう。

お芋が熱いうちに力を入れてしっかりとよくつぶそう。
マッシャーという道具を使うとつぶしやすいね。

3 牛乳と生クリームを入れてなめらかなペーストにしよう。



絞り袋に入れて使うよ。
柔らかめにしたら方が絞るときに力がいらぬ。

4 生クリームに砂糖を入れて泡立てよう。



ハンドミキサーで泡立てるよ。
ブーンという音がするので驚かないでね。



氷水で冷やしながらふんわり泡立てよう。

5 さつまいもペーストとホイップクリームをカップに絞り出して飾り付けて出来上がり。



注意ポイント

- さつまいもを蒸すときの蒸し器は熱いので触らないように注意しましょう。
- ハンドミキサーの回転しているホイッパー部分はさわらないようにしましょう。

参加利用者人数 5人以上～

9月～3月 室内 600円程度 / 1人

目的

秋の味覚の甘いホクホクのさつまいもでスイーツを作りましょう。

効果

さつまいもをつぶしたり丸めたり絞ったり。少し難しい作業にも挑戦することで自信につながる。

活動のポイント

農のプログラムなどの芋掘りで収穫したさつまいもを使ってもよいでしょう。絞り出す作業がむずかしい場合はスイートポテトを作りましょう。

施設事前準備

あれば試食用のスプーン (人数分)
エプロン、三角巾、マスク、
使い捨て手袋



講師が持参するもの

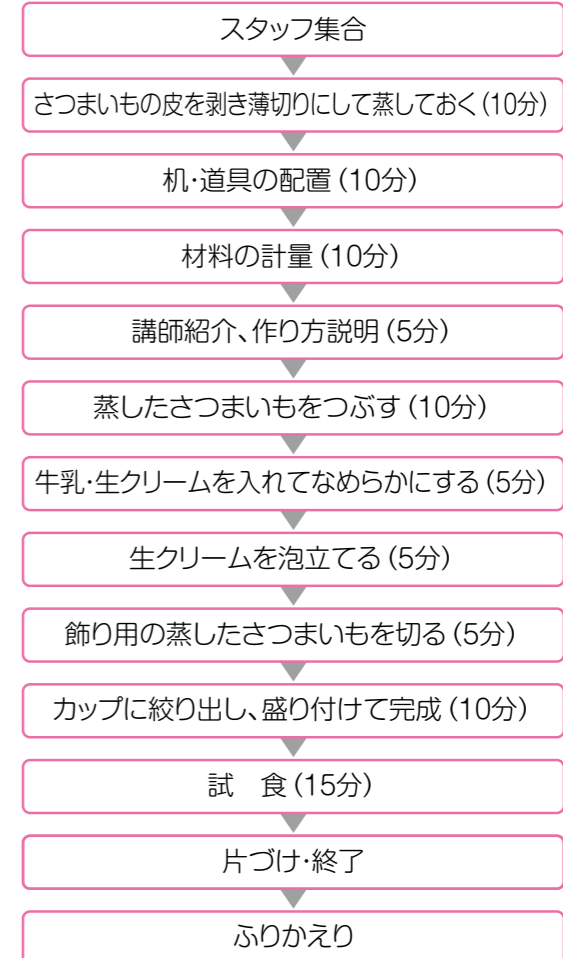
- デザートカップとスプーン人数分
- ボウル (大中小) ・バット ・ハンドミキサー
- マッシャー ・蒸し器 ・IH ・絞り袋 ・口金
- ゴムベラ ・ビニール袋 ・チャック付保存袋
- ラップ ・延長コード ・まな板 ・包丁
- アルコールスプレー ・ふきん

材料

さつまいも、牛乳、
生クリーム、砂糖、
粉砂糖、ミントなど



所要時間と当日の作業の流れ



注意点

- アレルギー食材の確認 (乳使用)
- 蒸し器や包丁を使うのでやけどやケガのないよう十分気を付ける。

園-1 プランターに花苗を植えて育ててみよう①

みんなで1つのものを作るプログラムです

体験活動

1 事前に用意しておこう!



は 晴れていても
きゆう あめ
急な雨に
そなえておこう

2 プランターに土をいれよう!



つち
土を入れたら
はななえ
花苗をおいてみよう



3 穴をほって植え込もう!



なえ う
苗を植えたらやさしく
つち う
土で埋めよう

4 置く場所を決めて、お水をやろう!



みず
お水のやりすぎ
ちゅうい
には注意しよう



きせつ かん
季節を感じる



さぎょう
作業のむずかしさ



かお かん
香りを感じる



〈施設用〉

参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

春と秋 屋外 2,000円程度/1プランター

目的

施設の玄関前をきれいにしよう。
クラフトに使用できる花を植えて育てる。
土に触れる経験を増やす。

効果

意欲と役割の責任感の向上

活動のポイント!

毎日植物の世話をすることによって
優しい気持ちを育む



施設事前準備

- ・プランターの確認
- ※新規に購入する場合は事前に申込時にお知らせください。
- ※既存のプランターがある場合はお知らせください。

事前に用意しておくもの

- ・ゴミ袋
- ・軍手
- ・ゴム手袋
- ・雨具

講師が持参するもの

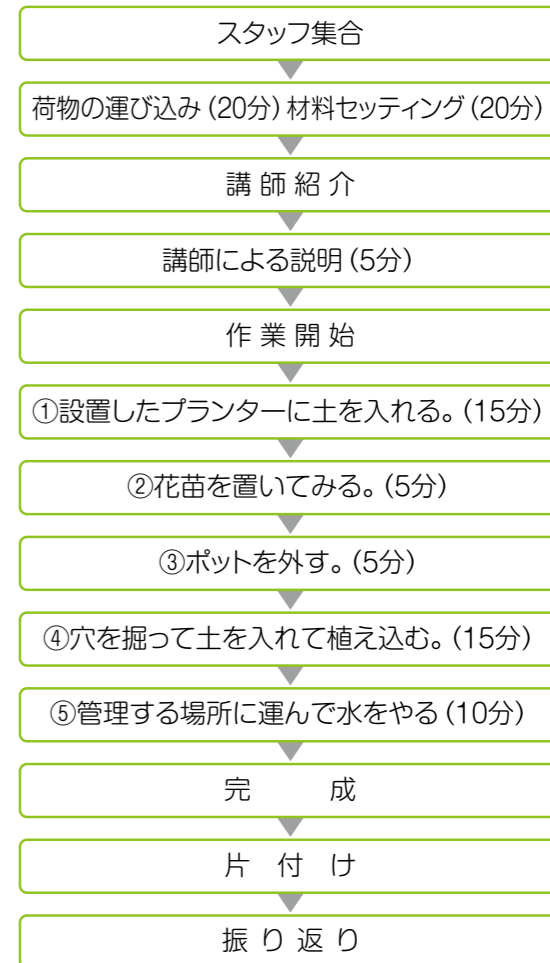
- ・培養土・肥料・園芸用はさみ・スコップ
- ・土いれ・フネ・ブルーシート
- ・花苗 (植物図鑑 P118-119参照)

作業注意事項

屋外の作業なので、帽子や雨具、
軍手・ゴム手袋などの準備をすること



所要時間と当日の作業の流れ



スペースに限りがある場合は作業手順に
工夫をするとよい。雨天の場合は室内で
行うのでブルーシートの準備をする。
*プランターの数は講師に伝えておく

園-2 プランターに花苗を植えて育ててみよう②

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 事前に用意しておこう！



は 晴れていても
きゆう あめ
急な雨に
そなえておこう

2 プランターに土をいれよう！



つち
土を入れたら
はななえ
花苗をおいてみよう



3 すき間に土を入れて植え込む



なえ う
苗を植えたらやさしく
つち い
土を入れよう

4 家に持ち帰り、育ててみよう



みず
お水のやりすぎ
ちゆうい
には注意しよう



きせつ かん
季節を感じる
★★★★★

さぎょう
作業のむずかしさ
★☆☆☆☆

かお かん
香りを感じる
★★★★★

〈個人用〉

参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

春と秋 屋外 600円程度/1鉢 持ち帰りできます

目的 季節感が感じられる。クラフトに使用できる花を植えて育てる。土に触れる経験を増やす。

効果 意欲と役割の意識の向上

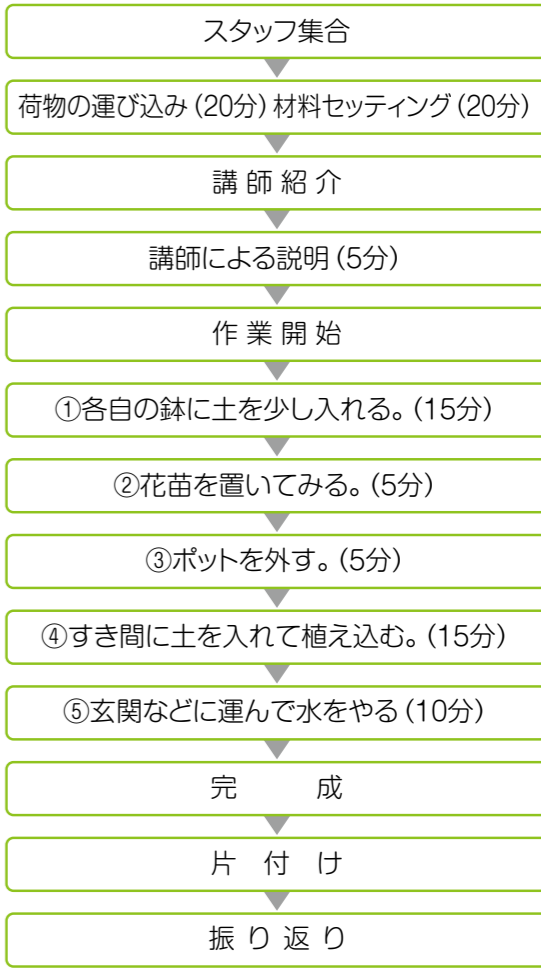
活動のポイント! 毎日植物の世話をすることによって優しい気持ちを育む

- 施設事前準備**
- ・プランターの確認
 - ※基本的に講師で鉢を準備します。
 - ※既存のプランターを使いたい場合はお知らせください。
- 事前に用意しておくもの**
- ・ゴミ袋 ・ジョロ
 - ・軍手
 - ・ゴム手袋
 - ・雨具
- 講師が持参するもの**
- ・培養土 ・肥料 ・園芸用はさみ ・スコップ
 - ・土いれ ・フネ ・ブルーシート
 - ・花苗 (植物図鑑 P118-119参照)

作業注意事項
屋外の作業なので、帽子や雨具、軍手・ゴム手袋などの準備をすること



所要時間と当日の作業の流れ



スペースに限りがある場合は作業手順に工夫をするとよい。雨天の場合は室内で行うのでブルーシートの準備をする。
*個人用の鉢代込みの体験料です。

園-3 さくら・サクラ・Sakura①

みんなで1つのものを作るプログラムです

体験活動

体験の前に

〈作業準備〉

- ① 配られた折り紙を細かくちぎる。
- ② 花びら型に厚紙を切る。
- ③ さくらの木を紙で作る。



1 厚紙の裏に名前を書く。

記念になるね



2 花びら型の厚紙に細かくちぎった折り紙をのりで貼る。

どんどん貼って
いこう



3 2を事前に作ったさくらの木にマスキングテープで貼る。

みんなで協力して
さくらの木を
完成させよう



季節を感じる



作業のむずかしさ



創作のよろこび



〈施設用〉

参加利用者人数 3人以上 (多数の場合は
ご相談ください。)

3~4月 室内 2000円程度 / 1回

目的

春を感じられる。
施設を春らしく演出する。
創作の楽しさを体験する。



効果

- ・創造の楽しさの体験 ・達成感
- ・手指の器用さ ・保護者や来場者に
見てもらうことができる。

活動のポイント!

みんなで力を合わせて桜の木を完成させる。
・のりの量やつけ方をていねいに行う。
・木が安定するようにバランスを配慮する。

施設事前準備

時間内に作業を終わらせるのが難しい場合は
利用者に花びら用にピンクの折り紙を手で
ちぎっておいてもらう。

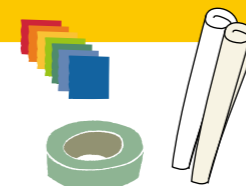
事前に用意しておくもの

- ・のり



講師が持参するもの

- ・模造紙・おりがみ
- ・マスキングテープ
- ・ボール紙 ・ロール紙

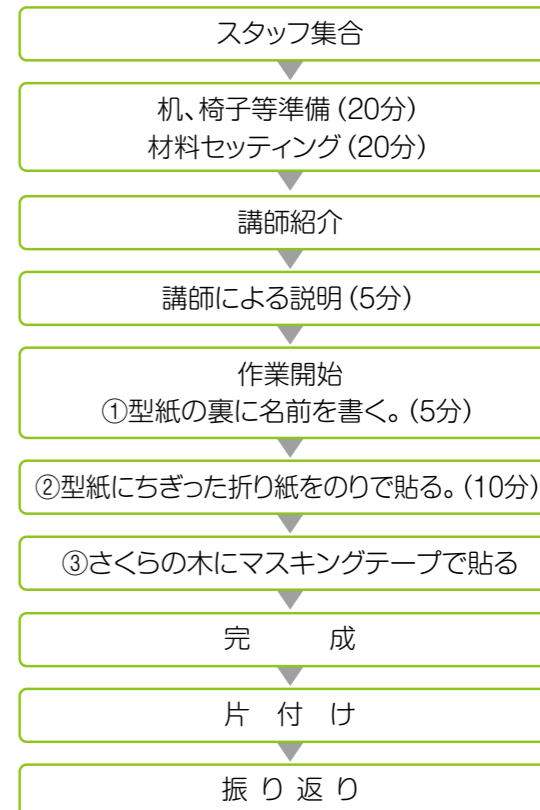


作業注意事項

大きな作品になるのでスペースの確保が必要。
施設によっては小ぶりの作品に仕上げるなど
工夫をする。



所要時間と当日の作業の流れ



乾くと色が消えるタイプののりを使うと、
花びらを張り付ける場所がわかりやすい。

園-4 さくら・サクラ・Sakura②

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 ボードの裏に名前を書く。

記念になるね



2 葉野花実を水を含ませた筆で型取りをし、木の幹を作成する。

※「葉野花実」の詳細については、P10をご参照ください。



3 配られた折り紙を細かくちぎる。



4 ボードの紙をはいで、桜の枝を額のように配置しボンドで接着する。

5 更にボードに細かくちぎった折り紙を貼る。

どんどん貼って
いこう



季節を感じる



作業のむずかしさ



創作のよろこび



〈個人用〉

参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

3~4月 室内 600円程度/1個 持ち帰りできます

目的

春を感じられる。
身の回りを春らしく演出する。
創作の楽しさを体験する。



効果

・創造の楽しさの体験 ・達成感
・手指の器用さ ・保護者や来場者に見てもらえることができる。

活動のポイント!

個人のおみやげになる作品です。施設での展示など、季節の演出に使えます。

施設事前準備

当日、花びらを切るのが難しい方の場合は、他の利用者に花びら用のピンクの折り紙を手でちぎっておいてもらう。

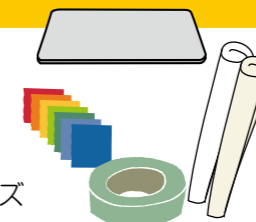
事前に用意しておくもの

・ボンド



講師が持参するもの

・おりがみ ・ボール紙
・ロール紙 ・ボード
・筆 ・ピン
・「葉野花実」 A5サイズ

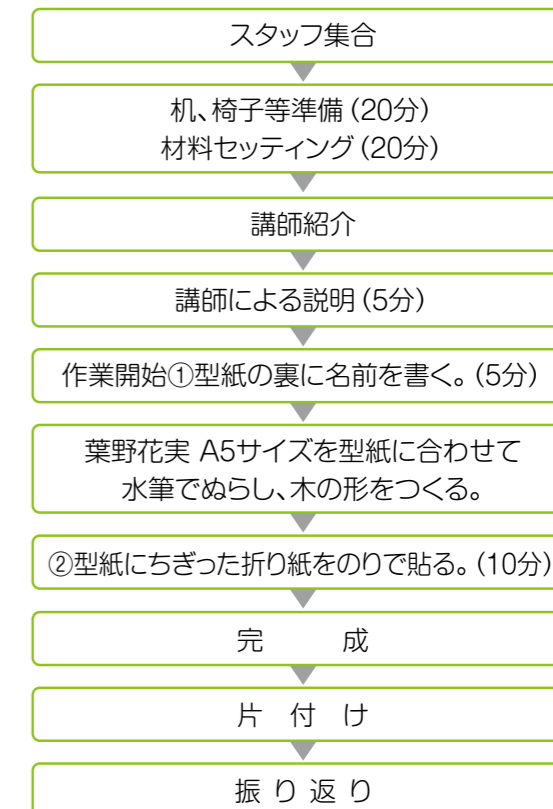


作業注意事項

作業しやすいようにボードのシールをはがす前に材料や道具を準備しましょう。



所要時間と当日の作業の流れ



園-5 季節のアレンジメント (母の日・ハロウィン・クリスマス)

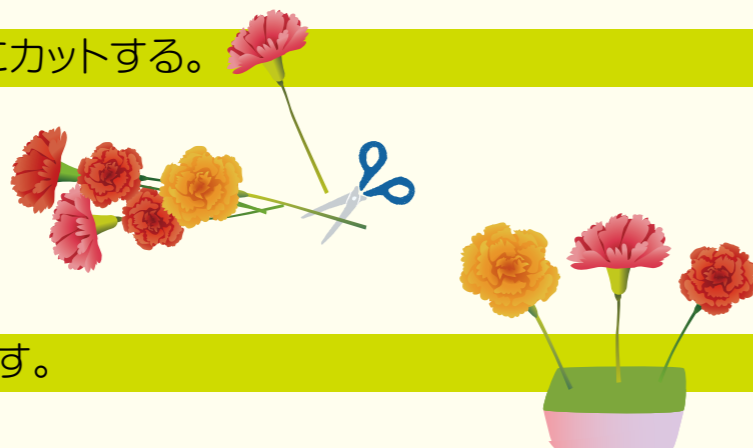
自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 水を吸わせたオアシスをカットし、和紙でつつむ。

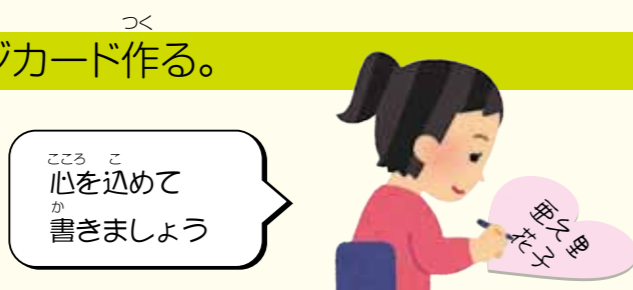


2 花を好きな長さにカットする。



3 オアシスに花をさす。

4 メッセージカード作る。



5 ピックとメッセージカードを飾る。



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



〈個人用〉

参加利用者人数 10人以上 (多数の場合はご相談ください。)

オールシーズン 室内 1,200円/1人 持ち帰りできます

目的

感謝の気持ちを込めた手づくりプレゼントを贈ろう!! 年中行事にあわせた活動を楽しむ。色とりどりの草花に触れたり、香りを楽しみ興味を持つ。

効果

手・指・目・心を動かす。
意欲の向上・達成感



活動のポイント!

楽しくおしゃべりをしながら、自由につくる。

施設事前準備

特になし

事前に用意しておくもの

- ・ゴミ袋・新聞紙
- ・ペン・はさみ
- ・セロハンテープ
- ・輪ゴム



講師が持参するもの

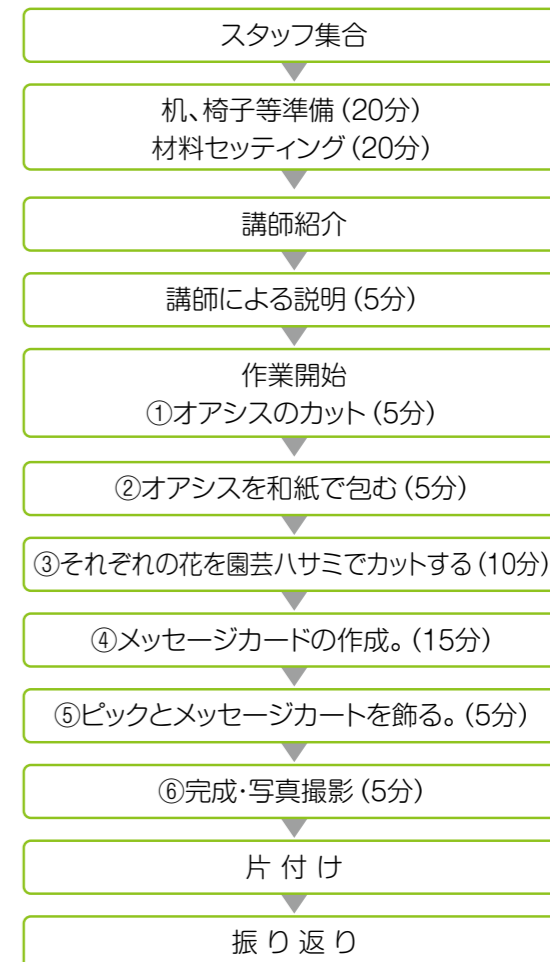
- ・園芸用ハサミ・ラッピング材
- ・オアシス (水を吸わせたもの) ・ピック
- ・セロファン・リボン・メッセージカード
- ・持ち帰り用ビニール袋 ・オアシスカッター
- ・生花 (植物図鑑 P118-119参照)

作業注意事項

園芸用はさみを使用する際の注意。



所要時間と当日の作業の流れ



生花は時価となる。参加者数により、費用が変わる。

メッセージカードを添えることも可能。

*参加利用者数 10人以下なら
1500円程度/1人

園-6 ハーブのコンテナガーデンづくり①

みんなで1つのものを作るプログラムです

体験活動

1 事前に用意しておこう！



は 晴れていても
きゆう あめ
急な雨に
そなえておこう

2 プランターに土をいれよう！



つち
土を入れたら
はななえ
花苗をおいてみよう



3 穴をほって植え込もう！



なえ う
苗を植えたらやさしく
つち う
土で埋めよう

4 置く場所を決めて、お水をやろう！



みず
お水のやりすぎ
ちゅうい
には注意しよう

〈施設用〉

参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

春と秋 屋外 2,000円程度/1プランター

目的

施設の玄関前をきれいにしよう。クラフトに使用できるハーブを植えて育てる。土に触れる経験を増やす。

効果

活動性の向上、自信につながる。



活動のポイント!

ハーブを使った活動に利用できる。収穫や水やりなど継続的な体験ができる。

施設事前準備

- ・プランターの確認
- ※新規に購入する場合は申込時にお知らせください。
- ※既存のプランターがある場合はお知らせください。

事前に用意しておくもの

- ・ゴミ袋
- ・軍手
- ・ゴム手袋
- ・雨具

講師が持参するもの

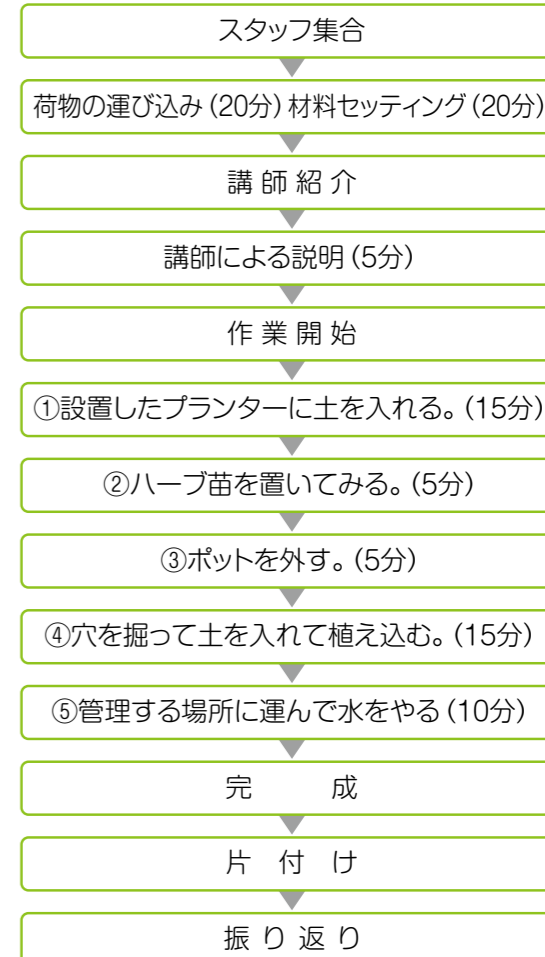
- ・培養土・肥料・園芸用はさみ・スコップ
- ・鉢・土入れ・フネ・ブルーシート
- ・ハーブ苗 (植物図鑑 P118-119参照)

作業注意事項

屋外の作業なので、帽子や雨具、軍手などの準備をすること



所要時間と当日の作業の流れ



スペースに限りがある場合は作業手順に工夫をするとよい。雨天の場合は室内で行うのでブルーシートの準備をする。
*プランターの数に講師に伝えておく

園-7 ハーブのコンテナガーデンづくり②

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 事前に用意しておこう！



は 晴れていても
きゆう あめ
急な雨に
そなえておこう

2 プランターに土をいれよう！



つち
土を入れたら
はなえ
花苗をおいてみよう



3 すき間に土を入れて植え込む



なえ う
苗を植えたらやさしく
つち い
土を入れよう

4 置く場所を決めて、お水をやろう！



みず
お水のやりすぎ
ちゅうい
には注意しよう

きせつ かん
季節を感じる
★★★★★

さぎょう
作業のむずかしさ
★☆☆☆☆

かお かん
香りを感じる
★★★★★

〈個人用〉

参加利用者人数 **10人以上** (多数の場合はご相談ください。)

春と秋 屋外 600円程度/1鉢 持ち帰りできます

目的 ハーブのさわやかな香りを感じよう。
ハーブを植えて育てる。
土に触れる経験を増やす。

効果 活動性の向上、自信につながる。

活動のポイント!
ハーブを使った活動に利用できる。
収穫や水やりなど継続的な体験ができる。

施設事前準備

- ・プランターの確認
- ※基本的に講師で鉢を準備します。
- ※既存のプランターを使いたい場合はお知らせください。

事前に用意しておくもの

- ・ゴミ袋 ・ジョロ
- ・軍手
- ・ゴム手袋
- ・雨具

講師が持参するもの

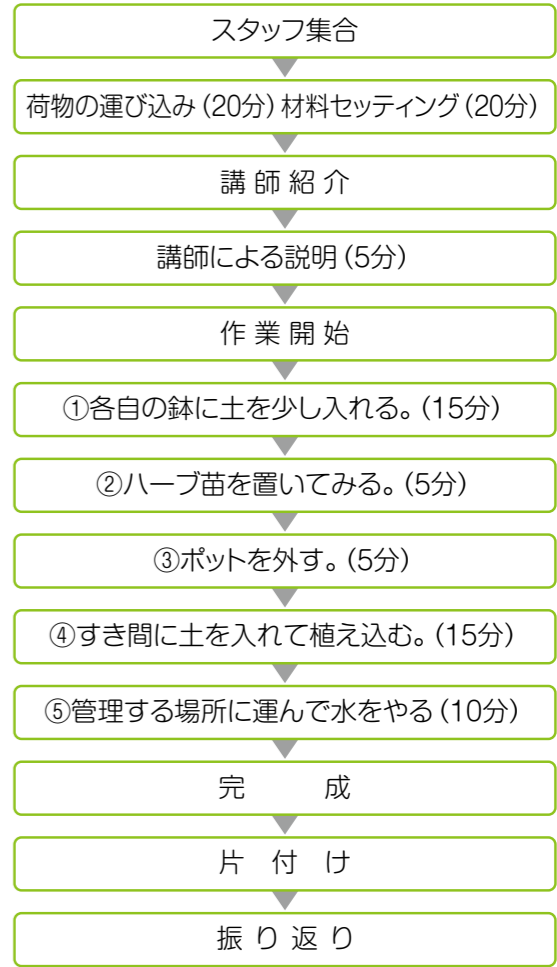
- ・培養土 ・肥料 ・園芸用はさみ ・スコップ
- ・鉢 ・土いれ ・フネ ・ブルーシート
- ・ハーブ苗 (植物図鑑 P118-119参照)

作業注意事項

屋外の作業なので、帽子や雨具、軍手などの準備をすること



所要時間と当日の作業の流れ



スペースに限りがある場合は作業手順に工夫をするとよい。雨天の場合は室内で行うのでブルーシートの準備をする。
*個人用の鉢代込みの参加費です。

園-8 ガーデンのばな たよ Garden 野花の便り

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

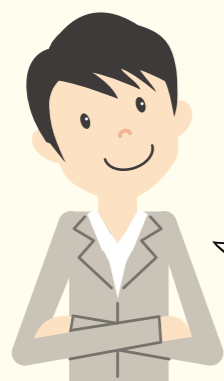
1 メッセージカードにスタンプを押す。



2 押し花を選ぶ。



3 カードに好きな花を並びかえて出来上がりを色々考えてみる。



ならかた並べ方ひとつでがらっと印象が変わるよ。



4 選んだ押し花をメッセージカードに貼る。



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください)

オールシーズン 室内 600円程度 持ち帰りできます

目的 季節の花を感じられる。プレゼントになる。

効果 達成感、自信につながる。

活動のポイント!

花に触れたり、においをかいだりして、生花の感覚が楽しめる。押し花をボンドで貼る時にちぎれないようにていねいに扱う。

施設事前準備

- ・ テーブルクロス
- ・ 新聞紙



事前に用意しておくもの

- ・ ボンド ・ のり
- ・ ペン、クーピー、色鉛筆など



講師が持参するもの

- ・ 押し花 (植物図鑑 P118-119参照)
- ・ はがき・スタンプ・ピンセット

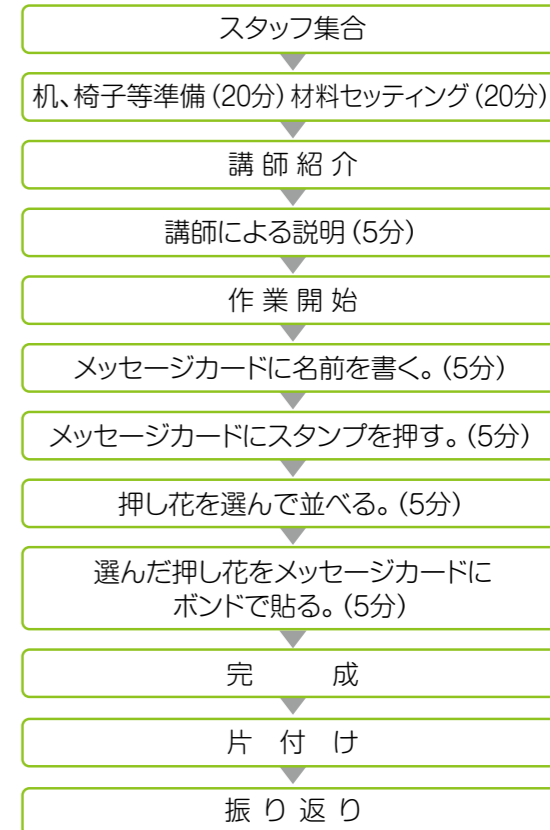


作業注意事項

参加者に自由にゆっくり選んでもらう。
たくさんのお花の中から選べる楽しさを感じてもらおう。



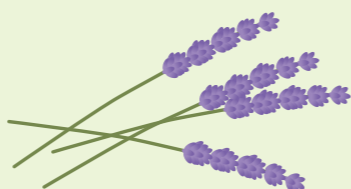
所要時間と当日の作業の流れ



花だけではなく、葉も使って季節感を出してみよう。

園-9 ラベンダーとあそぼ (屋外)

おみやげラベンダーを持ち帰れます



体験活動

1 ラベンダー園のスタッフから説明を聞く。



2 花の摘み取りをする。



3 休憩しながら作業する。



4 終わりのあいさつ。



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください)

7月上旬 おでかけ 600円程度/1人 持ち帰りできます (おみやげラベンダーの料金)

目的

施設内での活動からお出かけ、遠足のよ
うな活動に広げてみる。気持ちの良い自
然の中で楽しい時間を過ごしてもらおう。

効果

体験の拡大、社会参加の促進

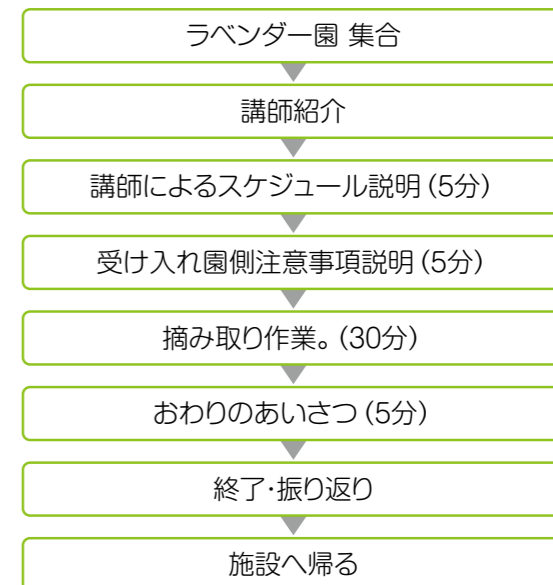
活動のポイント!

ハサミを使って収穫体験。
お土産以外は回収して他の活動に回す。



初夏の5月~6月に咲くラベンダーの香りに
包まれながら体験ができます。
参考場所:ハーブランドシーズン
新潟市西区赤塚5073
気候や種類によって咲く時期が変わります
ので、お出かけ計画を立てる際はご相談を。

所要時間と当日の作業の流れ



施設事前準備

参加者募集の案内の配布、取りまとめ等を行
う。ボランティアへの指示書作成。利用者
にもどこに行くのか、何をするのか体験内容
の説明 (写真・絵・カードなどを使って)
※植物図鑑 P118-119参照

講師準備

受け入れ施設との打ち合わせ、スケジュール
づくり、内容確認、福祉施設との打ち合わせ
はさみの準備

雨天の場合 (講師は両方の準備を進めておく)

- 前日に講師と施設担当者で確認
〈中止の場合〉
- ①講師からボランティアに連絡
 - ②講師から事務局に連絡
 - ③事務局から園に連絡
 - ④雨天時室内プログラムに変更
→ 園-8 園-16 (ラベンダー使用)



作業注意事項

ハサミを使うので注意する。園内でケガ・迷子にならないよう注意する。
講師、ボランティアスタッフに助けてもらいたいことをきちんと伝える。

園-10 ボタニカルなキャンドルづくり

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

★飾って鑑賞するためのキャンドルです★

1 ドライフラワーを選ぶ。



2 ロウと花を紙コップにつめる。



3 紙コップにロウをいれてもらう。

かた 固まるまで1日
にち ながかるので邪魔に
じやま ならない場所において
ばしよ お願いします。



と 溶けにくい場合は
はあい 紙コップの底を
かみ そこ 鍋の中に入れる。



4 翌日、紙コップをはずす。



きせつ かん 季節を感じる



さぎょう 作業のむずかしさ



かお かん 香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください)

オールシーズン 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 キャンドルの作り方、材料がわかる。造形の楽しさを体験できる。

効果 達成感を感じられる。素晴らしい作品ができ、自信がつく。

活動のポイント!

花々にロウを流すことで1つの作品となり、花を選んでオリジナルの作品に仕上げる。

施設事前準備

- ・流し台等の作業スペースがある場所を考える。
- ・テーブルクロスなど汚さない準備。

講師が事前に用意しておくもの

- ・IHまたはガスコンロ
- ・延長コード
- ・205ml紙コップ ・割りばし
- ・湯煎ができる大きさの鍋 (片手鍋)
- ・電気ポット ・カッター
- ・ペン ・雑巾 ・ゴミ袋

講師が持参するもの

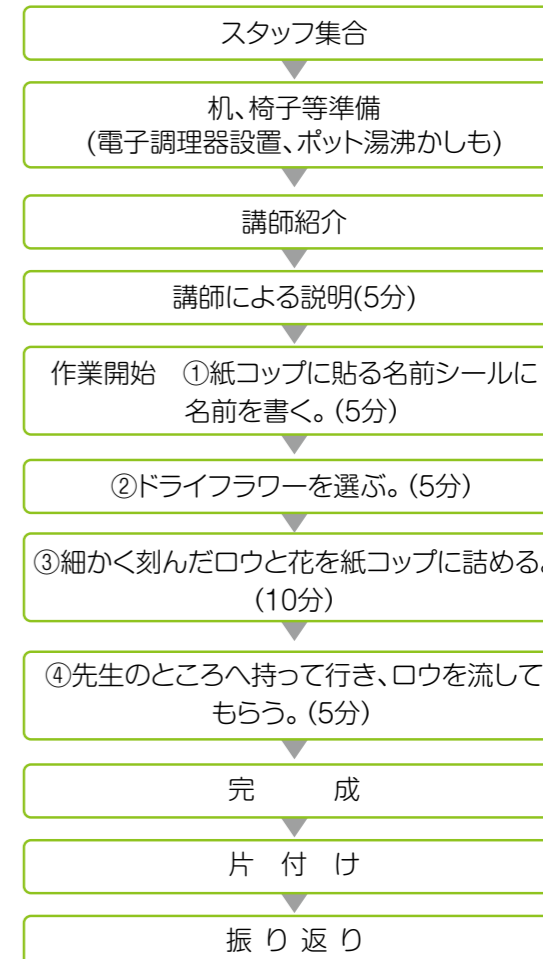
ドライフラワー
(植物図鑑 P118-119参照)

作業注意事項

熱湯を使うので、火のそばに近づかないようにする。
会場のセッティングが必要。
ロウを流し込んだ直後は熱いので、触らない。



所要時間と当日の作業の流れ



紙コップを外すのは丸一日において完全に固まってから行う。

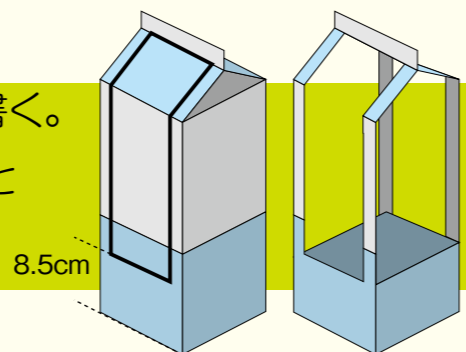
鑑賞用なので、火はつけないこと。
熱湯を使ったり、カッターを使用するのでたくさんのボランティアの助けが必要。
翌日以降、職員と利用者でワクワクしながら開けてください。

園-11 かわいい鉢カバーを作ろう！

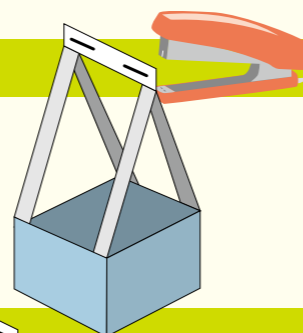
NEW 自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

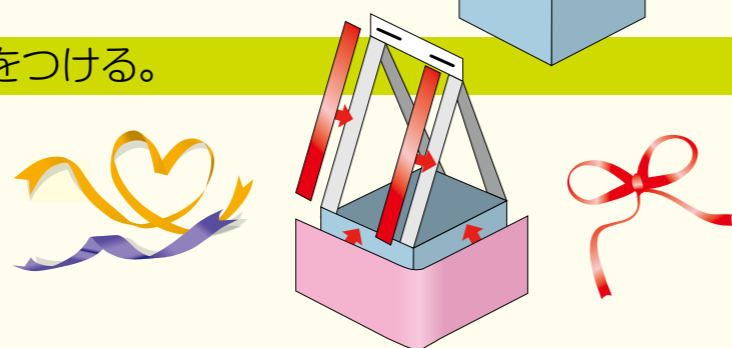
1 牛乳パックにボールペンでラインを書く。
底から8.5cmの高さひとまわり正面と
奥を四角く切り抜く。(幅1cm)



2 ホチキスで上部を留めて器の形にする。



3 リボンや和紙で飾りをつける。



4 花苗をセットして、完成!!



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

オールシーズン 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 季節の植物をより楽しむために、手作りでカバーを作ってみよう

効果 様々な色のリボンやシールなど、自分の“好き”を選ぶ体験

活動のポイント!

鉢カバーの模様を手づくりすることで植物を大切に育てようという気持ちを育む

施設事前準備

牛乳パックを参加人数分ご準備下さい



事前に用意しておくもの

- ・はさみ
 - ・定規 (メジャー)
 - ・ホチキス
- 施設にあるものをご準備下さい

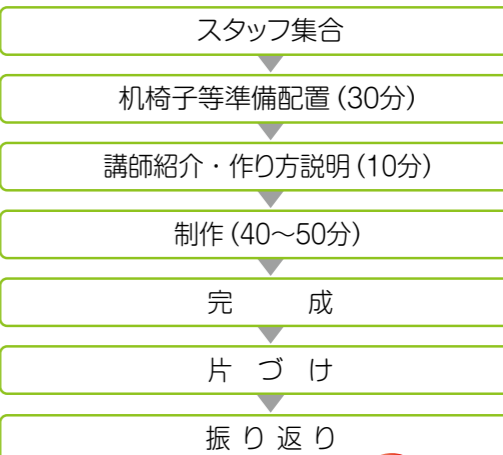


講師が持参するもの

- ・和紙
 - ・ラッピング材
 - ・ホチキス
 - ・ビニールテープ (白)
 - ・定規
 - ・花苗 (9cmポット) ※植物図鑑 P118-119参照
 - ・牛乳パック
 - ・麻ひも
 - ・はさみ
 - ・両面テープ
 - ・リボン
- *和紙をカットして持っていく (H=8.5cm W37.5cm)
*麻ひも (約65cm)
*サテンリボンをカットして持っていく (約65cm)



所要時間と当日の作業の流れ



作業注意事項

牛乳パックを切るときに線を引いてカッターを使う。難しい場合は職員が手助けする (たての幅は1.3cm)

はさみを上手く使えない場合は職員が手助けする

クリスマス飾り 森のサンタさんを作ろう!

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 松ぼっくりに手作りの帽子をボンドでつける。



むずかしい場合はほかひときょうりよく他の人と協力してやってみよう。



2 麻ひもをリボン結びにしてボンドでつける。



3 帽子に好きな模様をかく。



できあがった作品を並べて飾ってみよう!



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

11月~12月 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的

身近にある素材をつかって季節を感じる。硬い、かさかさ、柔らかいなど様々な感触を感じながら、自身の好きな素材を選んで飾りつけをするため、「自分で選ぶ」「好きな感触を知る」ことができる。

効果

手指を使い細かい作業を体験できる。達成感が得られる。



活動のポイント!

細かい作業が多くなるので、工程を分けると良い。「つけるだけ」でも参加できることが大切。帽子の飾りつけは自由に。

施設事前準備

・多数参加の場合は、グループ分けなど考えておく。

事前に用意しておくもの

・ペン ・クレヨン
・クーピー ・ボンド
・はさみ



講師が持参するもの

・花材 (ソフトヒムロスギ・松ぼっくりMサイズ)
・つやめきペリ-16mm ・ウッドパーツ (帽子部分)
・麻ひも ・リボン ・グルーガン

作業注意事項

・グルーガンはボンドより付きやすいが、高熱になり危ないので事前作業もしくは安全確保で扱う。
・ボンドを使用するのも可能。



所要時間と当日の作業の流れ

- スタッフ集合
- 机、椅子等準備 (20分) 材料セッティング (20分)
- 講師紹介
- 講師による説明 (5分)
- 作業開始
- ①松ぼっくりにつける帽子をつくる。
- ②麻ひもをリボン結びにして木片帽子にボンドで付ける (10分)
- ③木片の帽子のてっぺんに金のつや玉パーツ挿し接着剤でとめる。(5分)
- ④木片帽子部分にクレヨンやペンなどで絵を描く (15分)
- ⑤その他飾りをつけたり絵を描くと個性的なものになる。(5分)
- ⑥持ち帰りの袋に入れる。(5分)
- 完成
- 片付け
- 振り返り

・壊れやすいため、持ち帰る際は空き箱やケースに入れて持ち帰ると良い。
・全員のサンタを並べて飾ると華やかさをもつ楽しい雰囲気となる。

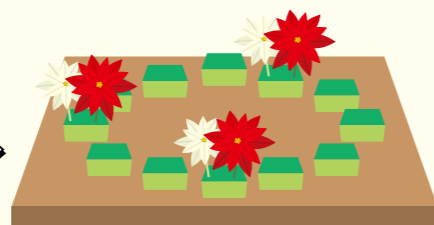
園-13 クリスマスリースづくり①

みんなで1つのものを作るプログラムです

体験活動

1 ポインセチアをオアシスにさす。

オアシスは事前に講師が円形になるようにボードに貼りつけておく



花のピックは先がとがっているから気をつけてね。

2 葉っぱやリボンをオアシスにさす。

バランスよく葉っぱやリボンを飾っていきましょう！



3 完成したらかざる。

できあがった作品を並べて飾ってみよう！



季節を感じる



作業のむずかしさ



色を感じる



〈施設用〉

参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

11月~12月 室内 2,500円程度 / 1回

目的

季節を感じながら色鮮やかな花(造花)を扱うことでクリスマスを楽しむ。一人ひとりの作業は簡単だがまとまることで大きな作品ができるため、達成感を感じられる。

効果

場を共有し、一体感を得られる。華やかで場が明るくなる。

活動のポイント!

扱う花はアートフラワーで色や配置は自由に挿してもらい作りこまない方が楽しい感じに仕上がる。

事前に用意しておくもの

- ・新聞紙
- ・ゴミ袋
- ・ほうき
- ・ちりとり
- ・ポンド
- ・セロテープ



講師が持参するもの

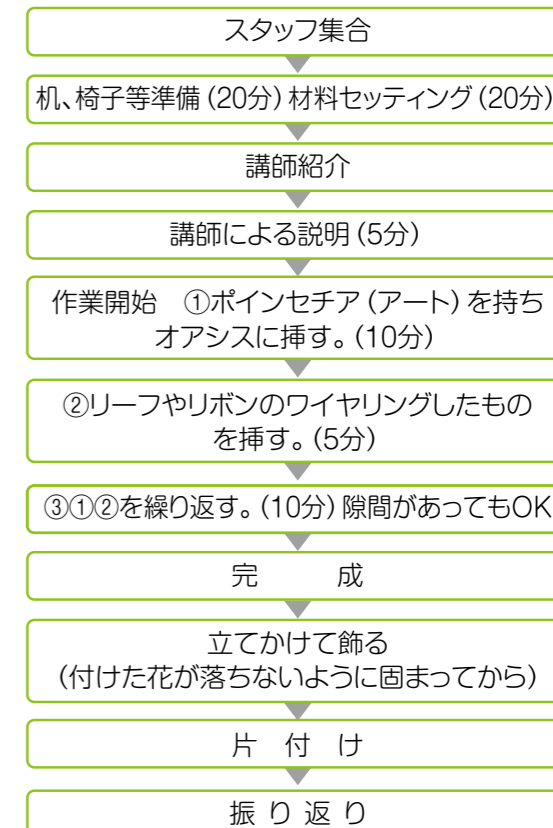
- ・アートフラワー
 - ・リボンワイヤリング
 - ・ワイヤー
 - ・セロテープ
 - ・ペンチ
 - ・ニッパ
 - ・雪の結晶など飾り
 - ・グルーガン
- * 講師は事前に台紙(段ボールとクラフト用紙で90×90mm)を作成する→オアシスカット→セロテープ十字→ワイヤリング→台紙に合わせてキリで穴あけ→グルーガン固定

作業注意事項

- ・花のピックは先が鋭利になっているので注意しながら作業を行う。
- ・利用者が挿した後すぐにポンドでとめる。



所要時間と当日の作業の流れ



園-14 クリスマスリースづくり②

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 リースの土台に花を配置する。



花のピックは先がとがっているから気を付けてね。

2 配置を決めたらワイヤーでしばりボンドで留める。



3 完成したらかざる。



季節を感じる



作業のむずかしさ



色を感じる



〈個人用〉

参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

11月~12月 室内 1,000円程度/1人 持ち帰りできます

目的

季節を感じながら色鮮やかな花(造花)を扱うことでクリスマスを楽しめる。おみやげになるので、プレゼントとして持ち帰れる。

効果

華やかで場が明るくなる。部屋に飾るだけでクリスマスの雰囲気が高まる。



活動のポイント!

扱う花はアートフラワー飾りにワイヤリングしたものをくくりつける。

事前に用意しておくもの

- ・新聞紙
- ・ゴミ袋
- ・ほうき
- ・ちりとり
- ・ボンド
- ・セロテープ



講師が持参するもの

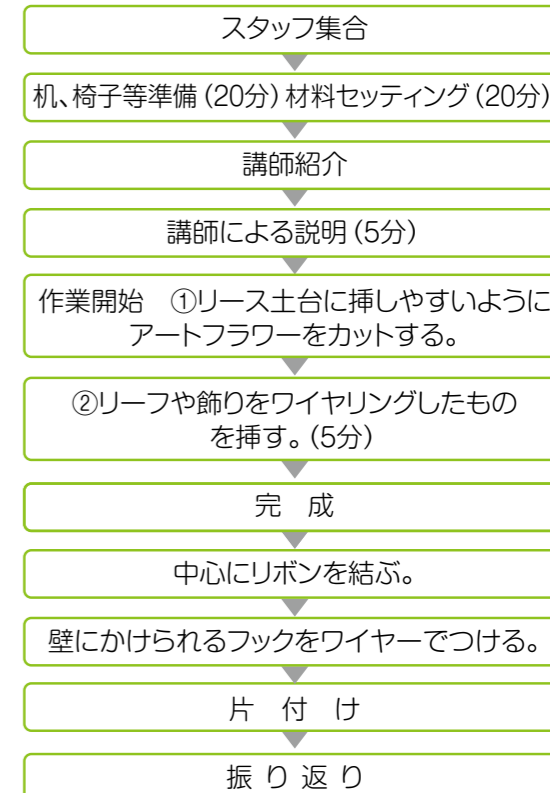
- ・アートフラワー
- ・リボンワイヤリング
- ・ワイヤー
- ・セロテープ
- ・ペンチ
- ・アートフラワーをカットするためのニッパ
- ・グルーガン
- ・持ち帰り袋

作業注意事項

- ・花のピックは先が鋭利になっているので注意しながら作業を行う。
- ・利用者が挿した後すぐにボンドでとめる。



所要時間と当日の作業の流れ



園-15 ヒヤシンス窓辺の植物

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 ペットボトルをカット、セットし取っ手をつける。



2 ペットボトルをビニールテープで飾る。



3 ヒヤシンスの球根をのせる。



4 水をいれて毎日観察する。



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

1月~2月 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的

雪が降り室内での活動が多い冬期に、室内でも楽しめる園芸を通して植物の変化に興味を持つ。

効果

育てる楽しみと期待感。個性を楽しめる。

活動のポイント!

室内で楽しめる。土を使わない。個性的な器を作って創作意欲を高める。花が咲くまでの変化を観察できる。

施設事前準備

・1000~1500mlのペットボトルを人数分準備

事前に用意しておくもの

・1000~1500mlのペットボトル
・はさみ ・油性ペン
・ビニールテープ



講師が持参するもの

・球根 (ヒヤシンス) (植物図鑑 P118-119参照)
・ワイヤー1.0~1.5mm
・ペンチ ・ニッパ
・園芸用はさみ

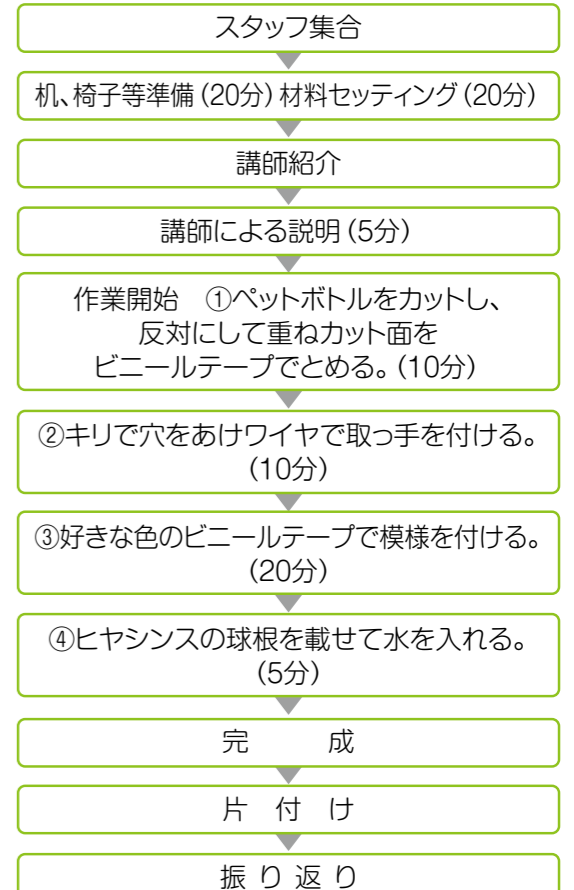


作業注意事項

ハサミを使うので注意する。
ワイヤーの端が他の利用者の顔に向かないように注意する。



所要時間と当日の作業の流れ



・球根の注文が9~10月に完了するためプログラムの予約は早めに行う。
・ヒヤシンスの球根は大きいので、入らなくならないようにペットボトルのサイズは1000~1500mlなど少し大きめのものを準備

かお
園-16 香りのガーランド

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

たいけん まえ
体験の前に

さぎょうじゆんび
〈作業準備〉

- ① 波うっている段ボールの台紙をハガキよりひとまわり大きいサイズでカットする。
- ② ハガキサイズの「葉野花実」を使う。
- ③ ①に②をのりで貼る。

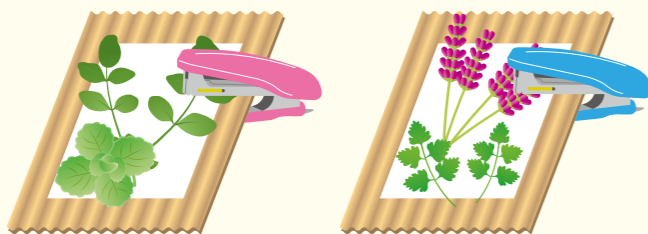
※「葉野花実」の詳細については、P10をご参照ください。



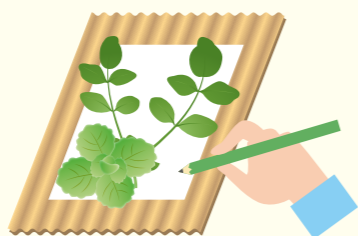
す は はな えら
1 好きな葉や花を選ぶ
 (いくつでもOK)



だいし しょくぶつ
2 台紙に植物をホチキスでつける



かざ
3 マスキングテープやペンで飾りつけをする。



きせつ かん
 季節を感じる



さぎょう
 作業のむずかしさ



かお かん
 香りを感じる



参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

オールシーズン 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的

普段触れることの少ない香りのあるハーブを使い、お気に入りの香りのコラージュを創る。触れるたびに香りが広がるため癒し効果がある。また、短時間で1作品ができるため集中力が続かない方でも自分なりの作品を制作可能。

効果

飾った後もさわやかな香りに包まれる。達成感・癒し効果を得られる。

活動のポイント!

素材を自ら選び、自由な構図ではることがポイント。食べられるハーブなので安心して活動でき、触るたびに香りが広がるので沢山触ってもらうことで香りに包まれた空間で作業ができる。

事前に用意しておくもの

- ・ボンド ・ホチキス ・ペン
- ・はさみ ・セロテープ

講師が持参するもの

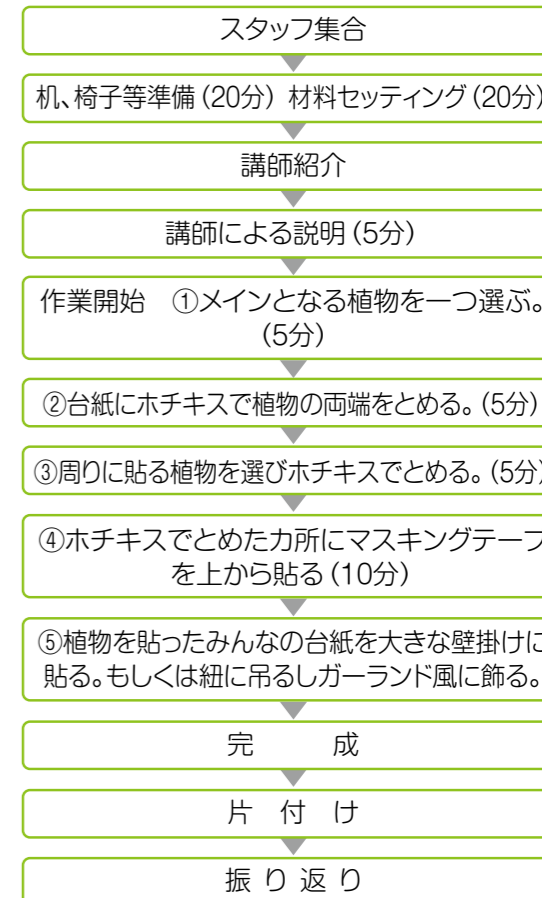
- ・台紙15cm×20cmにハガキサイズの「葉野花実」を準備する。
- ・植物など (植物図鑑 P118-119参照)
- ・マスキングテープ
- ・木製ナチュラルピンチ ・ロール紙
- ・色台紙 ・麻ひも ・園芸用はさみ

作業注意事項

- ・香りが強いハーブもあるため、香りに敏感な方は事前に香りの確認をするとスムーズに活動を行うことができる。
- ・ホチキスは開いて使う。力が必要なので補助することによりしっかりととまる。失敗した時の針の行方を注意しておく必要がある。



所要時間と当日の作業の流れ



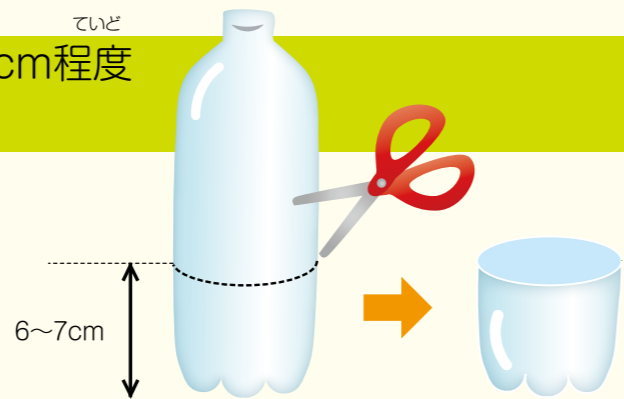
飾る時は個別の台紙に名前を貼ってから飾ると自分で作ったものが飾られたという喜びを感じられる。

園-17 多肉植物でインテリア

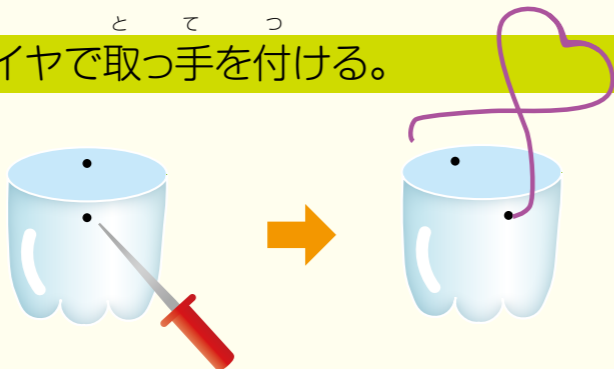
NEW 自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

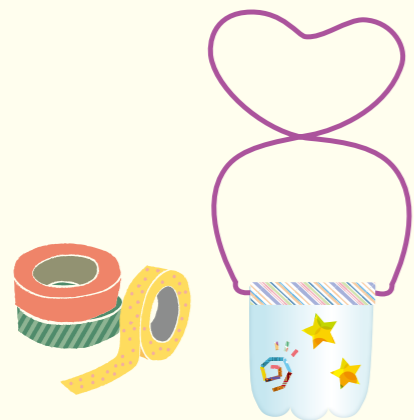
1 500mlペットボトルを6~7cm程度で下からカットする。



2 キリで穴をあけワイヤで取っ手を付ける。



3 好きな色のビニールテープで模様を付ける。



4 多肉植物を並べ、専用の土を入れる。



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

オールシーズン 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 部屋を飾るインテリアになるような小さな寄せ植えを作ってみよう

効果 様々な種類の植物があることを知る

活動のポイント!

室内で季節を問わず楽しめるプログラム
育てやすい植物なので施設でも育てられます

施設事前準備

500mlのペットボトルを
参加人数分をご準備ください



事前に用意しておくもの

・はさみ
・定規 (メジャー)
施設にあるものをご準備下さい



講師が持参するもの

- ・マスキングテープ
- ・両面テープ
- ・多肉植物苗 (1寸)
- ・ペットボトル用ハサミ
- ・500mlのペットボトル
- ・ワイヤー 1.5
- ・ビニールテープ
- ・カッター
- ・多肉植物用土
- ・シール
- ・キリ



所要時間と当日の作業の流れ

スタッフ集合

机、椅子等準備配置 (30分)

講師紹介・作り方説明 (10分)

作業開始 ①500mlペットボトルを
下から6~7cmのところからカットする。

②キリで穴をあけワイヤで取っ手を付ける。

③好きな色のビニールテープで模様を付ける。

④多肉植物を並べ、専用の土を入れる。

完成

片づけ

振り返り

作業注意事項

ペットボトルの切り口に注意すること
刃物の取り扱いに注意

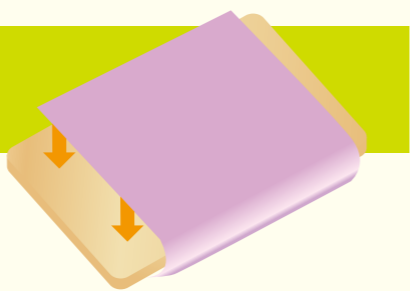
園-18 香るお雛様

自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

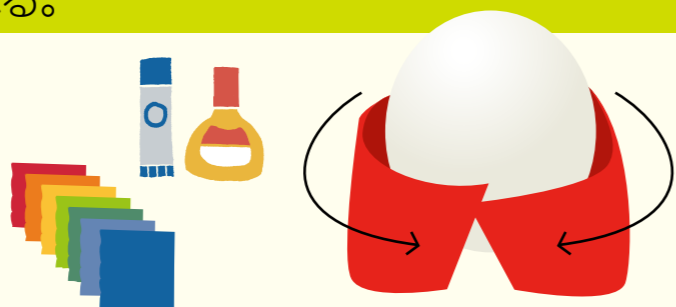
1 台座の木に「葉野花実 (A4サイズ)」を調整しながらカットし、台座の木にまく

※「葉野花実」の詳細については、P10をご参照ください。



2 卵の殻にのりで着物をはる。

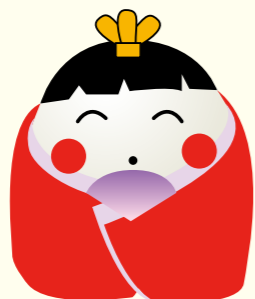
おりがみは型紙に合わせてカットしてください



3 油性ペンで髪の毛や顔をかく



4 ほっぺシール、かんむりなどをつける。



5 ドライハーブをお茶パックにつめて卵の殻にいれる。



かんせい 完成!

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

1月~2月 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 季節の行事に合わせて香りのお雛様を作る。室内でできるプログラム。

効果 ・指先の強さのバランスを養える。
・香りの癒し効果。

活動のポイント! 強く握ることによってハーブの香りに癒される。植物の利用法を感じてもらう。

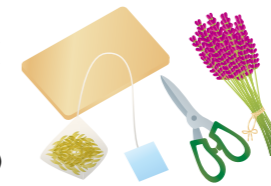
事前に用意しておくもの

- 油性ペン ・おりがみ
- のり ・はさみ
- ボンド
- ペン、クーピー、色鉛筆など



講師が持参するもの

- ドライフラワー (ラベンダー) 植物図鑑 P118-119参照
- 半襟の千代紙 ・型紙
- 布 ・お茶パック ・台の板
- タックシール (丸)
- 千代紙 ・はさみ
- 「葉野花実」 (A4サイズ)



講師事前準備

- 卵の殻を準備する。卵の殻の上部だけ包丁で穴を空け、洗って乾かす。
- 卵の殻に着せる着物の型紙をおりがみに線を引いて、切るだけの状態にしておく
- 小物類はあらかじめおりがみで切っておく。



所要時間と当日の作業の流れ

- スタッフ集合
- 机、椅子等準備 (20分) 材料セッティング (20分)
- 講師紹介
- 講師による説明 (5分)
- 作業開始
- ①木片に「葉野花実」でカバーをかける。(5分)
- ②折り紙を着物のサイズにはさみで切る。(5分)
- ③卵の殻にのりで着物を貼る。(10分)
- ④髪の毛顔などペンで描く。(15分)
- ⑤ほっぺシール、冠、扇子、拍子、烏帽子など小物を飾りつける (10分)
- ⑥ドライハーブをお茶パックに詰めて卵の殻の中に入れる。(10分)
- 完成
- 片付け
- 振り返り

作業注意事項

ハサミを使うので注意する。卵の殻を作業中に握りつぶさないように注意する。

細かいパーツが多いので事前に切っておく。パーツの紛失がないように注意。少し多めに作っておく。

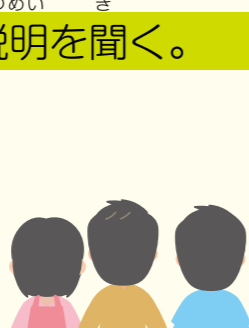
園-19 もり たから 森の宝さがし

クラフトで使える材料を探しに行くプログラムです



体験活動

1 公園や施設スタッフの説明を聞く。



いろいろな種類の葉っぱやどんぐりがあるよ。

2 どんぐりや葉っぱをひろう。



3 休憩しながら作業する。



こまめな水分補給を！

4 終わりのあいさつ。



施設にもどったあと、みんな感想を言ってみよう。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

春と秋 おでかけ 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的

お出かけプログラム。山にはたくさんの宝物がある。拾うのは楽しい！



効果

何が大切か、拾うものを見分ける力 体験の拡大



活動のポイント！

他のプログラム(クリスマス系)で利用できる素材を拾得する。

施設事前準備

参加者募集の案内の配布、取りまとめ等を行う。ボランティアへの指示書作成。利用者にもどこに行くのか、何をするのか体験内容の説明(写真・絵・カード)



講師準備

受け入れ園との打ち合わせ、スケジュールづくり、内容確認、福祉施設との打ち合わせ ビニール袋の準備

雨天の場合(講師は両方の準備を進めておく)

前日に講師と施設担当者で確認

〈中止の場合〉

- ①講師からボランティアに連絡
 - ②講師から事務局に連絡
 - ③事務局から園に連絡
 - ④雨天時室内プログラムに変更
- ➔ 園-20 園-21 園-22

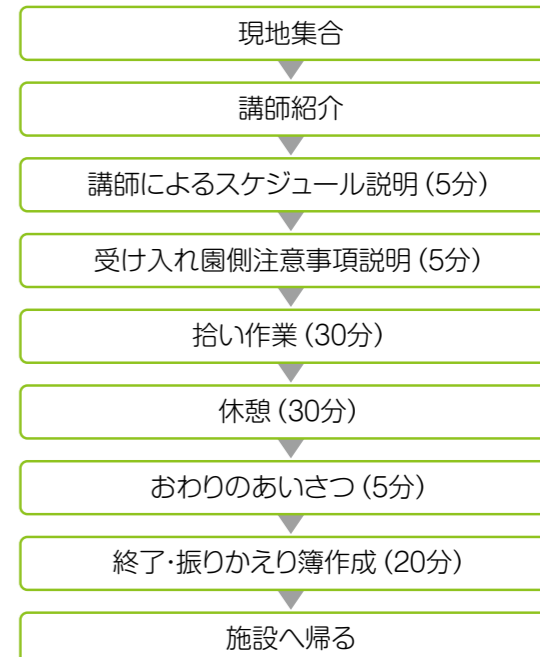


作業注意事項

拾う範囲を区切って迷子にならないような工夫をする。落ちているものを拾うように指導する。



所要時間と当日の作業の流れ



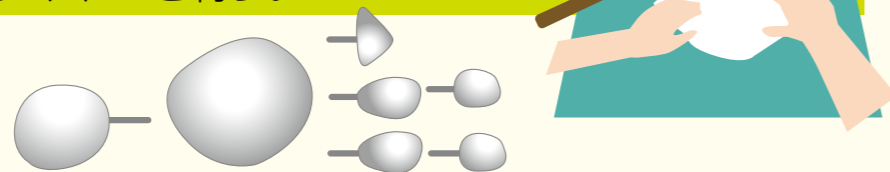
- ・天候によっては中止の判断も必要。施設と講師で連絡を取り合って速やかに受け入れ園に連絡を入れる。
- *一度にお出かけのできる人数など考慮に入れた計画を立てる。
- ・松ぼっくり、どんぐり、色がきれいな落ち葉などを拾うのがおすすめ。

園-20 もしもしかめさん♪

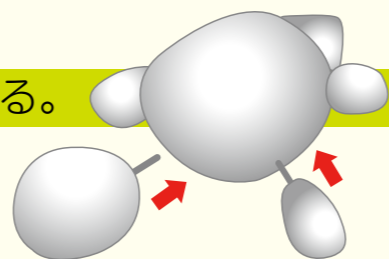
NEW **自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです**

体験活動

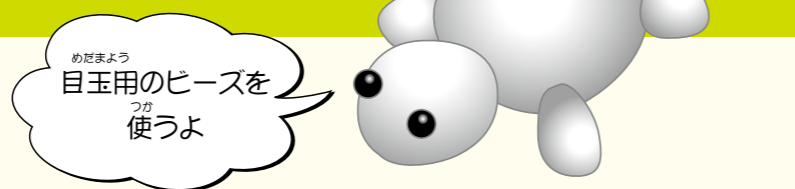
1 紙粘土で、胴体・頭・前後の足・尻尾を作り、胴体を除いてワイヤーを刺す。



2 胴体に頭・前後の足・尻尾を刺し接着する。



3 頭に目を付ける。



4 胴体の上部に甲羅のように木の実を飾る。



予算と作業時間、難度を考えて木の実は、グルーガンを使つての接着です。より丁寧な作り方をした場合は木の実をワイヤリングしてからグルーガンでの接着になります。その場合ワイヤーは、#20 #26を使います。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 **3人以上** (多数の場合はご相談ください。)

オールシーズン 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 木の実を使ったクラフトで自然の恵みを感じてみよう

効果 好きな形や色の木の実を選んで、形を作る楽しさを感じられます

活動のポイント!
親しみやすい動物の形を作ります。木の実を甲羅に見立てて制作します。

施設事前準備

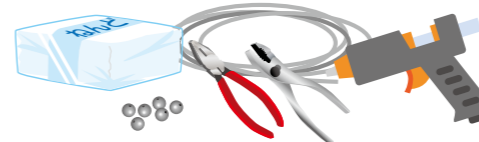
園-19の宝さがしで木の実を集めてみよう
*宝さがしプログラムを実施できない場合は、木の実はこちらで準備します (参加費の変更はありません)

事前に用意しておくもの

・ハサミ ・新聞紙

講師が持参するもの

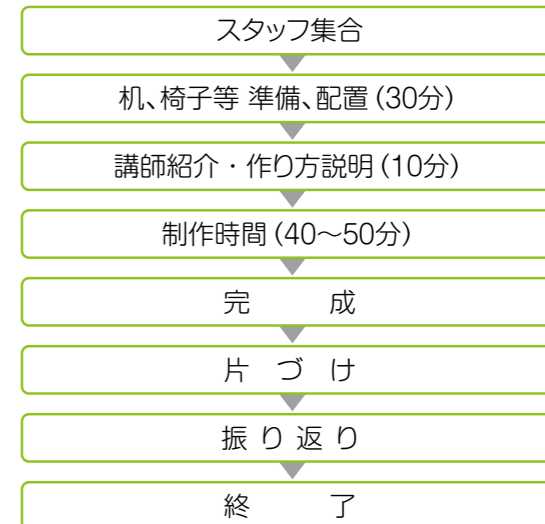
・紙粘土 (頭・手・足 部分)
・グルーガン・グルースティック
・ワイヤー (太さ#20)
・目玉用ビーズ
・ニッパ・ラジオペンチ



*このプログラムは園-19宝さがしプログラムの雨天時の選択プログラムにもなります



所要時間と当日の作業の流れ



作業注意事項

グルーガン取り扱い注意説明 (高温)
ワイヤーの取り扱いに注意する
制作が難しい場合はスタッフ、職員が手助けをする

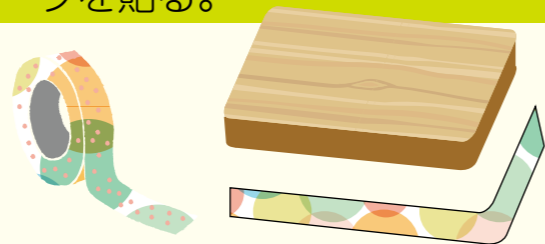
グルーガン、ニッパなど危険な道具もあるので注意を払う
利用者に好きな木の実を選んでもらう。
(個数など約束を決めて選んでもらう)

図-21 カードスタンドをつく

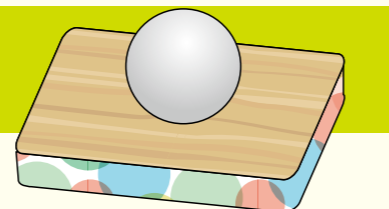
NEW 自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

1 土台の木片側面にマスキングテープを貼る。



2 紙粘土で2センチくらいの玉を作り土台天面中央に接着する。



3 アルミワイヤーの片端で三重の輪を作る。



4 天面の紙粘土にワイヤーを立てる。木の実を飾る。



予算と作業時間、難度を考えて木の実は、グルーガンを使つての接着です。より丁寧な作り方をした場合は木の実をワイヤリングしてからグルーガンでの接着になります。その場合ワイヤーは、#20 #26を使います。

季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

オールシーズン 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 木の実を使ったクラフトで自然の恵みを感じてみよう

効果 好きな形や色の木の実を選んで、形を作る楽しさを感じられます

活動のポイント! 実用性の高いクラフト。時間に余裕のある場合はカード制作も可能。

施設事前準備

園-19の宝さがしで木の実を集めてみよう
*宝さがしプログラムを実施できない場合は、木の実はこちらで準備します (参加費の変更はありません)

事前に用意しておくもの

・ハサミ ・新聞紙



講師が持参するもの

・木片 (6cm×3cm×1.5cm 参考サイズ)
・グルーガン ・グルーガンスティック
・リボン ・ワイヤー (太さ2.0mm)
・紙ねんど
・クラフト用マスキングテープ (模様アリ)
・ニッパ

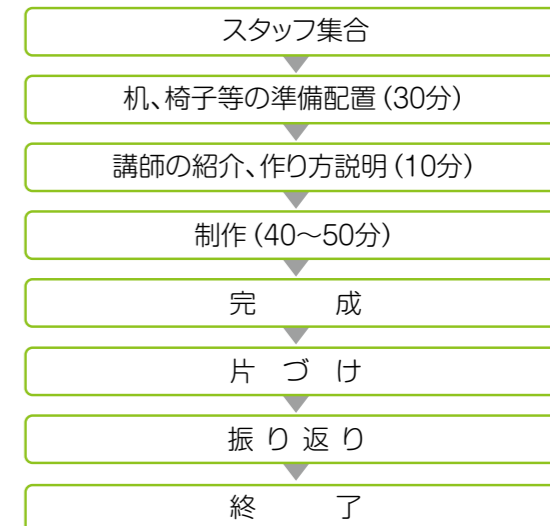


作業注意事項

・グルーガン取り扱い注意説明 (高温) ・ワイヤーの取り扱い
・制作が難しい場合はスタッフ、職員が手助けをする



所要時間と当日の作業の流れ



グルーガン、ニッパなど危険な道具もあるので注意を払う。利用者に好きな木の実を選んでもらう。(個数など約束を決めて選んでもらう) 木片は参考サイズ。木の実の量などバランスを見ながら似たようなサイズで探す *このプログラムは園-19宝さがしプログラムの雨天時の選択プログラムにもなります

木の実のショートケーキ

NEW 自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

季節を感じる



作業のむずかしさ

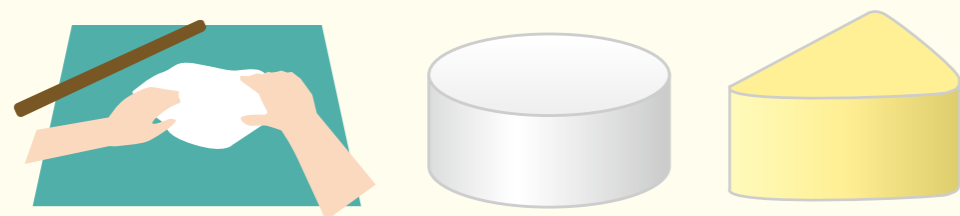


香りを感じる



体験活動

1 カラーオアシスなければ紙粘土で土台を作る



2 土台の側面にマスキングテープもしくはリボンをつける。



3 ケーキの天面を木の実で飾る。



予算と作業時間、難度を考えて木の実は、グルーガンを使つての接着です。より丁寧な作り方をした場合は木の実をワイヤリングしてからグルーガンでの接着になります。その場合ワイヤーは、#20 #26を使います。

参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

オールシーズン 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 木の実を使ったクラフトで自然の恵みを感じてみよう

効果 好きな形や色の木の実を選んで、形を作る楽しさを感じられます

活動のポイント!
木の実を使い、食べ物イメージを作ってもらおう。
美味しいおやつを作ることでワクワクする。

施設事前準備

園-19の宝さがしで木の実を集めてみよう
*宝さがしプログラムを実施できない場合は、木の実が講師が準備します

事前に用意しておくもの

・ハサミ ・新聞紙

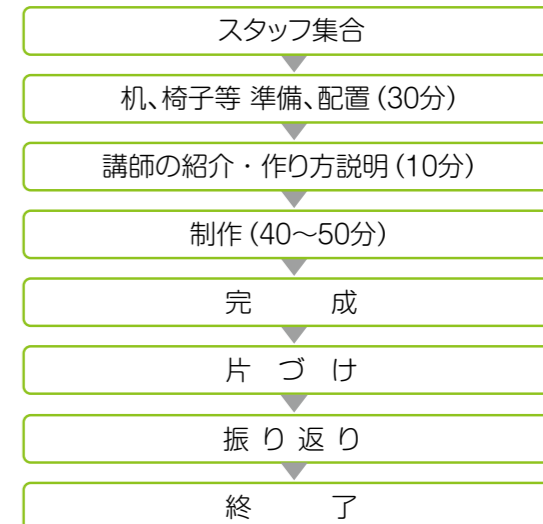
講師が持参するもの

・カラーオアシス (なければ紙粘土で代用) カット済のもの
・リボン
・グルーガン、グルースティック
・オアシスカッター
・ニッパ・ラジオペンチ

*このプログラムは園-19宝さがしプログラムの雨天時の選択プログラムにもなります



所要時間と当日の作業の流れ



作業注意事項

グルーガン取り扱い注意説明 (高温) ワイヤーの取り扱いに注意する
制作が難しい場合はスタッフ、職員が手助けをする

グルーガン、ニッパなど危険な道具もあるので注意を払う。
利用者に好きな木の実を選んでもらう。(個数など約束を決めて選んでもらう)
カラーオアシス (白一生クリーム、茶一チチョコレート) を三角にカットしておく
木の実をナッツ感覚で飾る

季節の花摘みに出かけてみよう

NEW 摘んだお花をおみやげに持って帰ることができます

体験活動

1 受け入れ施設のスタッフの説明を聞く。



2 気に入った花を摘んでみる。



3 休憩しながら作業する。



4 終わりのあいさつ。



季節を感じる



作業のむずかしさ



香りを感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合はご相談ください。)

4月~11月 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 施設から出かけて花に触れてみましょう

効果 大好きな人に花をプレゼントするなど想像しながら作業すると、体験の幅が広がります

活動のポイント!

カットした花を束ねてみると素敵なブーケになります

施設事前準備

事前に利用者・保護者に知らせる

事前に用意しておくもの

雨具・飲み物・動きやすい服・歩きやすい靴
持ち帰り用袋

講師が持参するもの

園芸用ハサミ

雨天の場合 (講師は両方の準備を進めておく)

前日に講師と施設担当者で確認

〈中止の場合〉

- ①講師からボランティアに連絡
- ②講師から事務局に連絡
- ③事務局から園に連絡する
- ④雨天時室内プログラムに変更

→ 園-8 園-16

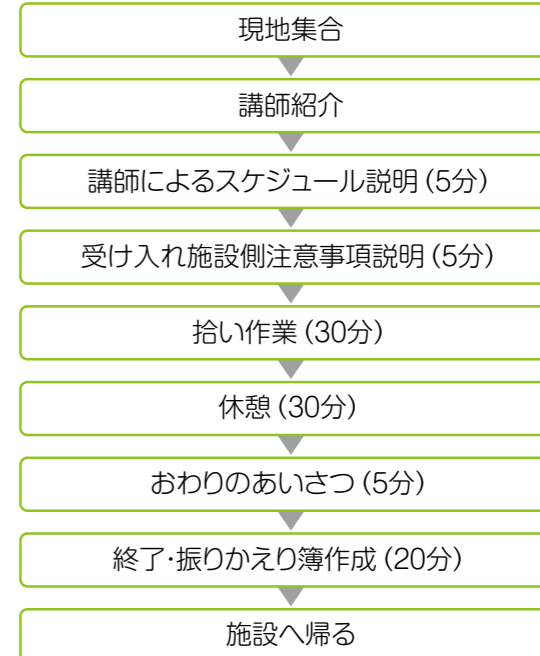


作業注意事項

利用者の特性によっては刃物を持つことが危険な場合があるため講師、スタッフ、施設職員で安全に配慮すること。



所要時間と当日の作業の流れ



雨天の場合の確認。
駐車場の確認。
参加人数の確認。

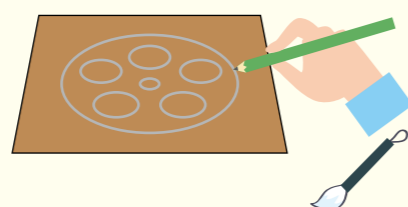
はのかみつか はなどう つく 葉野花実を使って花灯ろうを作ってみよう

NEW 自分が作ったものを持ち帰れるプログラムです

体験活動

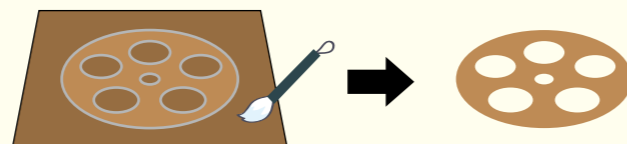
1 色の濃い「葉野花実」(A5サイズ)を机の上に置き、
下書きをする。(パーツ用の葉野花実)

※「葉野花実」の詳細については、
P10をご参照ください。

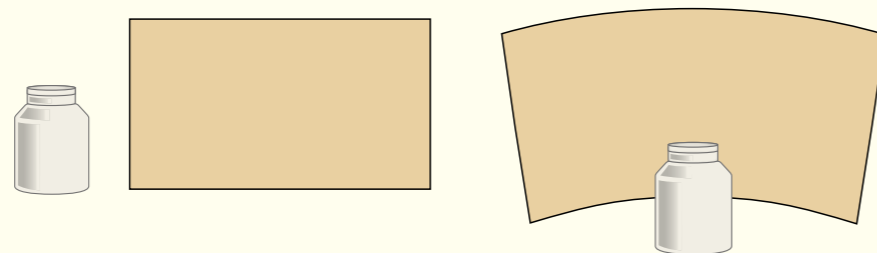


2 筆を水にぬらして線の内側をゆっくりなぞる。
乾かないうちに必要ない部分を手で切りとる。

濡らした部分は
色が濃くなるよ



3 小瓶に「葉野花実」(A4サイズ)をまきつける



4 内側と外側に模様の切り取った
「葉野花実」パーツを貼りつける



季節を感じる



作業のむずかしさ



色を感じる



参加利用者人数 3人以上 (多数の場合は
ご相談ください。)

9月~12月・翌1月~3月 室内 600円程度/1人 持ち帰りできます

目的 優しい風合いの紙を使って素朴な灯りを
楽しんでみよう

効果 野菜のクズや花ガラも様々な利用法がある
ことを実感できる

活動のポイント!

身近な道具と簡単な作業で素敵な作品に仕上がる

施設事前準備

水、タオル

講師が持参するもの

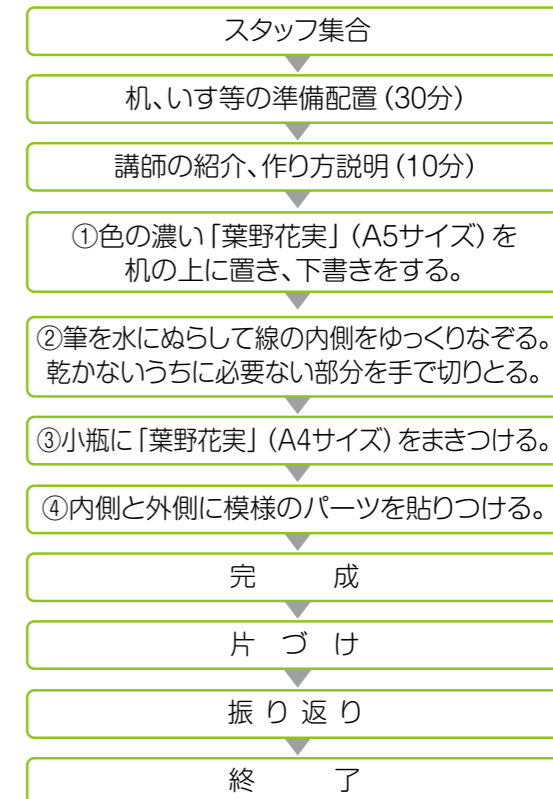
ハサミ 両面テープ 筆 鉛筆
瓶(作品用と水筆用両方) セロテープ
下書き用コピー用紙 ボタン電球 金枠
「葉野花実」2種(A4サイズ/A5サイズ)
白っぽい葉野花実A4サイズ1枚(1人分)
茶っぽい葉野花実A5サイズ1枚(1人分)
*作品に使用する瓶は空き瓶(小瓶)で構いません
(直径7cm位)

その他ポイント等

野菜や花の絵柄は水筆を使って型どりし、鉛筆の削っていない部分や細い棒などを使って丁寧に切り取る。白っぽい葉野花実と茶の葉野花実のコントラストを楽しむ。灯りを設置する際に白い葉野花実が折れないように袖口に気を配る。



所要時間と当日の作業の流れ



作業注意事項

「葉野花実」は必要以上に濡らすと破れやすいので、鉛筆でしっかりデザインを描いてその内側を水筆でなぞるようにする。
作業箇所を変える時などは一度タオルなどでテーブルをふき取ると失敗しない。

動物たちに会いに行こう!

体験活動

体験活動会場 新潟市動物ふれあいセンター (新潟市中央区清五郎345番地1)

1 センターに行ってみよう!

どんな動物が
いるかな?
ドキドキ...



2 センターの中に入ってみよう!

動物が近くに來たら
ふれていいよ。

動物にふれたらしっかり
石鹸で手を洗おう。



センターからのアドバイス



センターには、ネコ、イヌ、ウサギ、モルモット、ヒツジ、アルパカ、ヤギ、カピバラの8種類の動物たちが生活しています。全部の動物を探してみてください。

遠くから見ているだけでもいいだね。



82-83 ページの「アルパカ・ヒツジ・ヤギの野菜えさやり体験」も見てね。

ふれあえる動物の種類 ★★★★★

ふれあえる動物との距離 ★★★★★

思い出度 (インパクト) ★★★★★

参加利用者人数 人数制限なし

オールシーズン お出かけ 無料

目的

いろいろな動物たちを見て、動物がいる環境に少しずつ慣れましょう。そして好きな動物を増やしましょう。

効果

体験の拡大、活動場所の広がり

活動のポイント!

初めて訪問した時は、動物たちを遠くから眺めることから始めましょう。慣れてきたら少しずつ動物との距離を縮めていきましょう。

作業の注意事項

- ・お帰りになる前に手を洗いましょう。
- ※手を拭くためのハンカチをご持参ください。(蛇口からの手洗いが難しい場合、ウェットティッシュなどをご持参ください)

無料で利用できるもの

- ・おもいやり (福祉車両用)
- ・駐車スペース (事前予約が必要)
- ・休憩室：ふれあいの部屋1・3、ホール (動物愛護センター)
- ・だれでもトイレ (高齢者、車イス利用者、子ども連れの人、オストメイトなど用)
- ・車イス1台
- ・ベビーカー1人乗り用1台
- ・2人乗り用1台



・動物園や水族館にお出かけする感覚で、気軽に館内を歩いてみましょう。

【館内にいる動物】

- ・ネコ、イヌ、ウサギ、モルモット、ヒツジ、アルパカ、ヤギ、カピバラ
- ・ヒツジ、アルパカ、ヤギ以外の動物はガラス越しにご覧いただけます。
- ・ヒツジ、アルパカ、ヤギは柵越しにご覧いただけます。

動-2 アルパカ・ヒツジ・ヤギの野菜えさやり体験

ふれあえる動物の種類
★★★★☆

ふれあえる動物との距離
★★★★☆

思い出度(インパクト)
★★★★☆

体験活動

体験活動会場 新潟市動物ふれあいセンター(新潟市中央区清五郎345番地1)

1 動物に野菜をあげる。



ちゃんと食べてくれるかな?

毛にもふれてみてね。

落ちたえさは食べられないよ。

2 石鹸で手を洗う。



手洗いのあとはハンカチで手をふこう!

センターからのアドバイス

センターに来て「やれそう!」「やりたい!」と思えた時にチャレンジしていいんだね。

どんな動物がいるか、どんな鳴き声があるか、体験前にセンターを1周してみてください。場所に慣れることでえさやりができるかもしれません。



84-85ページの「動物たちにふれてみよう!」も見てね。

参加利用者人数 35人以内

オールシーズン お出かけ 100円(えさやり体験する人のみ)

目的 動物たちが何を食べるのか、どのように食べるのかなどを観察してみましょう。

効果 日常と違う場への参加に、興味をもつ。

活動のポイント!

野菜を指でつまんで、柵の中へゆっくり差し出しましょう。動物が野菜を半分以上食べたなら、指を離しましょう。支援員と一緒にすすめることも可能です。

作業の注意事項

- ・お帰りになる前に手を洗いましょう。
※手を拭くためのハンカチをご持参ください。(蛇口からの手洗いが難しい場合、ウェットティッシュなどをご持参ください)
- ・下に落ちた野菜は拾って与えないでください。



アルパカ・ヒツジ・ヤギを対象に、柵をはさんで好きな動物にえさ(野菜)を与えます。

所要時間と当日の作業の流れ

10:50・場所:動物愛護センター「受付」
・内容:チケットを購入する。
※チケットは1枚100円です。えさやり体験に参加する人数をお申し出ください。

11:00・場所:動物ふれあいセンター「カピバラの部屋」前
・内容:チケットと野菜カップを交換する。

11:05~11:30
・場所:晴天時は「アルパカ広場」前、雨天時・暑すぎる時・寒すぎる時などは「動物飼育棟」前※体験場所は「カピバラの部屋」前で当日お伝えします。
・内容:動物にえさを与える。(所要時間は人による)

11:05~11:30・場所:動物ふれあいセンター「カピバラの部屋」前
・内容:野菜カップを返却する。(体験が終了次第)
※最後に手を洗って終了です。

無料で利用できるもの

- ・おもしろ(福祉車両用)駐車スペース(事前予約が必要)
- ・休憩室:ふれあいの部屋1・3、ホール(動物愛護センター)
- ・だれでもトイレ(高齢者、車イス利用者、子ども連れの人、オストメイトなど用)
- ・車イス1台、ベビーカー1人乗り用1台
- ・2人乗り用1台

動物たちにふれてみよう!

ふれあえる動物の種類
★★★★☆

ふれあえる動物との距離
★★★★☆

思い出度(インパクト)
★★★★★

体験活動

体験活動会場 新潟市動物ふれあいセンター (新潟市中央区清五郎345番地1)

1 動物のそばに行ってみよう!

動物が近くに
来たらふれて
いいだね。



大きな声は
びっくりするよ。

2 動物にふれてみよう!

やさしく
ゆっくり
ふれてね。



センターからのアドバイス

ふれられる動物は、アルパカ、ヒツジ、ヤギの3種類です。



手のひらを前に出すとよってることがあります。

動物にふれたら
しっかり石鹸で手を洗おう。



86-87 ページの「ポニーふれあい体験」も見てね。

参加利用者人数 人数制限なし

オールシーズン お出かけ 無料

目的 動物とのふれあいを通して、思いやりややさしい心を育みましょう。

効果 興味やワクワク感を育てる。

活動のポイント!

柵のまわりで静かにしていると、動物のほうから近くに寄ってきます。

作業の注意事項

- ・お帰りになる前に手を洗きましょう。
- ※手を拭くためのハンカチをご持参ください。
(蛇口からの手洗いが難しい場合、ウェットティッシュなどをご持参ください)



柵の中に手を入れてじっとしていると、動物たちが近寄ってきてその手のおいをかいたりなめたりします。(「ふれあう」というより「ふれてもらう」という感覚です)
※ふれあえる動物：ヒツジ、アルパカ、ヤギ

所要時間と当日の作業の流れ

- ・午前9時から午後5時まで開館しています。ご都合のよい時間にご来館ください。
- ※晴天時：館外にある「アルパカ広場」や「ヒツジ・ヤギ広場」に放牧されています。
- ※雨天時・暑すぎる時・寒すぎる時：館内にある動物飼育棟にいます。

無料で利用できるもの

- ・おもいやり(福祉車両用) 駐車スペース(事前予約が必要)
- ・休憩室：ふれあいの部屋1・3、ホール(動物愛護センター)
- ・だれでもトイレ(高齢者、車イス利用者、子ども連れの人、オストメイトなど用)
- ・車イス1台
- ベビーカー1人乗り用1台
- 2人乗り用1台

動-4 ポニーふれあい体験

ふれあえる動物の種類
★★★★★

ふれあえる動物との距離
★★★★★

思い出度(インパクト)
★★★★★

体験活動

体験活動会場 新潟市動物ふれあいセンター (新潟市中央区清五郎345番地1)

1 ポニーに野菜をあげる。



ポニーは野菜をこうやって食べるんだ…

首やたてがみをなでられると気持ちいいよ。

2 ポニーに乗ってみる。



※注意点も忘れずに見よう!

注意①
ポニーは小さなお馬さんなので、3才~12才までしか乗れないんだ…

センターからのアドバイス



大人の方でも、ポニーと一緒におさんぽをしたりえさやりをしたりすることができます。体験が終わったら、石鹸で手を洗いましょう。

注意②
園児と小学生は、ふれあい体験に加えて乗馬体験もできるんだね。



柵越しのえさやり体験、柵の中での散歩体験、乗馬体験(対象:3才~12才)など、参加者の状況や希望に合わせたポニーとのいろいろな体験が可能です。
※事前打ち合わせにて、だいたいの希望は確認させていただきますが、当日にポニーを見てからの変更も可能です。

所要時間と当日の作業の流れ

13:50
場所:動物愛護センター「受付」
・内容:体験の受付をする。

14:00~14:25
場所:動物ふれあいセンター
「ポニー広場」または「ふれあい広場」前
・内容:ポニーとのふれあいを体験する。
※最後に手を洗って終了です。

無料で利用できるもの

- ・おもいやり(福祉車両用)駐車スペース(事前予約が必要)
- ・休憩室:ふれあいの部屋1・3、ホール(動物愛護センター)
- ・だれでもトイレ(高齢者、車イス利用者、子ども連れの人、オストメイトなど用)
- ・車イス1台、ベビーカー1人乗り用1台
- ・2人乗り用1台

参加利用者人数 35人以内

4月~11月 お出かけ 無料

目的 ポニーとのふれあいを楽しみましょう。

効果 ドキドキ感、ワクワク感を体験できる。

活動のポイント!

- ・ポニーにえさやりをする場合、えさを持つ手をあまり動かさないようにしましょう。
- ・ポニーとお散歩をする場合、ポニーの歩く速度に合わせてゆっくり歩きましょう。
- ・ポニーに乗馬する場合、左右をスタッフが支えますので体の力を抜いて安心してまがりましょう。

作業の注意事項

- ・お帰りになる前に手を洗いましょう。
※手を拭くためのハンカチをご持参ください。(蛇口からの手洗いが難しい場合、ウェットティッシュなどをご持参ください)
- ・下に落ちた野菜は拾って与えないでください。
- ・乗馬体験の対象は3才~12才です。

プログラムにかかる支援について

「アグリ・ケア・プログラム」の推進にあたり、新潟市は次のような支援を実施しています。

1 円滑な推進に関する支援

- (1) 利用施設と支援員及び動物ふれあいセンターの間を取り持つコーディネーター間を取り持つコーディネーターを配置し、プログラムに関する相談や申し込み、打ち合わせなどに対応します。
 - ①プログラムに関する申込み・相談
 - ②利用者の障がいの程度や特性に応じた内容の提案
 - ③丁寧な打ち合わせの実施
 - ④実施後の聞き取りアンケートの実施
- (2) 情報提供
実践の様子、結果や課題等に関する情報を提供します。

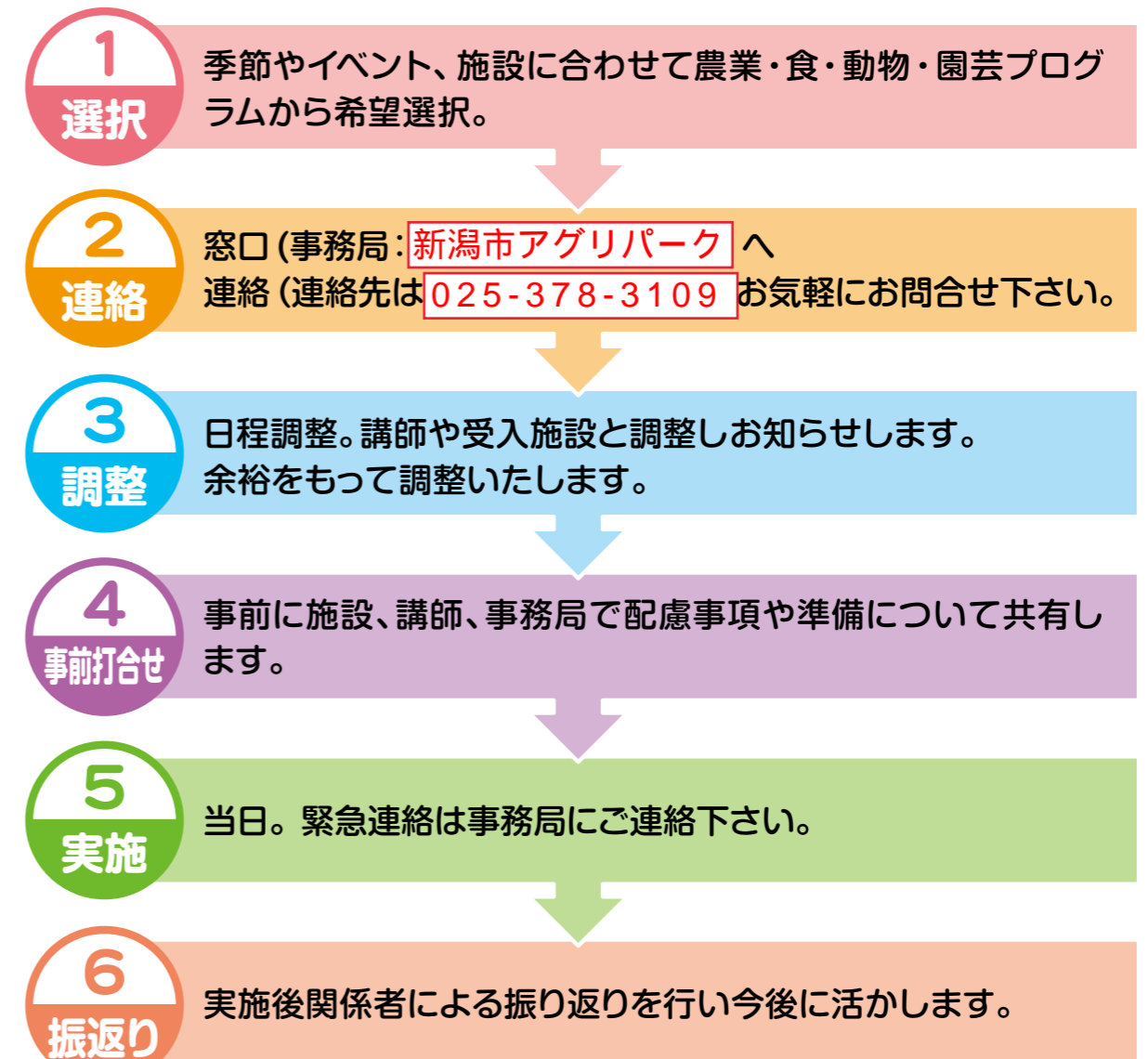
2 人的支援

- (1) 指導者及び補助者の派遣
実施するプログラムに応じた指導者や補助者を派遣します。
 - ※派遣費用を市で負担します(派遣回数はプログラムの内容等によって変わります)
 - ※指導者にお任せするのではなく、利用者や職員と一緒に作り上げるようお願いします

3 経費に関する補助

- (1) 体験費用
補助はありません。
利用者の負担にならないよう、材料の実費を基本に金額を設定しています。
- (2) 交通費
補助はありません。動物ふれあいセンターや施設外への交通費については、利用者（利用施設）の負担とさせていただきます。

アグリ・ケア・プログラム申し込みの流れ



実施プログラムの申し込み先	
新潟市アグリパーク 電話：025-378-3109 FAX：025-378-3096 受付時間：月～金（9：00～17：00） メール：info@niigata-aguri.com	
「アグリ・ケア・プログラム」の制度に関する問合せ	新潟市農林水産部 食と花の推進課 教育ファーム・ 花育担当 電話：025-226-1844 FAX： 025-226-0021 メール：shokuhana@city.niigata.lg.jp

アグリ・ケア・プログラム 打ち合わせ・振り返り簿

No. _____
 打ち合わせ場所 _____
 打ち合わせ日時 _____年 ____月 ____日()
 打ち合わせメンバー _____

実施施設		実施場所	
実施予定日	年 月 日()	時 分～	時 分
タイトル			
参加人数	予定	利用者()名 施設職員()名 ACP指導者(氏名) _____) 有償ボランティア(氏名) _____) その他()名	
	実際	利用者()名 施設職員()名 ACP指導者(氏名) _____) 有償ボランティア(氏名) _____) その他()名	
費用	予定	()円/人、集団(合計)円	実際 ()円/人、集団(合計)円
	実際	()円/人、集団(合計)円	()円/人、集団(合計)円
打ち合わせ欄		振り返り欄	
利用者配慮事項		①対象者の反応(良い反応、悪い反応等)	
・①突発的に走る可能性(あり/無) ・②突発的に物をつかむ、壊す可能性(あり/無) ・③突発的に大きな声を出す可能性(あり/無) ・④ストレスがあると嘔吐の可能性(あり/無) ・⑤特定の物()に固執(あり/無) ・⑥座れないで動き回る(あり/無) ・⑦音に敏感(あり/無)		②当日の作業の流れと事前準備について ③施設職員の感想 ④講師・ボランティアの感想 ⑤予想される効果に対しての結果	
当日の作業の流れと所要時間			
事前準備道具等			
ポイント・注意点			

<体験を行う事業所の皆様へお願い>
 ※記録のため写真撮影をさせていただく場合がございます。
 ※請求書は事務局より事業所へ送付させていただきます。
 ※打ち合わせ後すぐ、また講座実施後3日以内にアンケートと一緒にFAXを事務局までご送付ください。
 ※安全にプログラムを実施するために必要な配慮事項・注意点を事前に共有させていただきます。

<記載例>

アグリ・ケア・プログラム 打ち合わせ・振り返り簿

No. 58 -
 打ち合わせ場所 _____
 打ち合わせ日時 2018年11月28日(水)
 打ち合わせメンバー _____

実施施設		実施場所	土地区
実施予定日	30年12月3日(日)	10時20分～	12時(0分)
タイトル	ミニリースをくろう		
参加人数	予定	利用者(5名)施設職員(1名)ACP指導者(氏名) _____) 有償ボランティア(氏名) _____) その他(2名)	
	実際	利用者(5名)施設職員(2名)ACP指導者(氏名) _____) 有償ボランティア(氏名) _____) その他(2名)	
費用	予定	(500円)人、集団(合計2500円)	実際 (500円)人、集団(合計2,500円)
	実際	(500円)人、集団(合計2,500円)	(500円)人、集団(合計2,500円)
打ち合わせ欄		振り返り欄	
利用者配慮事項		①対象者の反応(良い反応、悪い反応等)	
・①突発的に走る可能性(あり/無) ・②突発的に物をつかむ、壊す可能性(あり/無) ・③突発的に大きな声を出す可能性(あり/無) ・④ストレスがあると嘔吐の可能性(あり/無) ・⑤特定の物()に固執(あり/無) ・⑥座れないで動き回る(あり/無) ・⑦音に敏感(あり/無)		・独りり ・イメージしたものと違ったという感じ ・全体的な流れはよかった ・自分の持つてきた物を使うという点に思い入れがみられた	
当日の作業の流れと所要時間		②当日の作業の流れと事前準備について	
9:40 スタンプ集合 10:20 スタート ↓ 11:50 終了 アンケート記入 片付け 12:10 解散		・ペースが緩いから、その準備と準備した(1個? 2個作?) 結果としては1個作れた ・道具の準備は充分	
事前準備道具等		③施設職員の感想	
・カッター ・ワイヤー ・リボン ・リースに風刺紙		・良かった ・外部の人という点で緊張感があった? ・親の気持ちで頑張るという点で、考えが深まったように感じる	
ポイント・注意点		④講師・ボランティアの感想	
まっほうくり 2コ		・もの作りは反、いつもは回していき ・自分の気持ちとかはなかなか身につけていってほしいな ・楽しんでほしいという点で、身につけていってほしいな	
⑤予想される効果に対しての結果		⑤予想される効果に対しての結果	
フォルターが 楽しいの注意 アイデアがいっぱい		・みんなの作品はすごい! アイデアがいっぱい	

<体験を行う事業所の皆様へお願い>
 ※記録のため写真撮影をさせていただく場合がございます。
 ※請求書は事務局より事業所へ送付させていただきます。

利用者アンケート(アグリ・ケア・プログラム)

■実施年月日 じっしねんがっぴ 年 ねん 月 がつ 日 ひ ()

■あなたの施設名 しせつめい

■プログラム名 めい

□あなたはこのプログラムをやってみて、どう感じましたか？
あ 当てはまることばを、○でかこんでください。

①面白かったですか？ おもしろ

・とても面白い◎ おもしろ ・面白い○ おもしろ ・ややつまらない△ ・つまらない×

②楽しかったですか？ たの

・とても楽しい◎ たの ・楽しかった○ たの ・あまり楽しくない△ たの ・楽しくない×

③意欲はどうですか？ いよく

・ぜひまたやりたい◎ いよく ・やってもいいかな○ いよく ・あまりしたくない△ いよく ・もうしたくない×

④むずかしさはどうでしょうか？

・とても簡単でわかりやすい◎ かんたん ・わかりやすい○ かんたん ・少しむずかしい△ すこ ・とてもむずかしい×

⑤あなたの疲れぐあいはいかがですか？ つか

・とても元気◎ げんき ・まあ大丈夫○ だいじょうぶ ・少し疲れた△ すこ ・すごく疲れた×

2 あなたの感想やご意見をお書きください かんそう いけん か

どうもありがとうございました。

職員用アンケート

○実施年月日 年 月 日 ○貴施設名

○プログラム名

事業所の職員の方におたずねします。このプログラムへの取り組みはいかがでしたか？

一 日常の作業や活動場面と比べて、
 利用者は積極的な取り組みでしたか？(下の表のうち、ご自身が思うレベルの数字に○を付けてください)

1 = 全く拒否的、2 = やや拒否的、3 = 普通の取組(抵抗無く参加)、4 = かなり意欲有、5 = 大変積極的

日常の作業活動	1	2	3	4	5
今日のプログラム	1	2	3	4	5

二 利用者にとって、今回のプログラムは難しいと思いますか？(難易度)

1 = 全く難しい、2 = やや難しい、3 = 普通の難易度(取組可能)、4 = かなり易しい、5 = 大変易しい

プログラムの (難易度)	1	2	3	4	5
-----------------	---	---	---	---	---

その理由

三 今後もACPのプログラムを継続して実施していきたいと思いませんか？

- (1) 実施していきたい
- (2) 実施していきたいが、専門的なサポートが欲しい
- (3) 実施には、消極的または否定的である

四 あなたの感想やご意見をどうぞ、ご自由にお書きください。(ご記載をどうもありがとうございます)

どうもありがとうございました。

アグリ・ケア・プログラム(ACP) Q&A

お申し込みに関して

Q.1 申し込み時期・締め切りはいつまでですか？

A.1 材料の準備などの関係で、実施日の1か月前までにお申し込みください。

Q.2 申し込み方法は？

A.2 所定の書式にて、FAXもしくはメールにて受け付けています。

- ・FAX025-333-4933
- ・メールアドレス greencareboxn@gmail.com

Q.3 1施設何回まで申し込むことができますか？

A.3 全体の申し込み状況により、制限させていただく場合があります。また、新規施設のご利用を優先させていただきます。

Q.4 他の施設と合同で行うことは可能ですか？

A.4 可能です。ただし、調整は施設間をお願いします。

Q.5 希望日にちを相談しながら決めることは可能ですか？

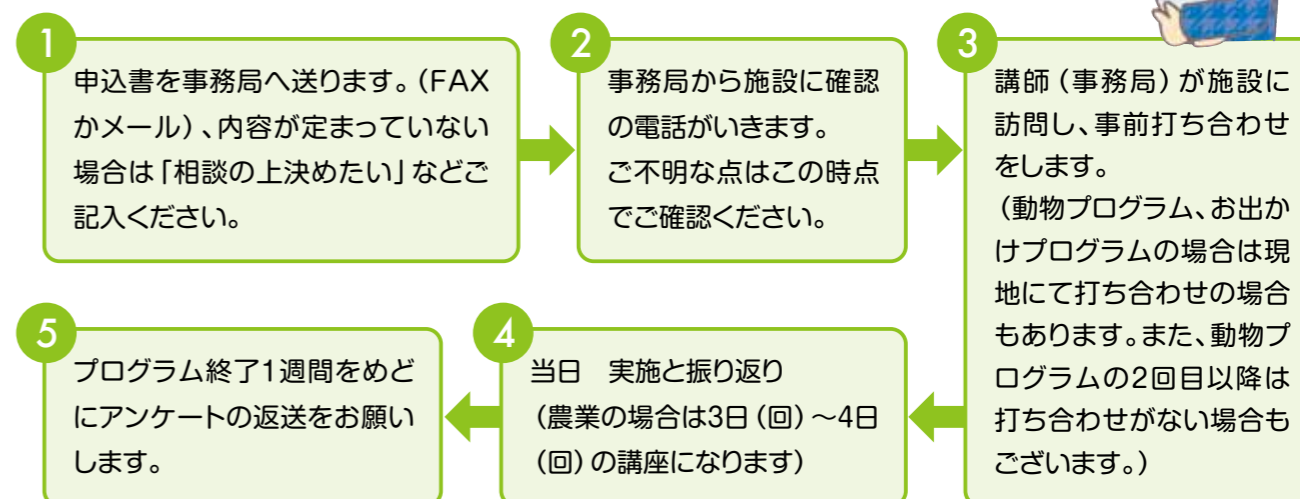
A.5 特定の日にちが決まっていない場合も講師と相談しながら決めることが可能です。事務局までご相談ください。

Q.6 連続の講座はできますか？

A.6 室内、屋外、おでかけなどを組み合わせたプログラムの応用も可能です。ご要望がある際は事務局までご相談ください。
(例：冬のプログラムを12月～2月まで行いたい。)

お申し込みから実施までの流れ

全体のながれ



内容に関して

Q.7 どのようにプログラムを選ばよいですか？

A.7 行いたいプログラムを選んでください。利用者や施設の状況によって若干の変更は可能です。その際事務局、講師にご相談ください。また、何をやってよいか分からない時はその旨を事務局までご相談ください。状況をお聞きしご提案します。

Q.8 プログラムに載っている以外の内容はできませんか？

A.8 基本的にプログラムに載った内容を行います。施設に合わせて応用は可能です。現在プログラムの幅を広げるための取り組みも行っていきますのでご期待ください。

Q.9 プログラムに載っている季節や月のものしかできませんか？

A.9 プログラムの季節、月は参考程度にお考えいただき、内容を季節の材料に合わせて変更することが可能です。行いたいプログラムがあればその旨事務局や講師にご相談ください。

Q.10 プログラムの人数を集めないといけませんか？

A.10 人数は参考人数になりますので、施設側の人数に合わせてのプログラムのご提案ができます。ただし、人数が少ない場合材料費が上がることや人数が多いと難しいプログラムもありますので、その際は事務局、講師とご相談ください。



お金について

Q.11 提示されている金額から
変更することはできませんか？

A.11 施設事情に応じて若干変更することや施設側で準備できる材料がある場合は金額が安くなる場合もあります。ただ、材料費を安くすることで期待される内容と若干変わる場合もありますので、講師とご相談いただきながら決めてください。

Q.12 材料費以外にかかる
費用はありますか？

A.12 お出かけプログラムの移動費やプログラム以外の内容を行う場合は実費で施設側の負担になります。また講師派遣代は新潟市から支払われますので施設側の負担はありません。(2018年度現在)

Q.13 材料費の支払いは現金支払いは可能ですか？

A.13 事務局から材料費の請求書を実施後お送りさせていただきますので、請求書にある振込口座への振り込みをお願いしております。



その他

Q.14 同じ法人の高齢者施設や児童施設でも取り組みますか？

A.14 ACPは現時点では障がい者福祉サービス施設への提供プログラムを想定しております。各施設において応用していただくことは可能ですが、ACPの取り組みとしての講師派遣はしていません。



Q.15 講師を呼ばずに施設スタッフ
だけでもできますか？

A.15 外部から講師がくることのメリットも大きいですが、是非プログラムを安全を配慮して施設内で活用してください。

Q.16 地域の人がかかる一般のイベントに
ACP講師が来てもらうことは
できますか？

A.16 基本的にアグリ・ケア・プログラムは障がい当事者向けに作られた内容であるため一般のイベントに講師派遣はできません。ただし、施設内の障がい当事者向けのイベントであれば、地域の人に参加されるのは可能ですのでご相談ください。

MEMO

MEMO section with horizontal dashed lines for writing.

※Q&Aの内容は2018年度末のものです

BEFORE

アグリ・ケア・プログラムを使用した個別支援計画

AFTER



ACPを新しい個別に基づく個別支援計画に活用した



ACPを新しい個別支援計画を始めてみる

何か楽しいことはないかな

何かを頑張ってる褒められたいなあ

新しいことに挑戦してみたいな

普段行かないところに行ってみたいな

新しい人と関わりをもっとみたいなあ

本人

いつも同じような毎日になってしまいがち

親では経験させてあげられないことが多いわ

何か新しいことを体験させてあげたい

この子にもっとできることはないかしら

誰に頼めば良いのかしら

保護者

何か新しい体験をしてもらいたいな

新しいところに行きたいけどどこに行けば...

事業所の中では限られたことしかできないな

職員だけでは活動のアイデアが限られるな

得意なことを増やせるような支援ができないかな

支援者

早く次のプログラムを体験してみたいな

自分に自信がもてるようになってきた

事業所に行くのが以前より楽しみだな

今度はどんな人と仲良くなれるかな

また褒めてもらえるかな

得意なことが増えてうれしいな

本人

いろいろなことを体験して楽しいみたい

新しい体験を自慢してくれることが増えたわ

以前よりも表情が明るくなったわ

自宅でも事業所のことを話すことが増えたわ

事業所に行くのが以前よりも楽しいみたい

家族との会話も増えたみたい

保護者

次はどのプログラムを楽しんでもらおうかな

また保護者にも喜んでもらえるかな

楽しそうなので次の支援が楽しみだな

困った時は専門家のアドバイスがもらえて安心

次はどんなことが得意になるのかな

支援者

アグリ・ケア・プログラムを個別支援計画に活用し、QOLの向上を図る

アグリ・ケア・プログラム（以下：ACP）は農業、食、園芸、動物等と障がいのあるご本人（以下：利用者）との触れ合いを通して、QOLの向上を図ることが目的です。

障がいが高く、農福連携への参加や農作業を通じた工賃向上を図ることが難しい方でも、ACPの「本物と触れ合う体験」を重ね、QOLの向上を図ることが可能になると考えています。

ACPは気軽に参加できるプログラムが多くあります。しかし、貴重な体験を1回で終わりにしてしまうにはもったいないと思いませんか・・・？

例えば、1回目の体験では「動物と触れ合うのは難しいのではないか」と思われた利用者も、2回目、3回目と体験を重ねるうちに「動物と少し触れ合えるようになった」ことがありました。

「動物と触れ合ったことのなかった利用者が動物と触れ合う機会を持つことができた」

「園芸作品作りを通して思い出をたくさん作った」

「農作業を通して生まれて初めてくわ・すきをもって土を耕し、種まきをした」

これらは正しくQOLの向上そのものではないでしょうか。

これらを個別支援計画としてしっかりと位置づけ、計画的かつ中長期的に取り組んでみませんか。

施設職員や家族が「何をしたらいいかわからない」「どこへ外出しようか」とひとりで悩むのではなく、ACPを参考にしながら、利用者と相談して決めることもできます。きっと新たな意思決定支援の機会が生まれることと思います。困ったときはACPの関係者に相談することもできます。

「動物にこんなことをしたらいけない？」

「手軽に育てられる作物はない？」

「園芸の道具はどこで買えるの？」

こんな疑問も相談すれば解決するかもしれません。

総合的な支援方針は“小さなことを目標に”

基本的にはまずACPを行うことに好印象をもってもらえる支援方針が望ましいと考えられます。成果や成長を大きな形で（動物にえさをあげられた、園芸作品ができた）急に求めず、小さなことで賞賛を行うようにすると良いと思います。また、何かをすることを求めるのではなく、利用者が自由に感じ、過ごすことを大切にすることも良いでしょう。総合的な支援方針にその旨を明記することで支援の統一を図りやすくなるかもしれません。

もちろん、サービス等利用計画の総合的な支援方針とも整合性を図ることも大切になりますので、必要に応じて関係機関とも調整を行うと良いでしょう。

長期目標、短期目標を明確に

ACPは利用者が農業、食、園芸、動物等との触れ合いを通じて、達成感や満足感を得ることを目的としています。そのため、「〇〇ができるようになる」という目標よりも「プログラムを〇つ体験する」「プログラムを通じてシールを〇枚貯める」という目標設定も良いかもしれません。また、「動物と仲良くなる」という漠然としたものよりも「動物センターに〇回行く」という評価しやすいものが良いでしょう（評価の仕方についてはP104以降も参考にしてください）。

具体的な到達目標は、達成しやすいものを

最初から難しい目標を立てるのではなく、「プログラムを体験してみる」等、達成しやすいものを最初に設定すると良いでしょう。プログラムを体験した中で、障がいのあるご本人がどのように感じ、どのようなことを楽しんでいたのかを振り返ってみましょう。そこから「触れ合う動物の種類を増やす」「農業で複数の種を植える」「農業で鍬を使ってみる」「園芸で生花に触れてみる」等、次の目標を立てていくことができます。

支援期間は頻度を検討の上で

まずはどれくらいの頻度で行うのかを決め、設定すると良いと思います。農業の水やりであれば毎日できるかもしれませんが、外出を伴うプログラム体験では数か月に1回という設定になるかもしれません。講師を依頼する場合はあらかじめ打ち合わせをし、どれくらいの頻度で行うことができるかを検討し、設定すると良いと思います。また、1回あたりどれくらいの時間なら楽しく行うことができるのかを検討し、設定すると良いでしょう。

モニタリングは肯定的に評価する

ACPでは「体験したけどできなかった」ではなく、「体験することができた」「できなかったことも貴重な経験だった」と肯定的に評価します。

車で目的地に行き、会場に入ることができなかったとしても、「会場まで行くことができた」「外出の機会が増やせた」「会場のスタッフと車の窓越しにあいさつができた」と考えます。

動物にえさをあげられなかったとしても「〇年ぶりに動物を見ることができた」「最初の頃よりも緊張が和らいでいったことが良かった」「えさをあげなくても目が合うだけで立派な動物との交流だと思う」と考えます。

園芸の花を折ってしまったとしても「生花に触ることができた」と考えます。

モニタリングの際はその点を大切にしてみてください。

肯定的に評価することで、例えそのプログラム体験が当初の思い通りでなかったとしても、次のプログラム体験を楽しみに計画することができます。

利用者、家族、職員、ACP関係者、皆の感動と喜びが一杯のモニタリングが実施されることを願っています。

様式 2

個別支援計画

利用者氏名： アグリ太郎 様作成年月日 / /

総合的な支援方針 プログラム(園芸)の作品作りを行い、それをポートフォリオに綴っていきます。
楽しい思い出がポートフォリオ(利用者用個人記録)という形として残るよう支援を行っていきます。

到達目標

長期目標(内容・期間等) ①ポートフォリオを〇ページ綴ってみましょう。②ACPの中から作りたい作品を選んでみましょう。

短期目標(内容・期間等) ①ポートフォリオを〇ページ綴ってみましょう。②ACPを見てみましょう。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容(内容・留意点等)	支援内容(頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
ACP(園芸)の作品作りをする	ACP(園芸)の作品作りをする	ACP(園芸)の作品作りを行うことができるようACP関係者と調整を行います。	〇カ月に1回 1回1時間程度	生活支援員 講師	1
作品を写真に撮り、ポートフォリオに綴るものを作る	職員と一緒に写真を撮る	作品が完成した後は職員と一緒にデジカメで写真を撮ります。その後、職員がACPのポートフォリオ書式を利用して綴るものを作ります。	ACP作品作り後 1回5分程度	生活支援員	1
講師からコメントをもらう	講師にポートフォリオに綴る物を渡す	作品作りをした後、講師からコメントをもらい、ポートフォリオに綴るものにより思い出が残るようにします。	ACP作品作り後 1回5分程度	生活支援員 講師	2

年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理者氏名 印

様式 2

個別支援計画

利用者氏名： アグリ太郎 様作成年月日 / /

総合的な支援方針 体験に参加することを重視して支援を行います。(①成功、失敗ではなく、少しでも参加できた部分を評価し、賞賛を行う
②体験するプログラムは難易度が低いものを設定する)。

到達目標

長期目標(内容・期間等) 農業、園芸、動物、各分野のACPをそれぞれ体験し、好きなことや得意なことを見つける。

短期目標(内容・期間等) 農業、園芸、動物、各分野のACPをそれぞれ体験する。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容(内容・留意点等)	支援内容(頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
農業プログラムを1つ体験する	農業プログラムに参加する	ACP(農業)の中から1つ体験する。 ※ACP冊子を参照してください	〇カ月に1回1回 10分~1時間程度	生活支援員 ボランティア	1
園芸プログラムを1つ体験する	園芸プログラムに参加する	ACP(園芸)の中から1つ体験する。 ※ACP冊子を参照してください	〇カ月に1回1回 10分~1時間程度	生活支援員 講師	1
動物プログラムを1つ体験する	動物プログラムに参加する	ACP(動物)の中から1つ体験する。 ※ACP冊子を参照してください	〇カ月に1回1回 10分~1時間程度	生活支援員	1

年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理者氏名 印

様式 2

個別支援計画

利用者氏名: アグリ太郎 様

作成年月日 / /

総合的な支援方針
ACP、動物センターの方の助言を参考にしながら、まずは動物に対して良い印象をもてるよう支援します。

到達目標
長期目標 (内容・期間等) ①どうぶつにえさやりをする。②動物シートにシールを○枚貼る。
短期目標 (内容・期間等) ①どうぶつにふれる。②動物シートにシールを○枚貼る。③動物センターの職員と交流する。

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援内容 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
動物センターに行ってみる	車に乗って動物センターに行く	ACPの「動物たちに会いに行こう!」に参加します。	○カ月に1回程度 1回1時間程度の外出	生活支援員	1
動物を見る	動物を見てどんな動物がいるのを知る	ACPの「動物たちに会いに行こう!」に参加します。	○カ月に1回程度 1回20分程度	生活支援員	2
動物センターの職員と挨拶する	動物センターの職員と挨拶する	動物センターの職員の方を見かけた際は挨拶をするよう声かけを行う。	○カ月に1回程度	生活支援員	1
動物シートにシールを貼る	動物センターに行き、動物シートにシールを貼る	職員が作成した「動物シート」を使用し、動物シートを貼る。	動物センターから帰った後 1回10分程度	生活支援員	2

年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理者氏名 印

様式 2

個別支援計画

利用者氏名: アグリ太郎 様

作成年月日 / /

総合的な支援方針
ACPを通じて事業所外の人たちとも交流しながら農業に関する体験を増やせるよう支援します。

到達目標
長期目標 (内容・期間等) ACPで作った野菜を使用して調理実習(豚汁作り)を行う。
短期目標 (内容・期間等) ACPで野菜(じゃがいも、たまねぎ)を作り、収穫する。

具体的な到達目標及び支援計画等

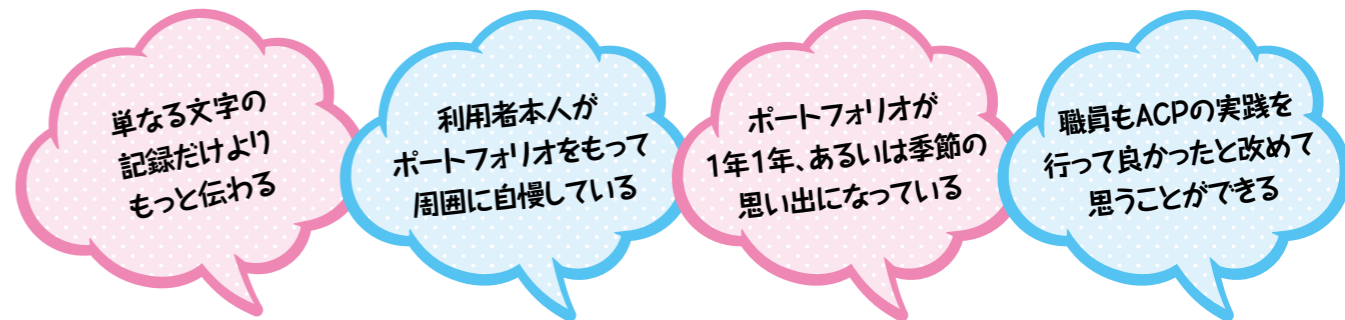
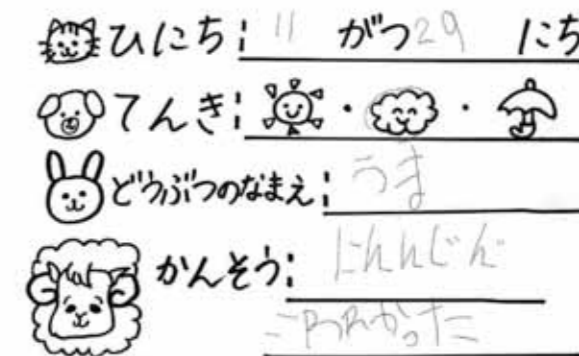
具体的到達目標	本人の役割	支援内容 (内容・留意点等)	支援内容 (頻度・時間・期間等)	担当者	優先順位
畑の土を作る	土づくりに参加する	ACPの「菌ちゃんの手で元気な野菜を育てよう!」に参加します。	1回30分程度 1か月での完成を予定	生活支援員 ボランティア	1
種を植える	種を植える	職員がじゃがいもと玉ねぎの種を用意します。ボランティアの方の協力も得ながらご本人が植えるよう支援する。	1回15分程度	生活支援員 ボランティア	1
水やりをする	じょうろでみずやりをする	水汲みは職員が行う。ご本人にじょうろで水やりを行ってもらう。	毎日 1回5分程度	生活支援員	1

年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理者氏名 印

ポートフォリオの活用について

「ACPの素晴らしい思い出が、単なる文字の記録になるだけではもったいない!」

そんな思いから生まれたものがACPポートフォリオ書式です。ポートフォリオ書式の作成にあたっては実際にパイロット事業を行った施設で、さまざまな利用者や職員の気付きや意見を盛り込みました。



こんな感想が寄せられています。

ACPポートフォリオを作成し、ぜひ利用者の思い出作りに活用してください。

※ポートフォリオとは「書類を運ぶケース」「作品集」の意味があり、成果を『構造化しまとめた収集物』の意味

プログラムの参加度をチェックする～評価表の活用について～

評価表というと、「アセスメントシート」の方が馴染みがあるかもしれません。しかし、これまでのアセスメントシートは、「できる・できない」の評価で、内容も一般的なものしかありませんでした。

そこで、ACP独自の評価表が必要と考えました。それが「とりくみ度チェック」です。

ACPの体験を重ねることでの大切な情報をとりくみ度チェック (P110～113) で評価し、チャレンジチェックシート (次ページ) に記録してみませんか。

アセスメントシート			
平成 年 月 日作成 (作成者)			
利用者氏名			
チェック項目	詳細項目	備考	本人・家族の希望・要望
食事	適量を食事することができる		
	箸やスプーンなどの道具を使って食べることができる		
	食事介助の必要がある		
	適切な場所で食事をすることができる		
	買い物・準備ができる		
	調理することができる		
清潔	入浴介助の必要性がある		
	入浴の準備・後片付けをすることができる		
	洗濯することができる		
排泄	清掃することができる		
	排泄介助の必要性がある		
	トイレの意思表示がある		
	トイレへのこだわりがある		

チャレンジチェックシート

なまえ： _____

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

体験したプログラムに ○ をつけよう

農業 ・ 食 ・ 園芸 ・ 動物



実施日 年 月 日

自由記載で：

〈活用のポイント〉

- 1 ACPへの利用者の取り組みを10段階に評価して示しました。発達や成長の営みをわかりやすくするためです。
- 2 障がいの特性に配慮して、対象への取り組み、社会性、対人関係、積極的に道具を使う等の多様な対処を見る尺度になっています。
- 3 農業・食・園芸・動物の各分野への体験で共通に使えます。
- 4 できることに○をつけたり、好きなシールを貼りましょう。体験して○が増えてくることも励みになります。
- 5 これをコピーして使用し、取り組みの記録の一つとしてご活用ください。

チャレンジチェックシート

なまえ： あぐり花子

①	②	③	④	⑤
○	○		○	
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		○		

体験したプログラムに ○ をつけよう

農業 ・ 食 ・ 園芸 ・ 動物

実施日 2019年 7月 10日

自由記載で：

よくできました。
この調子でがんばりましょう。

〈活用のポイント〉

- 1 ACPへの利用者の取り組みを10段階に評価して示しました。発達や成長の営みをわかりやすくするためです。
- 2 障がいの特性に配慮して、対象への取り組み、社会性、対人関係、積極的に道具を使う等の多様な対処を見る尺度になっています。
- 3 農業・食・園芸・動物の各分野への体験で共通に使えます。
- 4 できることに○をつけたり、好きなシールを貼りましょう。体験して○が増えてくることも励みになります。
- 5 これをコピーして使用し、取り組みの記録の一つとしてご活用ください。

とりくみ度チェック

職員用

ステージ	行 動	備 考
① I (場・準備)	1 何かいつもと違う場所や雰囲気でも不安感なく準備して対応できるかどうか？	
	2 見知らぬスタッフの来訪に不安感なく対応できるかどうか？	
	3 活動の場にメンバーとともに安定して、一定時間活動終了まで過ごせるかどうか？	
④ II (物・対象)	1 普段接することの少ない生花や対象、素材を見ても不安にならないかどうか？	
	2 用意された素材の触感への刺激や嗅覚への刺激に対応できるかどうか？	
⑥ III (物・道具)	1 用意された材料をちぎるなどの簡単な動作で対象物を操作できるかどうか？	
	2 用意された材料や対象を道具を使い、目的に沿ってやや高度な作業を行えるかどうか？	
⑧ IV (対人)	1 自分の施設に接する機会が多い職員とならば作業できるかどうか？	
	2 外部のなじみのないスタッフと作業ができるかどうか？	
⑩ V (時間・耐久性)	初めての作業に近い内容を集中して、一定時間行えるかどうか？	

1. 判定は、「可または不可」で行い「○」をつける。
2. 備考欄は、同行職員が自由記載方式で行う。

ACP評価表は単なる機能評価の数字では表すことのできない「本物の体験」の評価であり、重度の障がいのある人でも評価できます。

そして、取り組んだ体験やQOL向上の証にもなるのではないかと考えています。

またとりくみ度チェックで評価表をつけることで、「この方がまだ行ったことがないACPはどんなことだろう」という疑問から、次のプログラム体験の計画につながることもできます。

ACP評価表「とりくみ度チェック」をとおして、ぜひ利用者のQOLの向上に活用してください。

農業体験

(職員用)

氏名 _____ 年 月 日

ステージ		○/×	コメント欄
I (場)	①	事前の準備(軍手等)を抵抗なく自分が支援でできた。集合場所で待てた	
	②	なじみのないスタッフが来場しても落ち着いていられた	
	③	嫌がらずに作業する場所にいることができた	
II (物1)	④	材料(野菜くず、土など)に対して興味を示していた	
	⑤	材料や対象(野菜、土、収穫物、種など)を触ることができた	
III (物2)	⑥	道具に対して興味を示していた	
	⑦	道具を使って作業することができた(ジョウロ、シャベル、容器など)	
IV (対人)	⑧	自分の施設の職員と一緒に作業ができた	
	⑨	外部のスタッフと一緒に作業ができた	
V (時間)	⑩	予定していた時間の中で作業(土作り、日々の栽培、収穫など)に集中して取り組むことができた	

コメント欄は、同行職員が自由に記載する。

※コピーしてご使用ください。

食体験

(職員用)

氏名 _____ 年 月 日

ステージ		○/×	コメント欄
I (場)	①	事前の準備(手洗い、マスク着用、エプロン着用等)を自分でできた 又は抵抗なく支援を受けて、集合できた	
	②	なじみのないスタッフが来場しても落ち着いて、会場にいられた	
	③	調理する場所に落ち着いて、いることができた	
II (物1)	④	食材料や調理器具に対して興味を示すことができた	
	⑤	用意された材料(野菜、小麦粉など)に適切に使用することができた	
III (物2)	⑥	道具を使って、適切に取り扱うことができた	
	⑦	調理した食をタイミングよく待ち、食べる ことができた	
IV (対人)	⑧	施設支援員や外部のスタッフと一緒に調理・交流ができた	
	⑨	後片付け等を支援員などと一緒にできた(部分的でも)	
V (時間)	⑩	予定していた時間の中で、調理と喫食に集中して、取り組むことができた	

コメント欄は、同行職員が自由に記載する。

※コピーしてご使用ください。

園芸体験

(職員用)

氏名 _____ 年 月 日

ステージ		○/×	コメント欄
I (場)	①	いつもの場所や集合場所に飛び出すことなく、待っていることができた。	
	②	なじみのないスタッフが来場しても落ち着いていられた。	
	③	作業の準備中に並べられたものに手を出さずに待っていることができた。	
II (物1)	④	用意された「花など」(生花・ドライ)を見ていることができた。	
	⑤	用意された「花など」(生花・ドライ)に触ることができた。香りを嗅ぐことができた。	
III (物2)	⑥	用意された材料を素手で加工することができた。目的に沿って対応できた	
	⑦	用意された素材を道具を使って、加工や対応することができた(ハサミ・ボンド、シャベルなど)	
IV (対人)	⑧	自分の施設の職員と一緒に作業ができた。	
	⑨	外部のスタッフなどと一緒に作業ができた。	
V (時間)	⑩	完成品を作ることができた。約1時間の作業や取り組みを集中して取り組めた。	

コメント欄は、同行職員が自由に記載する。

※コピーしてご使用ください。

動物ふれあい体験

(職員用)

氏名 _____ 年 月 日

ステージ		○/×	コメント欄
I (場)	①	車から降りて受付窓口まで行くことができた。	
	②	動物ふれあいセンターの中に入ることができた。	
	③	センターの職員からの概要説明を立って静かに聞いていることができた。	
II (物1)	④	ケージの中に入っている小動物の前を静かに穏やかに通ることができた。	
	⑤	庭および広場にいる大きな動物の前を静かに穏やかに通ることができた。	
III (物2)	⑥	動物を脅かすことなく、エサやふれあいを出来た。	
	⑦	単独で動物とひとりに写真を撮ることができた。	
IV (対人)	⑧	職員と一緒に動物にエサをあげることができた。	
	⑨	センターの職員と動物のペースに合わせてエサをあげたり、歩く速度に合わせて共に歩めた。	
V (時間)	⑩	動物に穏やかに触れることができた。一定の時間を落ち着いて過ごせた。	

コメント欄は、同行職員が自由に記載する。

※コピーしてご使用ください。

食のプログラムレシピ



季節の野菜のおみそ汁とおむすび作り



材料 (約10人分)

- おむすび
米6合 (小さめおむすび一人2個の場合)
塩、のり、具材などお好みで
- みそ汁
水 1.5~2ℓ にぼし 15g
昆布 15g 季節の野菜 (大根、人参、じゃがいも、葉ものなど)
油揚げ、豆腐等 お好みで
味噌130g前後 (具材やだしによる)
- 浅漬け
季節の野菜 お好みで
塩麹 野菜の量に合わせて適量

〈作り方〉

- ①米はといで浸水しておき、炊き上がった後人肌程度に冷ます。
- ②みそ汁の出汁を作る。前日に水に昆布と煮干しを入れて一晩おいておくか、または当日に水と昆布と煮干しを入れて火にかけて、沸騰直前に昆布を取り出す。煮干しは5分ほど煮出した後取り除く。
- ③みそ汁の野菜は皮を剥いて食べやすい大きさに切り、火の通りにくいものから出汁に入れて煮ていく。柔らかく煮えたら火をとめ、仕上げに味噌を溶き入れる。
- ④浅漬けを作る。野菜を食べやすい大きさに切ってビニール袋に入れ、塩こうじ適量を加えて混ぜ合わせ、軽くもんでおく。
- ⑤おむすびを作る。ラップを広げて塩を適量ふり、ご飯をのせてラップで包み優しく握る。
- ⑥お皿に盛り付けてできあがり。あたたかいうちにいただきますよ。



季節の果物のヨーグルトアイス



材料 (約10人分)

- 桃の缶詰 1缶
(または苺300g 約1パック)
- ヨーグルト 400g 約1パック
 - 砂糖 50g
 - 生クリーム 200cc
- ミント (飾り用)

*季節の果物や、他の缶詰のフルーツでも作れます。

〈作り方〉

- ①缶詰の桃は汁気を切り、苺は洗って水気を切り、ヘタを取りのぞく。
- ②包丁またはスケッパーで角切りにするか、ボウルに入れてフォークでつぶす。(仕上げの飾り用に50g程度とっておく)
- ③生クリームと砂糖をボウルに入れ、氷水を当てながら7分立てに泡立てる。
- ④ヨーグルト、③の生クリームを合わせ、②の果物を入れてなじませたら、スプーンですくって器に盛る。
- ⑤飾り用に切った果物を少量のせる。
- ⑥冷凍庫で3時間以上冷やし固める。食べるときに、仕上げにミントを飾る。



枝豆のムース



材料 (約10個分)

- 枝豆 (生) 500g (むき200g強)
- 牛乳 200~300cc
- 砂糖 50g
- 生クリーム 100 cc
- 仕上げ用むき枝豆 20 粒ほど

〈作り方〉

- ①枝豆は柔らかめに茹でて冷ましておく。
- ②枝豆をさやから押し出してむき、ミキサーに入れて牛乳を少しずつ加えて調節し、滑らかなピューレ状にする。(50cc程ソース用に取っておく)
- ③生クリームと砂糖を合わせ、ハンドミキサーで7分立てにホイップする。(氷水を張ったボウルで冷やしながら)
- ④②のピューレと③のホイップしたクリームを混ぜ合わせ、スプーンですくって器に盛る。
- ⑤ソース用に取っておいたピューレとむき枝豆を飾ってできあがり。すぐに食べない場合は冷蔵庫で保存する。



トウモロコシの蒸しパン (またはパンケーキ)



材料 (約10人分)

- 蒸しパンカップ 約10個分
- A
 - 薄力粉 240g
 - ベーキングパウダー 小さじ3
 - 砂糖 50g 塩2つまみ
- B
 - 全卵 2個
 - サラダ油 40cc 牛乳180cc
- トウモロコシ (生または缶詰) 100g (ホールタイプ)
- トッピング用分 40g程度

〈作り方〉

- ①トウモロコシは皮をむき、5cmほどに切り芯の部分を選んで包丁で実をそぎ落とす。(缶詰の場合は水気を切ってそのまま使ってOK)
- ②ボウルに薄力粉とベーキングパウダーをふるい入れ、砂糖、塩も入れてホイッパーでよく混ぜ合わせる。
- ③別のボウルに卵をときほぐし、Bをませあわせる。
- ④②の粉類の中に③を一度に加え、ホイッパーでダマがないようにしっかりと混ぜる。①のトウモロコシを入れて合わせる。
- ⑤蒸しパンカップに敷き紙をしき、④の生地を8分目まで (70g) スプーンですくって入れる。トッピング用のトウモロコシを適宜散らす。
- ⑥沸騰した蒸し器に入れ、15分間蒸して出来上がり。蒸している間に片付けや洗いや、テーブルセッティングをしておきましょう。

*作った生地は、時間をおかずにできるだけ早く蒸しましょう。同じ生地をホットプレートで焼くとパンケーキになります。プレートに塗るサラダ油 (分量外) を用意してください。

植物図鑑

プログラムで使用するお花です。
プランター植えこみ、クラフト等で使用します。
参考にしてください。

切花



カーネーション



ヘデラ



ナルコユリ



ガーベラ



ポット苗



カランコエ



ヘデラ



ヘリクリサム



千日紅



スターチス



カイガラソウ



ワイヤープランツ



ビオラ



ポット苗



白妙菊



ガーデンシクラメン



ヒヤシンス



ニチニチソウ



ペチュニア



アンゲロニア



多肉植物



ベゴニア



ハーブ

生活に役立つ香り高い植物です



ローズマリー



バジル



レモンバーム



ミント類



ラベンダー



代表的な障がい特性と対応時に配慮すべき事項

1. 視覚障がい（視力障がい・視野障がい）

〔主な特性〕

- ・先天性で受障される方のほか、最近では糖尿病性網膜症などで受障される人も多く、高齢者では、緑内障や黄斑部変性症が多い。
- ・視力障がい：視覚的な情報を全く得られない又はほとんど得られない人と、文字の拡大や視覚補助具等を使用し保有する視力を活用できる人に大きく分けられる（全盲、弱視といわれることもある）。
 - * 視力をほとんど活用できない人の場合、音声、触覚、嗅覚など、視覚以外の情報を手掛かりに周囲の状況を把握している。
 - * 文字の読みとりは、点字に加えて最近では画面上の文字情報を読み上げるソフトを用いてパソコンで行うこともある（点字の読み書きができる人ばかりではない）。
 - * 視力をある程度活用できる人の場合は、補助具を使用したり文字を拡大したり近づいて見るなどの様々な工夫をして情報を得ている。
- ・視野障がい：目を動かさないで見ることのできる範囲が狭くなる。
 - 〔求心性視野狭窄〕見える部分が中心だけになって段々と周囲が見えなくなる。
遠くは見えるが足元が見えず、つまづきやすくなる。
 - 〔中心暗転〕周囲はぼんやり見えるが真ん中が見えない。
文字等、見ようとする部分が見えなくなる。
- ・視力障がい、視野障がいの状況によって、明るさの変化への対応が困難なため、移動などに困難さを生じる場合も多い。

〔主な対応〕

- ・音声や点字表示など、視覚情報を代替する配慮。
- ・中途受障の人では白杖を用いた歩行や点字の触読が困難な人も多いため留意が必要。
- ・声をかける時には前から近づき「〇〇さん、こんにちは。△△です。」など自ら名乗る。
- ・説明する時には「それ」「あれ」「こっち」「このくらいの」などと指差し表現や指示代名詞で表現せず、「あなたの正面」「〇〇くらいの大きさ」などと具体的に説明。
- ・普段から通路（点字ブロックの上等）に通行の妨げになるものを置かない、日頃視覚障がいのある人が使用しているものの位置を変えないなど周囲の協力が不可欠。
- ・主に弱視の場合、室内における照明の状況に応じて、窓を背にして座ってもらうなどの配慮が必要。

2. 聴覚障がい

〔主な特性〕

- ・聴覚障がいは外見上わかりにくい障がいであり、その人が抱えている困難も他の人からは気づかれにくい側面がある。
- ・聴覚障がいのある人は補聴器や人工内耳を装用するほか、コミュニケーション方法には手話、筆談、口話など様々な方法があるが、どれか一つで十分ということではなく、多くの聴覚障がいのある人は話す相手や場面によって複数の手段を組み合わせるなど使い分けている。
- ・補聴器や人工内耳を装用している場合、スピーカーを通じる等、残響や反響のある音は、聞き取りにあまり効果が得られにくい。
- ・聴覚の活用による言葉の習得に課題があることにより、聴覚障がいのある人の国語力は様々であるため、筆談の場合は、相手の状況にあわせる。



〔主な対応〕

- ・手話や文字表示、手話通訳や要約筆記者の配置など、目で見てわかる情報を提示したりコミュニケーションを図る配慮。
- ・補聴器や人工内耳を装用し、残響や反響のある音を聞き取ることが困難な場合には、代替する対応への配慮（磁気誘導ループの利用など）。
- ・音声だけで話すことは極力避け、視覚的なより具体的な情報も併用。
- ・スマートフォンなどのアプリに音声を変換できるものがあり、これらを使用すると筆談を補うことができる。

3. 肢体不自由

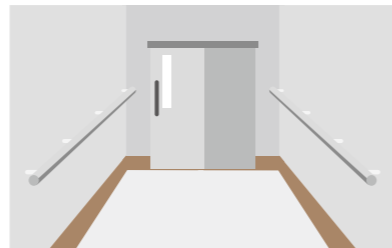
車椅子を使用されている場合

〔主な特性〕

- ・脊髄損傷（対麻痺又は四肢麻痺、排泄障がい、知覚障がい、体温調節障がいなど）
- ・脳性麻痺（不随意運動、手足の緊張、言語障がい、知的障がい重複の場合もある）
- ・脳血管障がい（片麻痺、運動失調）
- ・病気等による筋力低下や関節損傷などで歩行が困難な場合もある。
- ・ベッドへの移乗、着替え、洗面、トイレ、入浴など、日常の様々な場面で援助が必要な人の割合が高い。
- ・車椅子利用者にとっては、段差や坂道が移動の大きな妨げになる。
- ・手動車椅子の使用が困難な場合は、電動車椅子を使用する場合もある。
- ・障がいによっては、呼吸器等を使用する場合もある。

【主な対応】

- ・段差をなくす、車椅子移動時の幅・走行面の斜度、車椅子用トイレ、施設・店舗のドアを引き戸や自動ドアにするなどの配慮。
- ・机アプローチ時に車椅子が入れる高さや作業を容易にする手の届く範囲の考慮。
- ・ドア、エレベーターの中のスイッチなどの機器操作のための配慮。
- ・視線をあわせて会話する。
- ・脊髄損傷者は体温調整障がいを伴うことがあるため、部屋の温度管理に配慮。



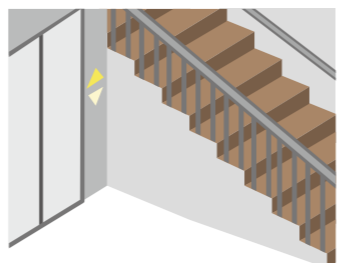
杖などを使用されている場合

【主な特性】

- ・脳血管障がい（歩行可能な片麻痺、運動失調）
- ・麻痺の程度が軽いため、杖や装具歩行が可能な場合や、切断者などで義足を使用して歩行可能な場合は、日常生活動作は自立している人が多い。
- ・失語症や高次脳機能障がいがある場合もある。
- ・長距離の歩行が困難であったり、階段、段差、エスカレーターや人ごみでの移動が困難な場合もあり、配慮が必要。

【主な対応】

- ・上下階に移動するときのエレベーター設置・手すりの設置。
- ・滑りやすい床など転びやすいので、雨天時などの対応。
- ・トイレでの杖おきの設置や靴の履き替えが必要な場合に椅子を用意するなどの配慮。
- ・上肢の障がいがあれば、片手や筋力低下した状態で作業ができる配慮。



4. 知的障がい

【主な特性】

- ・概ね18歳頃までの心身の発達期に現れた知的機能の障がいにより、生活上の適応に困難が生じる。
- ・「考えたり、理解したり、読んだり、書いたり、計算したり、話したり」する等の知的な機能に発達の遅れが生じる。
- ・金銭管理、会話、買い物、家事などの社会生活への適応に状態に応じた援助が必要。
- ・主な原因として、ダウン症候群などの染色体異常、または先天性代謝異常によるものや、脳症や外傷性脳損傷などの脳の疾患があるが、原因が特定できない場合もある。
- ・てんかんを合併する場合もある。

- ・ダウン症候群の場合の特性として、筋肉の低緊張、多くの場合、知的な発達の遅れがみられること、また、心臓に疾患を伴う場合がある。

【主な対応】

- ・言葉による説明などを理解しにくいいため、ゆっくり、ていねいに、わかりやすく話すことが必要。
- ・文書は、漢字を少なくしてルビを振る、文書をわかりやすい表現に直すなどの配慮で理解しやすくなる場合があるが、一人ひとりの障がいの特性により異なる。
- ・写真、絵、ピクトグラムなどわかりやすい情報提供を工夫する。
- ・説明が分からないときに提示するカードを用意したり、本人をよく知る支援者が同席するなど、理解しやすくなる環境を工夫する。



5. 発達障がい

自閉症、アスペルガー症候群を含む広汎性発達障がい（自閉症スペクトラム:ASD）

【主な特性】

- ・相手の表情や態度などよりも、文字や図形、物の方に関心が強い。
- ・見通しの立たない状況では不安が強いが、見通しが立つ時はきっちりしている。
- ・大勢の人がいる所や気温の変化などの感覚の敏感さや、痛みに対する感じにくさなどで苦労している。

【主な対応】

- ・本人をよく知る専門家や家族にサポートのコツを聞く。
- ・肯定的、具体的、視覚的な伝え方の工夫。
 - * 「〇〇をしましょう」といったシンプルな伝え方。
 - * その人の興味関心に沿った内容や図・イラストなどを使って説明する。 など
- ・スモールステップによる支援。
 - * 手順を示す。 * モデルを見せる。 * 体験練習をする。
 - * 新しく挑戦する部分は少しずつにする。 など
- ・感覚過敏がある場合は、音や肌触り、室温など感覚面の調整を行う。
 - * イヤーマフを活用する人もいる。
 - * 大声で説明せずホワイトボードで内容を伝える。
 - * 使ってよいスペースを見てわかりやすくするため、衝立などで区切る。
 - * 温度調整設備のある部屋を利用できるように配慮する。 など

6. 精神障がい

- ・精神障がいの原因となる精神疾患は様々であり、原因となる精神疾患によって、その障がい特性や制限の度合いは異なる。
- ・精神疾患の中には、長期にわたり、日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態が続くものがある。
- ・代表的な精神疾患として、統合失調症や気分障がい等がある。
- ・障がいの特性もさまざまであるため、積極的に医療機関と連携を図ったり、専門家の意見を聴くなど、関係機関と協力しながら対応する。

統合失調症

〔主な特性〕

- ・発症の原因はよく分かっていないが100人に1人弱かかる、比較的一般的な病気である。
- ・「幻覚」や「妄想」が特徴的な症状だが、その他にも様々な生活のしづらさが障がいとして現れることが知られている。
- ・陽性症状
 - 幻覚：実態がなく他人には認識できないが、本人には感じ取れる感覚のこと。なかでも、自分の悪口やうわさ、指図する声等が聞こえる幻聴が多い。
 - 妄想：明らかに誤った内容を信じてしまい、周りが訂正しようとしても受け入れられない考えのこと。誰かにいやがらせをされているという被害妄想、周囲のことが何でも自分に関係しているように思える関係妄想などがある。
- ・陰性症状
 - 意欲が低下し、以前からの趣味や楽しみにしていたことに興味を示さなくなる。
 - 疲れやすく集中力が保てず、人づきあいを避け引きこもりがちになる。
 - 入浴や着替えなど清潔を保つことが苦手となる。 など
- ・認知や行動の障がい
 - 考えがまとまりにくく何が言いたいかわからなくなる。
 - 相手の話の内容がつかめず、周囲にうまく合わせるができない。 など
- ・感情の障がい
 - 感情の動きが少なくなる。
 - 他人の感情や表情についての理解が苦手になる。
 - その場にふさわしい感情表現ができなくなる。 など

〔主な対応〕

- ・統合失調症は脳の病気であることを理解し、病気について正しい知識を学ぶ必要がある。
- ・薬物療法が主な治療となるため、内服を続けるために配慮する。
- ・社会との接点を保つことも治療となるため、本人が病気と付き合いながら、他人と交流したり、仕事に就くことを見守る。
- ・一方で、ストレスや環境の変化に弱いことを理解し、配慮した対応を心掛ける。
- ・一度に多くの情報が入ると混乱するので、伝える情報は紙に書くなどして整理してゆっくり具体的に伝えることを心掛ける。
- ・症状が強い時には無理をさせず、しっかりと休養をとったり、速やかに主治医を受診することなどを促す。

気分障がい

〔主な特性〕

- ・気分の波が主な症状としてあらわれる病気。うつ状態のみを認める時はうつ病と呼び、うつ状態と躁状態を繰り返す場合には、双極性障がい（躁うつ病）と呼ぶ。
- ・うつ状態では気持ちが強く落ち込み、何事にもやる気が出ない、疲れやすい、考えが働かない、自分が価値のない人間のように思える、死ぬことばかり考えてしまい実行に移そうとするなどの症状がでる。
- ・躁状態では気持ちが過剰に高揚し、普段ならあり得ないような浪費をしたり、ほとんど眠らずに働き続けたりする。その一方で、ちょっとした事にも敏感に反応し、他人に対して怒りっぽくなったり、自分は何でも出来ると思い込んで人の話を聞かなくなったりする。

〔主な対応〕

- ・専門家の診察の上で、家族や本人、周囲の人が病気について理解する。
- ・薬物療法が主な治療となるため、内服を続けるために配慮する。
- ・うつ状態の時は無理をさせず、しっかりと休養をとれるよう配慮する。
- ・躁状態の時は、金銭の管理、安全の管理などに気を付け、対応が難しい時には専門家に相談する。
- ・自分を傷つけてしまったり、自殺に至ることもあるため、自殺などを疑わせるような言動があった場合には、本人の安全に配慮した上で、速やかに専門家に相談するよう本人や家族等に促す。

発刊に 寄せて

Message



このプログラムの開発メンバーです。

このプログラムをぜひやってみましょう。みんなの笑顔が広がります。初めての体験や発見があり、達成感が大きいです。

●新潟市アグリ・ケア・プログラム
コーディネーター 星野 恵美子

色々な経験をしたいと思う気持ちは誰でも同じくあって、新しい経験は不安もあるけど大きな喜び、自信に繋がることだと思います。ACPが新しい経験づくりのきっかけになりますように。そして、そこから笑顔の輪が広がることを願っています。

●新潟市アグリサポートセンター 佐藤 陽子

土に触れること、植物を育てること、動物に触れ合うこと、食べ物に関することなどで、新たな世界が広がってくると思います。このプログラムを活用して頂き、社会参加の一助となると嬉しく思います。

●地域活動支援センターささえ愛大地
本間 雄太

植物に触れ、季節を楽しむACP園芸プログラムがさらにバージョンアップ！より使いやすく、ワクワクする内容になりました。体験することから生まれた感動や喜びがこのプログラムを育ててくれたのだと思います。心より感謝します。

●園芸福祉にいがた Greencareboxn
ごんだいら あやこ

みなさん、もう ACP は体験されましたか？ ACP は普段なかなかできない体験、発見がたくさんあります！たくさん笑顔、普段ではなかなか見られない姿を見ることができました。ぜひ支援の一環として取り入れてみてください。

●あすなろ福祉園 生活支援員 泉 英寿

感動と喜びがいっぱいのACPの世界へようこそ！ ACPを活用した個別支援計画やポートフォリオ等を通して、障がいのある方の「初めての体験・感動」を支援していきませんか。きっと障がいのある方のQOL向上に繋がると思います。

●あすなろ福祉園 サービス管理責任者 大森 真一

このACPは、農作業や物づくりをすることを通して、植物を愛でる楽しさや動物と触れ合える喜びを感じられる内容になっています。園芸、農業に従事する者としては多くの方にACPを活用いただき、植物、動物好きの仲間が増えてくださることを願います。

●新潟農業・バイオ専門学校
秋山 正之

新潟市では、「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を制定しました。全国でも画期的な条例です。しかし、本来は条例が必要ない社会が望ましい姿です。新潟市の特徴を生かしたACPがその一助になることを願っています。

●新潟市食と花の推進課
佐藤 克彦

ACPには、発見とよろこびがたくさん詰まっています。今までやったことがないことができた。前は失敗したけど、できるようになった。昨日はできなくても今日はできるかもしれない。いろいろなプログラムをやってみて、楽しい1日を過ごしましょう。

●福祉事業所いしやま 小出 哲之

ACPは農業・園芸・動物・食の楽しいプログラムです。日々の生活がもっと楽しくなるように、このプログラムに参加してみませんか！！全ての皆様が笑顔であふれるように、お手伝いさせていただきます。

●園芸福祉にいがた Greencareboxn
角田 康子

農家は畑畑からたくさんの恵みを受けています。行かないとわからない、いろんな恵みを感じに来ていただけたらと思います。

●たなか農園 田中 洸次

利用者さんの素敵な笑顔に出会える度にACPの活動に関われることを嬉しく思います！新しい発見があったり感動や気付きは講師の皆とも共有してチームワークの良さに繋がっています。さあ一緒に楽しみましょう

●園芸福祉にいがた Greencareboxn 竹内 奈央

農業・食・園芸・動物どれも私たちの身の回りに当たり前にありながら大切なものです。一つ一つの体験を通して多くのことにみんなで気づくことができるプログラムになってます！一緒に楽しみましょう！！

●新潟市障がい者就業支援センター こあサポート
樋口 督水

ACPでは、農作業や動物との触れ合いなどのさまざまな活動を通じて、一人ひとり創造性や感性を育んでいきます。喜び、悲しみ、驚き…体験から得られるたくさんの感情は、きっと将来への糧につながるものと思っています。出会いを大切に、笑顔があふれる活動となりますように！

●新潟市アグリサポートセンター 平林 正樹

動物とのふれあいは優しい気持ち、思いやりの心を育む事が出来ます！ ACPを通して、何かやりたいという意欲を引き出し、この経験が今後の生活の一助となれば幸いです。

●動物ふれあいセンター 高橋俊介

ACPの活動に参加してみて、自然のものに触れる楽しさや驚き、感動をみんなで共有することができました。支援のヒントもたくさん見つかると思います。

●あすなろ福祉園
生活支援員 佐藤 里枝

農が持っている「癒し」の可能性をシステム化し、社会に提供できるように、このプログラムが多様な価値観を共有できる一助となれば幸いです。

●特定非営利活動法人
にいがた農えん隊 高塚 俊郎

食べることは人生の大きな楽しみのひとつ。食のプログラムを活用し、自分達で作って食べるよろこびを体験し、美味しい笑顔がたくさん生まれることを願っています。

●C'sKitchen・rucoto 佐藤 千裕

アグリ・ケア・プログラムでは、四季折々の季節に応じた活動を通して、新たな発見・体験・感動を共有することが出来ます。また、農業・園芸・動物等の専門家があり、それぞれの障害を持った方々に合った方法で活動を行って頂けます。まずは、一度体験してみてください。

●ワークセンターしらはす 海津 雄一

ACPを通して、障がいのある人が本物にふれながら生き生きと活動でき、また地域住民の方々のふれあいができます。やり方次第で可能性はどこまでも広がっていく、そんな取り組みです。ぜひ使ってみてください！

●福祉事業所つばさ 上野 幸治

新潟発 わくわく教育ファーム

アグリ・ケア・プログラム(改訂版)

～ドキドキふれあい体験 in 新潟～

平成31(2019)年3月25日発行

編集者 「新潟市アグリ・ケア・プログラム」編集委員会

発行者 新潟市

新潟市中央区学校町通1番町602番地1

印刷者 有限会社アサヒ印刷クリエイティブ

ISBN978-4-9909513-3-7